

## 第 218 回 浜田市教育委員会定例会

日 時： 令和 5 年 8 月 22 日（火） 13 時 30 分から

場 所： 浜田市役所北分庁舎 2 階会議室 1

出席者： 岡田教育長 杉野本委員 花田委員 岡山委員 倉本委員

事務局： 草刈部長 藤井課長 山口課長 鳥居室長 山本課長

（書記 日ノ原係長 川村主任主事）

### 1 教育長報告

### 2 議題

- (1) 令和 5 年度 教育委員会学校訪問（幼稚園）について …… 資料 1
- (2) 浜田市立小中学校条例の一部を改正する条例について …… 資料 2
- (3) 浜田市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則について …… 資料 3
- (4) 浜田市附属機関設置条例の一部を改正する条例について …… 資料 4
- (5) 浜田市美術品等収集委員会規則を廃止する規則について …… 資料 5

### 3 部長、課長等報告事項

- (1) 教育部長
- (2) 教育総務課長 …… 資料 6、7
- (3) 学校教育課長 …… 資料 8
- (4) 学力向上推進室長 …… 資料 9、10

(5) 文化スポーツ課長

…… 資料 11

4 その他

(1) その他

※次回定例会日程 令和5年9月26日(火)13時30分から  
場所：浜田市役所北分庁舎2階会議室1

※次々回定例会日程 令和5年10月 日( ) 時 分から

第218回浜田市教育委員会定例会・教育長報告

令和5年8月22日

月日	内容
7月30日 (日)	浜田市まちなか交流プラザオープニングイベント
7月31日 (月)	浜田市協働推進本部会議 (庁議室)
8月1日 (火)	島根県人権教育研究大会 (県立大学コンベンションホール) 記念講演:「共に生きるとは何か」 講師:フォトジャーナリスト 安田菜津紀さん 教職員評価システム管理職面接 浜田市市民憲章推進協議会理事会・総会 (浜田まちづくりセンター)
8月2日 (水)	総務文教委員会
8月4日 (金)	ふれあいフォーラム (石央文化ホール) 講演:教育現場における性的マイノリティ児童生徒への支援 に関する現状と課題 講師:東京都教育委員会公立学校SC 大賀一樹さん (浜田市出身)
8月6日 (日)	夏休み少年健全育成ソフトボール大会 (原井小)
8月8日 (火)	坂根正弘奨学金審査会 (庁議室)
8月9日 (水)	浜田地区行政等連絡協議会 (ワシントンホテル)
8月11日 (祝)	8/11(祝)～8/16(水) 小中学校閉庁 浜田市中央図書館・三隅図書館開館10周年記念講演会 (中央図書館) 演題:「読みあいでもやわらかなコミュニケーション」 講師:児童文学作家 村中李衣さん
8月12日 (土)	坂根正弘奨学金認定書交付式 (石央文化ホール会議室)
8月17日 (木)	全員協議会 浜田市協働推進本部会議 (庁議室)
8月19日 (土)	世界陸上2023・三浦龍司選手3000m障害予選パブリックビューイング (国府小)
8月20日 (日)	浜田市ひとづくり特別講演会 (県立大学講堂) 演題:人を育てる力 講師:前野球日本代表「侍ジャパン」監督 栗山英樹さん
8月21日 (月)	浜田市文化財指定書交付式 (石見神楽蛇胴製作技術・植田倫吉さん) 南極観測船しらせ入港歓迎事業実行委員会 (中央図書館) 定例課長会議 (講堂)
8月22日 (火)	長浜人形寄贈お披露目式・感謝状贈呈 (竹内惟臣さん・浜田城資料館) 島根県立大学支援協議会総会 (県立大交流センター) 浜田市教育委員会定例会 (講堂) 地球温暖化対策実行計画推進本部会議 (庁議室)

令和5年8月22日  
教育委員会定例会資料  
教育総務課

令和5年度 教育委員会学校訪問（幼稚園）

1 目的

浜田市教育大綱及び浜田市教育振興計画に掲げた基本理念に即した教育行政の運営が行われるよう、教育委員会が学校経営・学校運営の見聞し、今後の教育行政の推進に意を用いるために行うもの。

2 訪問日程 令和5年9月29日（金）10時05分～11時15分

3 訪問園 浜田幼稚園

4 訪問者

教育長、教育委員（4名）、教育総務課長、総務企画係長（以上7名）

5 訪問内容

(1) 浜田幼稚園内視察 30分程度

(2) ヒアリング（園長・教頭対象）40分程度（園からの説明15分程度）

ア 意見交換

（ア）意見交換テーマ

- a 公立幼稚園統合後における課題等について
- b 通級教室設置後の課題等について
- c 幼児教育センター設置後の課題等について

## 令和 5 年度教育委員会学校訪問者名簿

所 属	職 名	氏 名	備 考
浜田市教育委員会	教育長	岡 田 泰 宏	
浜田市教育委員会	委員	杉野本 智 幸	
浜田市教育委員会	委員	花 田 香	
浜田市教育委員会	委員	岡 山 令 子	
浜田市教育委員会	委員	倉 本 一 三	
浜田市教育委員会	教育総務課長	藤 井 陽 子	
浜田市教育委員会	教育総務課 総務企画係長	日ノ原 淳	

※ 浜田市教育委員会 7 名出席します。

## 提案条例説明資料

担当部名称 教育委員会

1	議案番号	議案第〇号
2	題名	浜田市立小中学校条例の一部を改正する条例
3	目的・理由	浜田市立雲雀丘小学校及び浜田市立第四中学校を令和6年3月末で閉校することに伴い、所要の改正を行うものです。
4	概要	<p>1 小学校の設置について定める表から次の小学校を削る。(別表関係)</p> <p>浜田市立雲雀丘小学校 浜田市原井町 1045 番地</p> <p>2 中学校の設置について定める表から次の中学校を削る。(別表関係)</p> <p>浜田市立第四中学校 浜田市内田町 1050 番地</p>
5	施行期日等	令和6年4月1日
6	備考	<p>閉校する小中学校の統合先は、次のとおりです。</p> <p>(1) 雲雀丘小学校 ⇒ 原井小学校</p> <p>(2) 第四中学校 ⇒ 第三中学校</p>

浜田市立小中学校条例（平成17年浜田市条例第90号）新旧対照表

（下線部分が改正箇所）

現行		改正後（案）	
別表（第2条関係）			
1 小学校			
名称	位置	名称	位置
[略]		[略]	
<b>浜田市立雲雀丘小学校</b>	<b>浜田市原井町1045番地</b>		
[略]		[略]	
2 中学校			
名称	位置	名称	位置
[略]		[略]	
<b>浜田市立第四中学校</b>	<b>浜田市内田町1050番地</b>		
[略]		[略]	

## 浜田市立小中学校条例の一部を改正する条例

浜田市立小中学校条例（平成 17 年浜田市条例第 90 号）の一部を次のように改正する。

別表 1 小学校の表浜田市立雲雀丘小学校の項を削り、別表 2 中学校の表浜田市立第四中学校の項を削る。

### 附 則

この条例は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。

## 新規・改正規程概要説明資料

担当課名称 教育総務課

1	区 分	新規 ・ <b>改正</b>	<b>規則</b> ・ 告示 ・ 訓令
2	題 名	浜田市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則	
3	目的・理由	浜田市立雲雀丘小学校及び第四中学校を令和6年3月末で閉校することに伴い、通学区域の変更を行うものです。	
4	概 要	<p>1 別表第1関係</p> <p>(1) 浜田市立原井小学校の項校区の欄に浜田市立雲雀丘小学校の校区の区域を加える。</p> <p>(2) 浜田市立雲雀丘小学校の項を削る。</p> <p>2 別表第2関係</p> <p>(1) 浜田市立第二中学校の項校区の欄の雲雀丘小学校の通学区域を削る。</p> <p>(2) 浜田市立第三中学校の項校区の欄に浜田市立美川小学校の通学区域を加える。</p> <p>(3) 浜田市立第四中学校の項を削る。</p>	
5	施行期日等	令和6年4月1日	

浜田市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則（平成17年浜田市教委規則第15号）新旧対照表（下線部分が改正箇所）

現行		改正後（案）	
別表第1（第2条関係）		別表第1（第2条関係）	
学校名	通学区域	学校名	通学区域
浜田市立原井小学校	紺屋町、天満町、新町、錦町、高田町、港町、蛭子町、片庭町、栄町、京町、真光町、瀬戸ヶ島町、大辻町、清水町、元浜町、瀬戸見町、原町	浜田市立原井小学校	紺屋町、天満町、新町、錦町、高田町、港町、蛭子町、片庭町、栄町、京町、真光町、瀬戸ヶ島町、大辻町、清水町、元浜町、瀬戸見町、原町、 <u>原井町</u> 、 <u>笠柄町</u>
[略]		[略]	
<u>浜田市立雲雀丘小学校</u>	<u>原井町</u> 、 <u>笠柄町</u>		
[略]		[略]	
別表第2（第2条関係）		別表第2（第2条関係）	
学校名	通学区域	学校名	通学区域
[略]		[略]	
浜田市立第二中学校	<u>浜田市立雲雀丘小学校の通学区域</u> 、外ノ浦町、松原町、殿町、浜田市立原井小学校の通学区域（紺屋町を除く。）	浜田市立第二中学校	外ノ浦町、松原町、殿町、浜田市立原井小学校の通学区域（紺屋町を除く。）
浜田市立第三中学校	浜田市立長浜小学校の通学区域、浜田市立周布小学校の通学区域	浜田市立第三中学校	浜田市立長浜小学校の通学区域、 <u>浜田市立美川小学</u> 周布小学校の通学区域

現行		改正後 (案)	
浜田市立第四中学校	_____		<b>校の通学区域</b>
浜田市立美川小学校の通学区域		_____	_____
[略]			[略]

## 浜田市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則

浜田市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則（平成 17 年浜田市教育委員会規則第 15 号）の一部を次のように改正する。

別表第 1 浜田市立原井小学校の項中「原町」の次に「、原井町、笠柄町」を加え、同表浜田市立雲雀丘小学校の項を削る。

別表第 2 浜田市立第二中学校の項中「浜田市立雲雀丘小学校の通学区域、」を削り、同表浜田市立第三中学校の項中「浜田市立周布小学校の通学区域」の次に「、浜田市立美川小学校の通学区域」を加え、同表浜田市立第四中学校の項を削る。

### 附 則

この規則は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。

## 提案条例説明資料

担当部名称 教育委員会

1	議案番号	議案第〇号
2	題名	浜田市附属機関設置条例の一部を改正する条例
3	目的・理由	浜田市美術品等収集委員会について、所期の目的を達成したことに伴い、当該委員会を廃止するため、所要の改正を行うものです。
4	概要	<p>附属機関の設置等について定める別表から次の附属機関を削る。</p> <p>(1) 名称 浜田市美術品等収集委員会</p> <p>(2) 担任事項</p> <p>教育委員会の諮問に応じ、美術品その他の芸術、歴史及び民俗に関する資料の収集に関し必要な事項を審議すること。</p>
5	施行期日等	<p>1 施行期日 公布の日</p> <p>2 浜田市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正</p> <p>浜田市美術品等収集委員会委員の報酬に係る規定を削る。</p>

浜田市附属機関設置条例（平成17年浜田市条例第18号）新旧対照表

（下線部分が改正箇所）

現行						改正後（案）							
別表（第2条関係）						別表（第2条関係）							
属する 執行機 関	附属機 関の名 称	担任事項	委員等 の定数	委員等 の任期	会議の 定足数	表決の 方法	属する 執行機 関	附属機 関の名 称	担任事項	委員等 の定数	委員等 の任期	会議の 定足数	表決の 方法
〔略〕							〔略〕						
教育委 員会	〔略〕	教育委員会の諮問に 応じ、美術品のそ の他の芸術、歴史 及び民俗に関する 資料の収集に 関し必要な 事項を審議 すること。	識見者7 人以内	2年 ただし、再 任を妨げ ない。	委員の 半数以 上	出席委 員の過 半数	教育委 員会	〔略〕					

浜田市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例（平成20年浜田市条例第37号）新旧対照表（下線部分が改正箇所）

現行		改正後（案）	
別表（第2条関係）		別表（第2条関係）	
区分	報酬額	区分	報酬額
[略]		[略]	
<b>浜田市美術品等収集委員会委員</b>	<b>日額 6,000円</b>		
浜田市文化財審議会委員	〃 6,000円	浜田市文化財審議会委員	<b>日額 6,000円</b>
[略]		[略]	

## 浜田市附属機関設置条例の一部を改正する条例

浜田市附属機関設置条例（平成 17 年浜田市条例第 18 号）の一部を次のように改正する。

別表教育委員会の部浜田市美術品等収集委員会の項を削る。

### 附 則

（施行期日）

- 1 この条例は、公布の日から施行する。  
（浜田市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正）
- 2 浜田市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例（平成 20 年浜田市条例第 37 号）の一部を次のように改正する。  
別表浜田市美術品等収集委員会委員の項を削り、同表浜田市文化財審議会委員の項中「〃」を「日額」に改める。

## 新規・改正規程概要説明資料

担当課名称 文化スポーツ課

1	区 分	新規・改正・ <b>廃止</b>	<b>規則</b> ・告示・訓令
2	題 名	浜田市美術品等収集委員会規則を廃止する規則	
3	目的・理由	浜田市美術品等収集委員会について、所期の目的を達成したことによる廃止に伴い、同規則を廃止するものです。	
4	概 要	浜田市美術品等収集委員会規則の廃止	
5	施行期日等	<p>1 施行期日 公布の日</p> <p>2 浜田市教育委員会事務局組織規則の一部改正 (1) 分掌事務の変更（第4条関係） 文化スポーツ課芸術文化振興係が所管する事務から、浜田市美術品等収集委員会委員に係る項目を削る。</p> <p>3 浜田市教育委員会教育長に対する事務委任規則の一部改正 (1) 委任する事務の変更（第2条関係） 委員の委嘱に係る規定について、美術品等収集委員会委員を削る。</p>	

浜田市教育委員会事務局組織規則（平成17年浜田市教委規則第4号）新旧対照表（下線部分が改正箇所）

現行	改正後（案）
<p>(事務局の分掌事務)</p> <p>第4条 事務局の分掌事務は、次のとおりとする。</p> <p>〔略〕</p> <p>文化スポーツ課 芸術文化振興係</p> <p>(1) 芸術文化の振興に係る施策に関すること。 (2) 教育文化振興に係る公益財団法人に関すること。 (3) 芸術文化施設の整備及び管理に関すること。 <u>(4) 美術品等収集委員会に関すること。</u> (5) 文化団体に関すること。 (6) その他芸術文化の振興に関すること。 (7) 課の庶務に関すること。</p> <p>〔略〕</p>	<p>(事務局の分掌事務)</p> <p>第4条 事務局の分掌事務は、次のとおりとする。</p> <p>〔略〕</p> <p>文化スポーツ課 芸術文化振興係</p> <p>(1) 芸術文化の振興に係る施策に関すること。 (2) 教育文化振興に係る公益財団法人に関すること。 (3) 芸術文化施設の整備及び管理に関すること。 〔削る〕 (4) 文化団体に関すること。 (5) その他芸術文化の振興に関すること。 (6) 課の庶務に関すること。</p> <p>〔略〕</p>

浜田市教育委員会教育長に対する事務委任規則（平成17年浜田市教委規則第6号）新旧対照表（下線部分が改正箇所）

現行	改正後（案）
<p>(委任する事務)</p> <p>第2条 教育委員会は、次に掲げる事項を除き、その権限に属する教育事務を教育長に委任する。</p> <p>(1)～(9) [略]</p> <p>(10) 社会教育委員、図書館協議会委員、文化財審議会委員、スポーツ推進審議会委員<b>及び美術品等収集委員会委員</b>を委嘱すること。</p>	<p>(委任する事務)</p> <p>第2条 教育委員会は、次に掲げる事項を除き、その権限に属する教育事務を教育長に委任する。</p> <p>(1)～(9) [略]</p> <p>(10) 社会教育委員、図書館協議会委員、文化財審議会委員、スポーツ推進審議会委員_____を委嘱すること。</p>

## 浜田市美術品等収集委員会規則を廃止する規則

浜田市美術品等収集委員会規則(平成 17 年浜田市教育委員会規則第 57 号)は、廃止する。

### 附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、公布の日から施行する。  
(浜田市教育委員会事務局組織規則の一部改正)
- 2 浜田市教育委員会事務局組織規則(平成 17 年浜田市教育委員会規則第 4 号)の一部を次のように改正する。  
第 4 条の表文化スポーツ課芸術文化振興係の項中第 4 号を削り、第 5 号を第 4 号とし、第 6 号を第 5 号とし、第 7 号を第 6 号とする。  
(浜田市教育委員会教育長に対する事務委任規則の一部改正)
- 3 浜田市教育委員会教育長に対する事務委任規則(平成 17 年浜田市教育委員会規則第 6 号)の一部を次のように改正する。  
第 2 条第 10 号中「、スポーツ推進審議会委員及び美術品等収集委員会委員」を「及びスポーツ推進審議会委員」に改める。

行事等予定表

8月22日 ～ 9月30日

月日	曜日	開始～終了	内容	場所	担当課	教育委員	備考
6月10日～9月24日		～	浜田城資料館企画展「八右衛門と竹嶋一件」	浜田城資料館	文化スポーツ課		
6月10日～9月24日		～	高校生学芸員の研究成果特別展 (HAMADA教育魅力化コンソーシアム主催)	浜田城資料館	文化スポーツ課		
7月1日～8月31日			浜田郷土資料館企画展 「名誉市民 故佐々木正先生寄贈品展」	浜田郷土資料館	文化スポーツ課		
7月15日～9月24日		～	世界子ども美術館 企画展「森とあそぶアート展」	世界子ども美術館	文化スポーツ課		
8月1日～31日		～	世界子ども美術館 「～デジタルアートで遊ぶ不思議な森～きみのもり」	世界子ども美術館	文化スポーツ課		
8月31日	(木)	9:45 ～ 12:15	少年の主張浜田市大会	三隅中央会館	学校教育課	○	
9月9日～11月23日		～	石本正『石本正 祈りのかたち展—浜田の財ととも—to—』	石正美術館	文化スポーツ課		
9月9日～11月23日		～	第8回石本正日本画大賞展	石正美術館	文化スポーツ課		
9月19日	(火)	14:00 ～ 16:00	税に関する絵はがきコンクール浜田地区審査会	浜田市総合福祉センター	教育総務課		
9月26日	(火)	13:30 ～	第219回教育委員会定例会	北分庁舎2階会議室1	教育総務課	○	
9月29日	(金)	8:30 ～ 11:35	教育委員会学校訪問 (小学校・幼稚園)	石見小学校外	教育総務課	○	
		～					
		～					
		～					
		～					
		～					
		～					
		～					

## 中央図書館・三隅図書館開館10周年記念イベントについて

中央図書館・三隅図書館の開館10周年を記念して8月11日（金・祝）にイベントを開催しましたので報告します。

## 1 児童文学作家 村中李衣さん講演会

## 「読みあいで、やわらかなコミュニケーション」

- ・日 時 14:00～15:30
- ・場 所 中央図書館 多目的ホール

児童文学作家であり、「読みあい」の実践をされている村中さんから絵本を通したコミュニケーションについて実践をまじえながらお話いただきました。

- ・参加者 58 名



## 2 児童文学作家 村中李衣さんによるおはなし会

- ・日 時 10:30～11:00
- ・場 所 三隅図書館 おはなしのへや

参加を促しながらの子どもも大人も物語に引き込んでいく「読みあい」によるおはなし会を開催しました。

- ・参加者 30 名



## 3 移動図書館車特別開館

- ・日 時 9:30～12:00
- ・場 所 中央図書館 駐車場

移動図書館車を中央図書館で特別に開館し、車内の見学や貸出を行いました。

- ・参加者 37 名



#### 4 盲導犬デモンストレーション

- ・日 時 10：00～11：30
- ・場 所 中央図書館  
コミュニケーションスペース

日本盲導犬協会の職員の方から盲導犬の活動などについて図書館内での実演を交えながらお話いただきました。

- ・参加者 51 名



#### 5 高校生企画コーナー

- ・日 時 14：00～16：00
- ・場 所 中央図書館  
コミュニケーションスペースなど

高校生「地域協働活動」プロジェクトにより市内高校生 14 名がボランティアとして企画から運営までを行いました。小学生以下を対象とした絵本の読み聞かせ&工作のコーナーを開設し多くの子どもたちでにぎわいました。

- ・参加者 48 名



## 中学校部活動における全国大会出場について

このことについて、浜田市内の生徒12名が日本中学校体育連盟主催の全国中学校体育大会に出場しますので報告します。

## 1 陸上

大会名	第50回全日本中学校陸上競技選手権大会
開催日	令和5年8月22日(火)～25日(金)
会場	愛媛県総合運動公園陸上競技場(愛媛県松山市)

## ■出場者

氏名(学校・学年)	種目	今年の主な記録
かげやま ゆうま 景山 裕真 (一中・3年)	男子400m	県大会 1位 中国大会 2位
すこぼし しゅんた 須古星 駿太 (一中・3年)	男子1500m	県大会 1位
まつざき ゆうせい 松崎 悠生 (一中・3年)	男子800m	県大会 7位

## 2 柔道

大会名	第54回全国中学校柔道大会
開催日	令和5年8月17日(木)～20日(日)
会場	鳴門・大塚スポーツパーク アミノバリューホール(徳島県鳴門市)

## ■出場者

氏名(学校・学年)	種目	今年の主な記録
さいとう みさと 齋藤 美里 (三隅中・2年)	女子個人 40kg級	県大会 1位 中国大会 3位

### 3 ソフトテニス

**大会名** 第54回全国中学校ソフトテニス大会  
**開催日** 令和5年8月21日(月)～23日(水)  
**会場** 今治市営スポーツパーク テニスコート (愛媛県今治市)

#### ■出場者

氏名(学校・学年)	種目	今年の主な記録
たけだ はるき 竹田 悠生 (一中・3年)	男子団体	県大会 1位 中国大会 3位
やました しゅうと 山下 柊人 (一中・3年)		
こうの ほまれ 河野 穂希 (一中・3年)		
まつだ あきら 松田 彬良 (一中・3年)		
さとう こうすけ 佐藤 宏祐 (一中・2年)		
もりかわ こうすけ 森川 滉介 (一中・3年)		
かわかみ とわ 川神 永湧 (一中・3年)		
たけだ りく 竹田 睦 (一中・1年)		

## 第 57 回島根県中学校総合体育大会の成績について（3 位以上）

開催期間：令和 5 年 7 月 8 日（土）～24 日（月）

### ○体操競技（7/8・9 島根県立体育館）

種 目		順位	氏名・学校名等		※1 中国大会出場	※2 全国大会出場
男子	種目別（跳馬）	3 位	杉本 玲慎	浜田三・2 年	—	—
女子	団体	1 位	浜田一		3 位	—
	団体	2 位	旭		—	—
	個人総合	3 位	福田 佳穂	旭・3 年	18 位	—
	種目別（跳馬）	3 位	上野 千咲	浜田一・1 年	—	—
		3 位	福田 佳穂	旭・3 年	—	—
種目別（ゆか）	2 位	福田 佳穂	旭・3 年	—	—	

※1 中国大会は県総体団体 1 位、個人総合は団体 1 位を除く上位 4 人が出場。出場した場合は「○」を、出場して総合順位が明らかなものは「当該順位」をそれぞれ記載している。以下同様。

※2 全国大会は中国大会団体 1 位、個人は団体 1 位を除く上位 4 人が出場。

### ○陸上競技（7/21～7/23 島根県立浜山公園陸上競技場）

種 目		順位	氏名・学校名等		※1 中国大会出場	※2 全国大会出場
男子	全学年 200m	1 位	景山 裕真	浜田一・3 年	○	—
	全学年 400m	1 位	景山 裕真	浜田一・3 年	2 位	○
	全学年 800m ※3	7 位	松崎 悠生	浜田一・3 年	—	○
	1 年 1500m	1 位	大川 颯太	浜田三・1 年	11 位	—
	3 年 1500m	1 位	須古星 駿太	浜田一・3 年	○ ※4	○
	全学年 110mH	3 位	吉本 日向	浜田一・3 年	5 位	—
	全学年走高跳	2 位	久本 悠睦	浜田一・3 年	○	—
	1 年 4×100m R	3 位	浜田一		—	—
	全学年 4×100m R	1 位	浜田一		—	—
	低学年 4×100m R	1 位	浜田東		—	—
女子	2・3 年 800m	1 位	大濱 歩花	浜田三・3 年	○	—
	全学年 1500m	1 位	大濱 歩花	浜田三・3 年	11 位	—
	全学年走幅跳	1 位	安達 夕里	浜田一・3 年	4 位	—
		2 位	新田 朋華	三隅・1 年	12 位	—
		3 位	鞍田 結	浜田東・3 年	15 位	—

※1 中国大会は県総体 3 位までが出場。（リレーは全学年 1 校のみが出場。）

※2 全国大会は参加標準記録突破者が出場。（ただしリレーは全日本中学校通信陸上競技大会島根県大会の 1 位が出場。）

※3 全学年 800m の松崎選手は、専門部の推薦で全国大会へ出場。

※4 中国大会は棄権。

○ソフトテニス (7/22・23 安来運動公園内テニスコート)

種 目		順位	氏名・学校名等		※1 中国 大会出場	※2 全国 大会出場
男子	団体戦	1位	浜田一		3位	○

※1 中国大会は男女団体上位2チーム、個人上位8組までが出場。

※2 全国大会は団体戦上位3チームおよび個人戦上位6ペアが出場。

○柔道 (7/22・23 島根県立武道館)

種 目		順位	氏名・学校名等		※1 中国 大会出場	※2 全国 大会出場
男子	50kg級	3位	堤 大河	三隅・2年	—	—
	66kg級	2位	平川 優輝	三隅・2年	○	—
		3位	引地 翔希	浜田三・3年	—	—
	81kg級	3位	中島 大悟	浜田一・3年	—	—
女子	40kg級	1位	齋藤 美里	三隅・2年	3位	○

※1 中国大会は県総体2位までが出場。

※2 全国大会は県総体1位が出場。

○水泳競技 (7/22・23 島根県立水泳プール)

種 目		順位	氏名・学校名等		※1 中国 大会出場	※2 全国 大会出場
男子	50m自由形	3位	篠原 蒼心	三隅・3年	○	—
	100m自由形	1位	篠原 蒼心	三隅・3年	○	—
	200m自由形	2位	岩谷 樹希	浜田一・2年	○	—
	400m自由形	2位	岩谷 樹希	浜田一・2年	6位	—
	1500m自由形	1位	寺門 柊馬	浜田一・3年	○	—
		2位	寺門 維吹	浜田一・1年	○	—
	100m背泳ぎ	3位	佐々木 隆一朗	浜田一・3年	○	—
	200m背泳ぎ	2位	佐々木 隆一朗	浜田一・3年	8位	—
	100mバタフライ	2位	杉本 舷	浜田一・3年	6位	—
	200mバタフライ	1位	杉本 舷	浜田一・3年	6位	—
	4×100mFR	1位	浜田一		4位	—
	4×100mMR	1位	浜田一		3位	—
女子	100m自由形	3位	山本 玲葵	三隅・1年	○	—
	200m自由形	1位	小池 優羽	浜田三・3年	○	—
	400m自由形	1位	小池 優羽	浜田三・3年	○	—
	100m背泳ぎ	3位	平木 結菜	三隅・3年	○	—
	200m個人メドレー	3位	濱本 美成	浜田三・3年	○	—
	400m個人メドレー	1位	濱本 美成	浜田三・3年	○	—

※1 中国大会は個人種目においては県総体3位まで、リレーにおいては優勝校が出場。

※2 全国大会は参加標準記録突破者が出場。

## 令和5年度全国学力・学習状況調査結果（概要）について

浜田市教育委員会

## 1 調査の概要

(1) 調査実施日 令和5年4月18日（火）

(2) 調査の対象

国・公・私立学校小学校6年生（特別支援学校含む） 全児童

国・公・私立学校中学校3年生（特別支援学校含む） 全生徒

※ 特別支援学校及び小中学校の特別支援学級在籍者のうち、下学年の内容などに代替して指導を受けている児童生徒や特別支援学校の教科の内容の指導を受けている知的障がい者である児童生徒は、調査対象としない。

(3) 浜田市での調査対象児童生徒数 ・小学校 388名 ・中学校 369名

(4) 調査の内容

① 教科に関する調査 小6：国語・算数 中3：国語・数学・英語

※ 中学校英語「話すこと」については、生徒が活用するICT端末等を利用したオンライン方式によって実施。

② 質問紙調査 児童生徒に対する質問紙調査 学校に対する学校質問紙調査

## 2 各教科の平均正答率

中学校の英語については、前回調査が令和1年度であった。したがって、「差」については令和1年度との比較とした。

## (1) 小学校

	平均正答率（％）					
	浜田市	島根県	全国	差(市一県) <昨年>	差(市一国) <昨年>	差(県一国) <昨年>
国語	64.0	65.0	67.2	-1.0 <-4.0>	-3.2 <-5.6>	-2.2 <-1.6>
算数	58.0	59.0	62.5	-1.0 <-4.0>	-4.5 <-6.2>	-3.5 <-2.2>

## (2) 中学校

	平均正答率（％）					
	浜田市	島根県	全国	差(市一県) <昨年>	差(市一国) <昨年>	差(県一国) <昨年>
国語	68.0	70.0	69.8	-2.0 <±0>	-1.8 <±0>	+0.2 <±0>
数学	47.0	48.0	51.0	-1.0 <-3.0>	-4.0 <-5.4>	-3.0 <-2.4>
英語	38.0	40.0	45.6	-2.0 <-4.0>	-7.6 <-7.0>	-5.6 <-3.0>

### 3 浜田市の結果

#### (1) 各教科の分類別集計結果の概要

※ ○：市が県を2ポイント以上、上回るもの

－：市と県の差が2ポイント未満のもの

△：市が県を2ポイント以上、下回るもの

##### ① 小学校国語

学習指導要領の領域	対象設問数 14	平均正答率(%)			
		浜田市	島根県	差	
言葉の特徴や使い方に関する事項	5	67.8	70.9	-3.1	△
情報の扱い方に関する事項	2	61.1	61.1	0	－
我が国の言語文化に関する事項	0				
話すこと・聞くこと	3	69.5	70.6	-1.1	－
書くこと	1	22.9	22.6	+0.3	－
読むこと	3	66.7	68.0	-1.3	－

##### ② 小学校算数

学習指導要領の領域	対象設問数 16	平均正答率(%)			
		浜田市	島根県	差	
数と計算	6	63.7	63.8	-0.1	－
図形	4	42.7	43.3	-0.6	－
測定	0				
変化と関係	4	64.4	66.6	-2.2	△
データの活用	3	62.0	62.8	-0.8	－

##### ④ 中学校国語

学習指導要領の領域		対象設問数 15	平均正答率(%)			
			浜田市	島根県	差	
知識 及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方	2	72.5	70.1	+2.4	○
	(2) 情報の扱い方	2	61.5	62.7	-1.2	－
	(3) 我が国の言語文化	3	70.7	75.8	-0.5	△
思考力	A 話すこと・聞くこと	3	82.0	81.5	+0.5	－
判断力	B 書くこと	2	57.0	61.2	-4.2	△
表現力	C 読むこと	4	59.5	62.9	-3.4	△

##### ⑤ 中学校数学

学習指導要領の領域	対象設問数 15	平均正答率(%)			
		浜田市	島根県	差	
数と式	5	57.3	58.9	-1.6	－
図形	3	27.5	29.4	-1.9	－
関数	4	44.8	48.4	-3.6	△
データの活用	3	51.4	48.6	+2.8	○

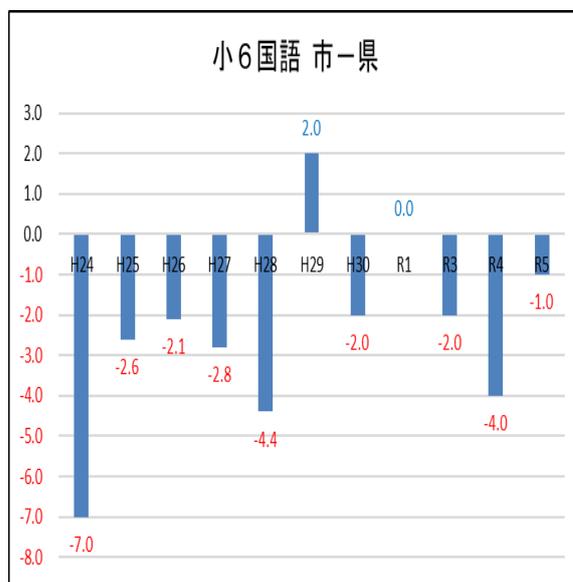
⑥ 中学校英語

学習指導要領の領域	対象設問数 17	平均正答率(%)			
		浜田市	島根県	差	
聞くこと	6	52.2	52.5	-0.3	-
読むこと	6	43.9	46.2	-2.3	△
書くこと	5	14.6	17.3	-2.7	△

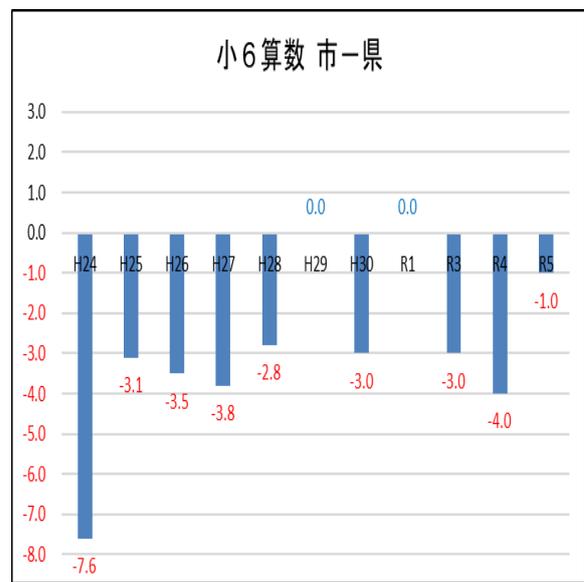
※ 「話すこと」については、オンラインの音声録音方式で実施。令和5年度については、浜田市は期間内実施校であり、結果提供は8月下旬となっていることから、表からは省略している。

(2) 平均正答率の県との差の推移（英語については実施回数が少ないため省略）

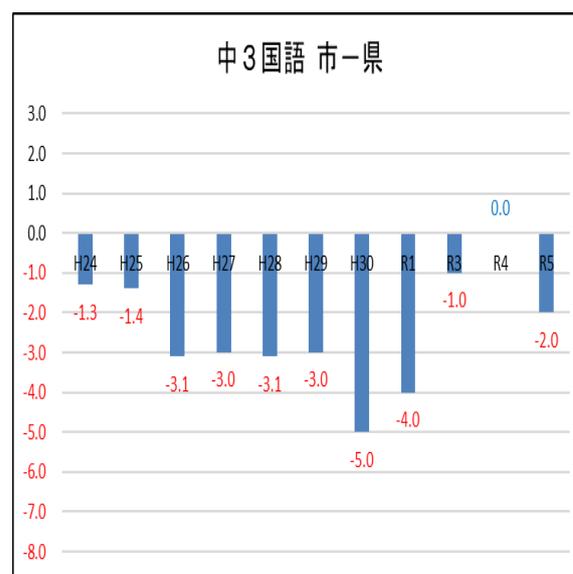
小6国語



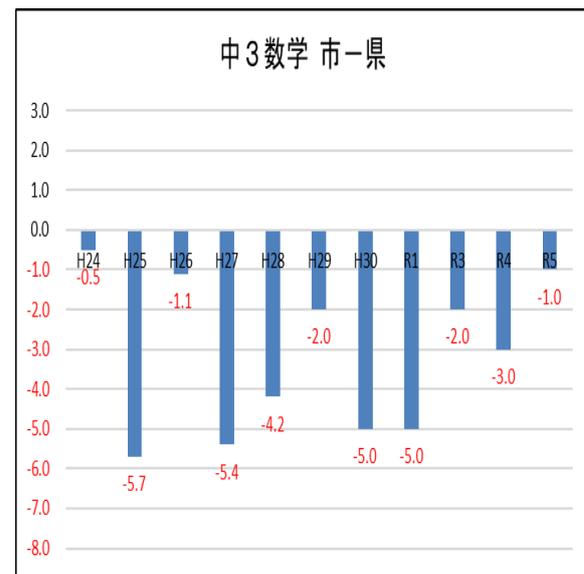
小6算数



中3国語



中3数学



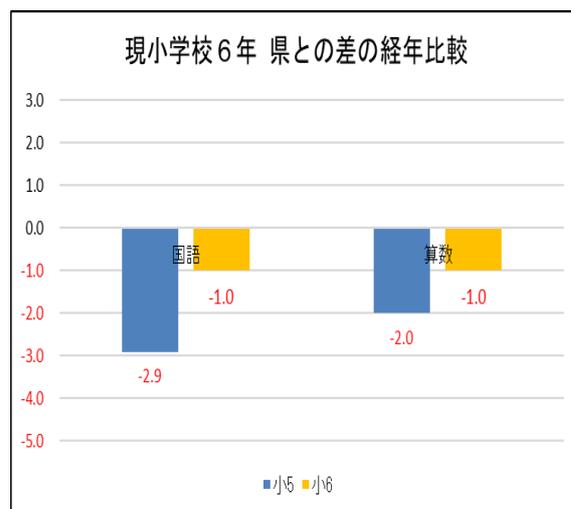
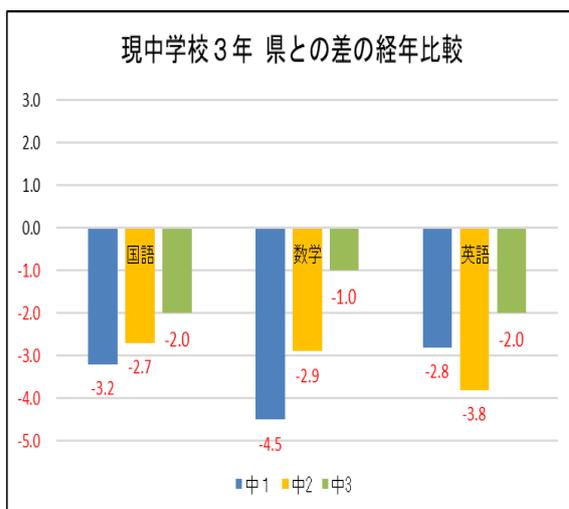
(3) 対象学年の平均正答率の県との差の経年比較

現中学校3年生

学年・学力調査種別	国語	数学	英語
R3県学力(中1)	-3.2	-4.5	-2.8
R4県学力(中2)	-2.7	-2.9	-3.8
R5全国学力(中3)	-2.0	-1.0	-2.0

現小学校6年生

学年・学力調査種別	国語	算数
R4県学力(小5)	-2.9	-2.0
R5全国学力(小6)	-1.0	-1.0



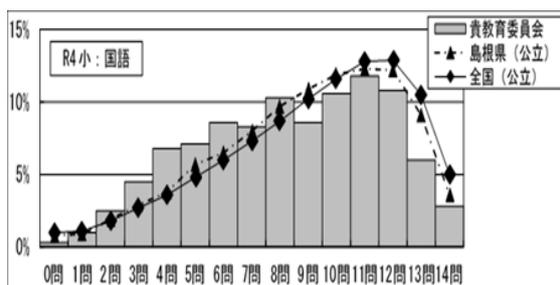
(4) 問題形式別の県との差

※ ( ) 内の数値は令和4年度(英語は令和1年度)の県との差を表す

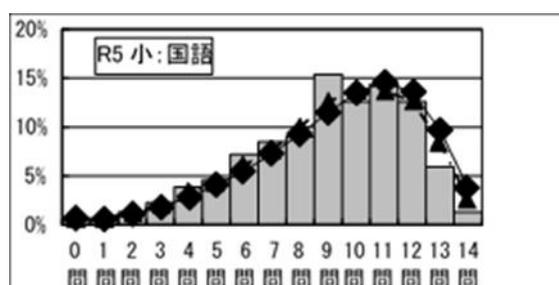
	小6国語	小6算数	中3国語	中3数学	中3英語
選択式	-1.0 (-4.6)	-0.7 (-4.7)	-0.8 (-0.4)	-2.6 (-2.2)	-1.2 (-1.3)
短答式	-4.7 (-5.8)	-0.8 (-3.3)	-1.9 (+0.3)	+1.5 (-3.2)	-3.2 (-3.3)
記述式	-1.3 (-2.4)	-1.3 (-3.8)	-3.4 (-0.2)	-3.7 (-2.3)	-2.0 (±0)

(5) 正答率分布

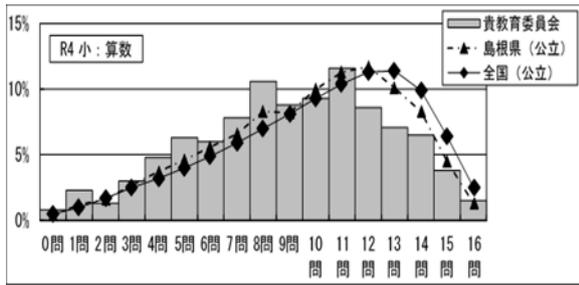
小6国語 【令和4年度】



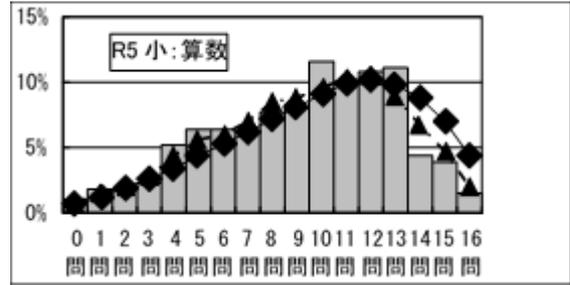
【令和5年度】



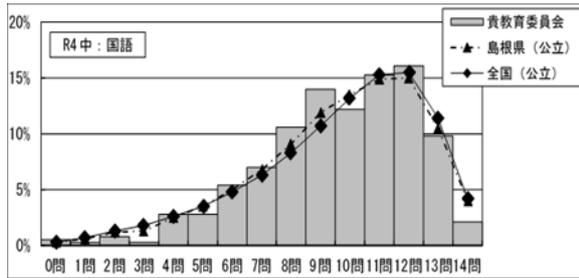
小6 算数 【令和4年度】



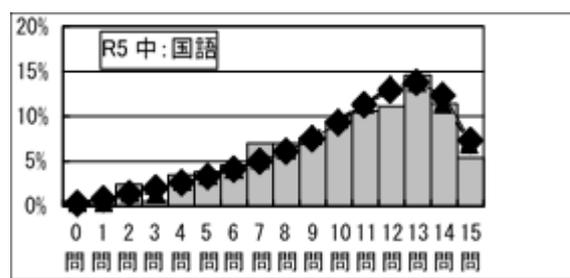
【令和5年度】



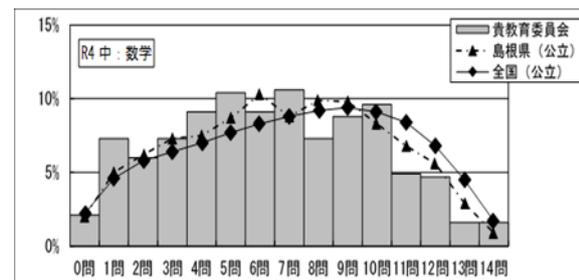
中3 国語 【令和4年度】



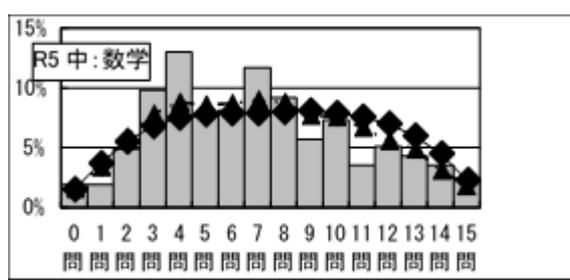
【令和5年度】



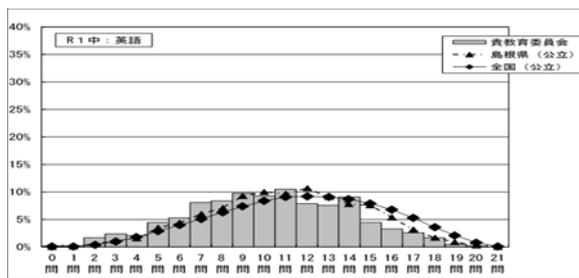
中3 数学 【令和4年度】



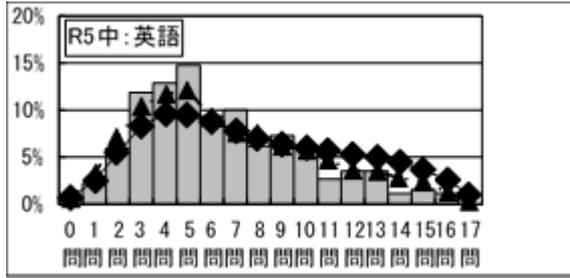
【令和5年度】



中3 英語 【令和1年度】



【令和5年度】



## (6) 教科に関する結果の概要

### ① 浜田市児童生徒の平均正答率の特徴

県平均正答率と比較して上回っている設問の上位3設問及び下回っている下位3設問の状況は以下のとおりである。

問題番号	正答率	問題形式	問題の概要	出題の趣旨	領域等
2一	90.0% (+2.4)	選択式 [±0]	【資料1】と【資料2】に書かれている内容として適切なものを選択する	目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができるかどうかをみる	読むこと
1三 (2) イ	92.8% (+1.9)	選択式 [-0.3]	【川村さんの文章】の下線部イを、送り仮名に気をつけて書き直したものにしてお適切なものを選択する(くらべて)	送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	言葉の特徴や使い方に関する事項
3一(1)	71.7% (+0.9)	選択式 [-1.9]	【インタビューの様子】の傍線部ア(～ということだと思いますが、合っていますか。)のように質問をした理由として適切なものを選択する	必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができるかどうかをみる	話すこと・聞くこと
1三 (1) ア	42.7% (-8.9)	短答式 [-10.1]	【川村さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す(いがい)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	言葉の特徴や使い方に関する事項
2二	55.3% (-5.9)	選択式 [-12.1]	【相田さんのメモ】の空欄に当てはまる内容として適切なものを選択する	目的に応じて文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる	読むこと
3三	55.3% (-4.6)	選択式 [-2.3]	敬語の使い方をまとめた【谷さんのノートの一部】の空欄に入る内容として適切なものを選択する	日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる	言葉の特徴や使い方に関する事項

### 【中学校国語】

問題番号	正答率	問題形式	問題の概要	出題の趣旨	領域
3二	54.2% (+4.7)	短答式 [+10.3]	漢字を書く(おしはかって)	文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる	言葉の特徴や使い方に関する事項
2二	64.2% (+2.1)	選択式 [+1.2]	二つの文章に共通する表現の効果を説明したものとして適切なものを選択する	観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考えることができるかどうかをみる	読むこと
1四	83.7% (+1.1)	記述式 [+1.2]	インタビューのまとめとしてどのようなことを述べているのか、自分の考えを書く	聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることができるかどうかをみる	話すこと・聞くこと
4一	77.0% (-7.9)	短答式 [-5.5]	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(いひける)	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる	我が国の言語文化に関する事項
2四	61.5% (-6.1)	記述式 [-5.9]	自分がこれからどのように本を読んでいきたいかについて、読んだ文章を参	文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げ	我が国の言語文化に関する

			考にして、知識や経験に触れながら書く	たり深めたりすることが できるかどうかをみる	事項 読むこと
2三	68.3% (-5.3)	選択式 [-5.9]	それぞれの文章で述べられている「読書の楽しみ」として適切なものを選択する	文章の中心的な部分と付加的な部分について「記述を基に捉え、要旨を把握することができるかどうかをみる	読むこと

### 【小学校算数】

問題番号	正答率	問題形式	問題の概要	出題の趣旨	領域
3(4)	46.4% (+3.1)	選択式 [-1.2]	66÷3 の筆算の仕方を説明した図を基に、筆算の商の十の位に当たる式を選ぶ	(2位数)÷(1位数)の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えることができる	数と計算
2(1)	58.0% (+1.6)	選択式 [-1.8]	テープを2本の直線で切ってきた四角形の名前と、その四角形の特徴を選ぶ	台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる	図形
3(3)	67.3% (+0.8)	短答式 [-5.1]	(151+49)×3 と 151×3+49×3 を計算したり、分配法則を用いたりして答えを求める	加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることができるかどうかをみる	数と計算
4(1)	37.4% (-3.2)	選択式 [-8.6]	示された基準量と比較量から、割合が30%になるものを選ぶ	百分率で表された割合について理解しているかどうかをみる	変化と関係
1(3)	45.6% (-3.1)	記述式 [-9.9]	椅子4脚の重さが7kgであることを基に、48脚の椅子の重さの求め方と答えを書く	伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる	変化と関係
3(1)	63.9% (-2.9)	選択式 [-6.4]	2種類の辞典を全部並べた長さを求める二つの式について、それぞれどのようなことを表しているのかを選ぶ	( )を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができるかどうかをみる	数と計算

### 【中学校数学】

問題番号	正答率	問題形式	問題の概要	出題の趣旨	領域
5	53.1% (+8.8)	短答式 [+7.0]	女子50m自由形の記録の、最小の階級から29.00秒以上30.00秒未満の階級までの累積度数を求める	累積度数の意味を理解しているかどうかをみる	データの活用
7(1)	68.3% (+3.2)	短答式 [+2.6]	1961年～1975年の四分位範囲を求める	四分位範囲の意味を理解しているかどうかをみる	データの活用
6(1)	90.2% (+1.3)	短答式 [+1.3]	はじめの数が11のとき、はじめの数にかける数が2、たす数が3のときの計算結果を求める	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができるかどうかをみる	数と式
8(3)	36.0% (-6.0)	記述式 [-6.8]	グラフや式を用いて、新緑大学の選手が晴天大学の選手に追いつくのが、6区のスタート地点からおよそ何mの地点になる	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる	関数

			かを求める方法を説明する		
6(3)	33.3% (-3.8)	記述式 [-7.6]	はじめの数にける数がいくつ、たす数がいくつであれば、計算結果はいつでも4の倍数になるかを説明する	結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見だし、説明することができるかどうかをみる	数と式
8(2)	55.0% (-3.7)	選択式 [-6.7]	二人の選手のグラフが直線で表されていることの前提となっている事柄を選ぶ	事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈することができるかどうかをみる	関数

【中学校英語】

問題番号	正答率	問題形式	問題の概要	出題の趣旨	領域
1(1)	77.9% (+3.7)	選択式 [-1.1]	ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる	聞くこと
3	36.9% (+1.8)	選択式 [-4.3]	バーベキューパーティーについての説明を聞き、質問の答えとして最も適切なものを選択する	日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる	聞くこと
7(1)	53.9% (+1.8)	選択式 [-5.9]	図書館について書かれた英文を読み、文中の空所に入る適切な語句を選択する	文と文との関係を正確に読み取ることができるかどうかをみる	読むこと
6	24.0% (-4.4)	選択式 [-11.9]	友達からのメールを読み、相手が示した条件に合うイベントとして最も適切なものを選択する	日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる	読むこと
7(2)	27.5% (-3.8)	選択式 [-7.2]	図書館について書かれた英文を読み、その概要として最も適切なものを選択する	日常的な話題について、短い文章の概要を捉えることができるかどうかをみる	読むこと
9(1)①	27.8% (-3.6)	短答式 [-12.6]	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる	未来表現 (be going to) の肯定文を正確に書くことができるかどうかをみる	書くこと

② 国語について（成果（○）と課題（▲）、今後の指導のポイント（★））

小学校国語（6年生）

- 県正答率との差は、-1.0P で昨年度より 3P 縮小している。
- 「書くこと」では県平均正答率を 0.3P 上回り、「情報の活用」では県平均正答率と同率となった。県との差についても「話すこと・聞くこと」R4：-4.8⇒R5：-1.1、「読むこと」R4：-3.8⇒R5：-1.3 と差が縮小している。
- 問題の終盤での無回答率は、県や全国の無回答率より少ない。
- ▲ 領域別では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」に課題がある
- ▲ 出題内容別では、「漢字を書くこと」「敬語の理解」に課題がある。
- ★ 普段の生活の中で漢字や敬語を使うようにするとともに、習得のための手立てを考える。

★ 読解力の育成を目指した指定校の取組への支援を充実させ、その取組の成果を各学校へ広げていく。また、学校図書館活用教育、調べる学習等の取組も継続していく。

中学校国語（3年生）

- 領域別では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」において、それぞれ2.4P、0.5P 県平均正答率を上回った。
- 出題内容別では、「漢字を書くこと」「自分の考えをまとめること」「表現の効果について考えること」が県の平均正答率を上回った。
- ▲ 県平均正答率との差は、-2.0P で昨年度より差が2.0P 広がっている。
- ▲ 領域別では、「書くこと」「読むこと」に課題がある。
- ▲ 出題内容別では、古典に課題がある。
- ★ 学校図書館活用教育、調べる学習等の取組を継続し、古典に親しませる工夫をしていく。
- ★ 文章を読んで理解したことに知識や経験を結び付けて考えたり、表現の効果を考えたりする場を授業の中に意識的に取り入れて、自己の考えを書く活動を重視する。

③ 算数・数学について（成果（○）と課題（▲）、今後の指導のポイント（★））

小学校算数（6年生）

- 県平均正答率との差は-1.0P と、昨年度より3P 縮小している。
- 4つの領域とも県平均を下回っている。しかし、「数と計算」「図形」「データの活用」ではその差はいずれも1P未満であり、「変化と関係」領域においても「R4：4.0P⇒R5：2.2P」とその差が縮小している。
- 問題内容別（選択式、短答式、記述式）正答率は、県平均正答率との差が最大（記述式）で-1.3Pであり、差は縮小している。
- 一般的に県平均正答率との差は縮小しており、各校における授業改善が進んでいることが認められる。
- ▲ 記述式の問題の正答率が他の出題内容より低く課題がある。
- ▲ 「図形領域」において、「三角形の面積」では「底辺と高さ」の関係の確かな理解に基づいて、公式を活用することに、また図形の性質の理解に課題がある。

中学校数学（3年生）

- 平均正答率の県との差及び全国との差は、それぞれ前回調査から改善している。  
(県との差 R4：-3.0P⇒ R5：-1.0P)
- 対象学年の平均正答率の県との差の経年比較によると、中学校1年時及び中学校2年時の県学力調査から改善している。(中1：-4.5P⇒ 中2：-2.9P⇒ 中3：-1.0P)
- 領域別正答率では、「データの活用」について、県平均及び全国平均を上回っている。(県比+2.8P、全国比+2.9P)
- 生徒質問紙調査から、「数学の勉強は好き」について、下記の表のとおり、前回調査との比較でも、対象生徒の経年比較でも、肯定率の改善が認められた。これは、昨年度から「数学的活動の充実」を重点として学校訪問で周知し、授業改善が行われている成果であると考えている。

<前回調査との比較>

<対象生徒の経年比較>

調査	R4 全国	R5 全国	R3 県(中1)	R4 県(中2)	R5 全国(中3)
浜田市(県比)	53.9(-4.4)	57.4(-0.9)	54.4(-4.4)	54.9(-1.1)	57.4(-0.9)
島根県	58.3	58.3	58.8	56.0	58.3
全国	58.1	56.7			56.7

- ▲ 平均正答率について、改善はみられるものの、全国との差は依然大きい。(全国との差 -4.0P)
- ▲ 領域別正答率では、「関数」について課題がある。(県との差 -3.6P)
- ▲ 問題別正答率では、6(3)や8(3)に課題がある。これらの問題は、問題解決の方法や成り立つ事柄を見いだして、数学的に「説明する」ことについて見る問題であった。
- ▲ 生徒質問紙調査から、「授業の内容はよく分かる」(肯定率71.3%：県との差 -3.1%)及び「授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」(肯定率74.0%：県との差が -5.0%)について特に課題がある。

#### ★算数・数学についての今後の指導のポイントとして

重点としている「数学的活動の充実」による授業改善の推進

- ・児童生徒の活動場面を保障する授業
- ・「具体的な問題場面と数学的な表現」や「数学的な表現間」の関連付けの重視
- ・指定校での実践の成果の普及
- ・学校訪問指導による啓発

#### ④ 英語(中学校のみ)について(成果○)と課題(▲)、今後の指導のポイント(★)

- 平均正答率の県との差は、前回調査から改善している。(R1：-4.0P ⇒ R5：-2.0P)
- 対象学年の平均正答率の県との差の経年比較によると、中学校1年時及び中学校2年時の県学力調査から改善している。(中1：-2.8P ⇒ 中2：-3.8P ⇒ 中3：-2.0P)
- 領域別正答率では、「聞くこと」については県とほぼ同程度(-0.3P)であり、これは前年度の県学力調査と同様の傾向である。
- 生徒質問紙調査から、「英語の勉強は好き」について、肯定率は県を上回っている(+4.3P)。これは、「スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていた」への肯定率(79.9%：県比+4.2%、全国比+1.2%)が示すよう、「表現する」活動が充実していることが一つの要因であると考えている。
- ▲ 県平均との差は縮まっているものの、全国平均との差は依然大きい。(R1：-7.0P ⇒ R5：-7.6P)
- ▲ 領域別正答率では、「読むこと」及び「書くこと」に課題がある。(県との差「読むこと」：-2.3P、「書くこと」：-2.7P)
- ▲ 問題別正答率では、6や7(2)に課題がある。これらの問題は、「置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ること」や「文章の概要を捉えること」ができるかどうかを見る問題であった。
- ▲ 生徒質問紙調査から、「原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていた」への肯定率に特に課題がある(58.4%：県比-4.1%、全国比-5.4%)。スピーチやプレゼンテーション等の「事前準備をした表現活動(単方向のコミュニケーション)」は充実しているが、「(即興での)伝え合う活動(双方向のコミュニケーション)」の実施状況が不十分であると考えられる。
- ★ 目的、場面、状況を設定し、生徒が英語を使って気持ちや考えを「伝え合う」などの言語活動を充実させていく。
- ★ 教科書等を読む際は、1文ずつ理解するのではなく、初見のまとまった英文から必要な情報を取り出すために、「目的を持って読む」などの活動を繰り返していく。
- ★ 領域統合の活動を充実させていく。(例：聞いたり読んだりした内容について、感想や意見のやり取りをする。また、その内容についてまとまった英文を書く。)

#### ⑤ 平均正答率の県との差の推移について

小学校では、国語、算数ともに前回調査よりも県との平均正答率の差は縮小し、令和3年度以降

は下降傾向にあった状況に若干の改善が認められた。

中学校では、平成30年度以降、県平均正答率との差が全体として縮小し、改善傾向にある。しかし、国語については前回調査を下回った。

⑥ 調査対象学年の県との差の経年比較について

小学校6年生、中学校3年生ともに、小学校5年生段階及び中学校1・2年生段階と比較して県との差は縮小しており、授業改善の成果が認められる。

⑦ 問題形式別の県との差について

小学校については、全ての問題形式において県との差は縮小している。課題であった記述式についても改善傾向が認められる。

中学校については、特に記述式について課題がある。

⑧ 正答率分布について

これまで、小中学校共に高正答率者の割合が少なく、低正答率者の割合が高いことが課題であった。高正答率者が少ないことは依然として課題ではあるが、前年度と比較して小学校では、国語、算数ともに全国や県の正答率分布に近づいている。中学校では、教科によって正答率分布に大きな違い（全国や県も同様）がある。国語は前年度と比較して、全国や県の分布に近づいている。数学は低正答率者を中正答率層へ、中正答率者を高正答率層へ移行させていくことが必要である。英語は、前回調査と比較して低正答率層が増えており、低正答率者を中正答率層へ移行させていく必要がある。

(7) 児童生徒の意識調査及び学校質問紙調査（校長の自己評価）結果及び今後の取組の方向性

ここでは、児童生徒意識調査で注目している質問項目を挙げている。また、学校質問紙においては、児童生徒意識調査で取り上げている項目と関連のある項目を挙げている。したがって、児童生徒意識調査結果について学校質問紙と関連付けながら分析を行っている。

なお、昨年度まで取り上げていた「普段、1日当たり2時間以上テレビゲーム（コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をする児童生徒の割合」は質問項目から削除されたため、掲載していない。

<児童生徒質問紙結果>

( ) 内の数値は、県肯定率との差を表している

質問項目	小学校6年生		中学校3年生	
	R4年度	R5年度	R4年度	R5年度
自分には、よいところがあると思いますか	74.6 (-2.7)	73.9 (-7.2)	76.8 (-4.2)	85.2 (+4.1)
将来の夢や目標をもっていますか	74.1 (-3.5)	73.9 (-4.8)	66.6 (-1.1)	66.5 (-0.1)
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか (学校の授業の予習や復習を含む)	60.7 (-11.2)	64.2 (-6.9)	58.6 (-6.1)	52.8 (-8.6)
学校の授業時間以外に、普段1日当たり1時間以上勉強をしていますか	49.6 (-10.6)	50.5 (-3.4)	53.0 (-4.1)	46.7 (-5.5)
学校の授業時間以外に、普段1日当たり30分以上読書を読みますか	28.8 (-2.5)	30.5 (-0.3)	28.0 (+2.0)	28.1 (+1.5)
授業では課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	65.5 (-8.3)	66.6 (-7.4)	79.5 (-1.8)	77.0 (-3.6)
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか	71.7 (-6.2)	71.8 (-5.5)	80.3 (-0.1)	80.7 (-1.7)

あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会（学級活動）で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	69.3 (-1.0)	67.3 (-5.8)	73.9 (-2.2)	75.9 (-2.3)
学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	66.8 (-4.9)	63.8 (-5.2)	72.6 (-1.5)	70.5 (-2.7)
国語の勉強は好きですか	54.4 (-4.6)	61.2 (+1.3)	60.1 (-1.4)	67.6 (+7.1)
算数・数学の勉強は好きですか	52.6 (-5.2)	50.8 (-3.6)	53.9 (-4.4)	57.4 (-0.9)
英語の勉強は好きですか（令和1年度との比較）			55.5 (-1.3)	50.4 (+4.3)

**学校質問紙（校長の自己評価）結果** ( )内の数値は、県肯定率との差を表している

質問項目	小学校		中学校	
	R4年度	R5年度	R4年度	R5年度
学校生活の中で、一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する（褒めるなど）取組を行った	93.8 (-5.1)	100 (+1.5)	100 (+1.1)	100 (+3.1)
将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をした	81.3 (-2.4)	68.8 (-14.9)	100 (+1.0)	66.6 (-29.3)
児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っている	81.3 (+7.8)	93.8 (+19.8)	88.9 (+30.4)	66.7 (+1.8)
個々の教員が、自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加している	56.3 (-0.8)	68.8 (+2.5)	44.4 (-7.8)	22.2 (-41.7)
児童生徒は、授業では課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができている	56.3 (-24.8)	87.6 (+5.5)	88.9 (12.4)	100 (+24.8)
児童生徒は、学級やグループでの話し合い活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている	56.3 (-13.6)	87.5 (+9.4)	88.9 (+9.6)	77.8 (+1.5)
学級生活をよりよくするために、学級会（学級活動）で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法などを合意形成できるような指導を行っている	81.3 (-9.0)	87.6 (-2.7)	100 (+8.5)	88.9 (+3.4)
学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童生徒が意思決定できるような指導を行っている	81.3 (-2.3)	81.3 (-5.4)	100 (+10.6)	100 (+14.5)

① 児童生徒意識調査の「自分にはよいところがある」、「将来の夢や目標をもっている」について

「自分には良いところがある」について、小学校は肯定率が R4 : 74.6%⇒R5 : 73.9%で前回調査を下回り、県との差は R4 : -2.7%⇒7.2%と広がった。中学校は肯定率が R4 : 76.8%⇒R5 : 85.2%と前回調査を上回り、県との差は R4 : -4.2%⇒R5 : +4.1%と上回った。特に、小学校においては学校の認識（学校質問紙における「一人一人のよさを評価する取組」R5 : 100%）と児童の意識に差がある。児童のよさを評価する営みや学級活動の指導の在り方を見直していく必要がある。

「将来の夢や目標をもっている」について、小学校は肯定率が R4 : 74.1%⇒R5 : 73.9%と下回り、県との差は R4 : -3.5%⇒R5 : -4.8%と開いた。中学校は肯定率が R4 : 66.6%⇒66.5%とほぼ同率であるが、県との差は R4 : -1.1%⇒R5 : -0.1%であり、県とほぼ同率となった。学校質問紙の肯定率も小学校は R4 : 81.3%⇒R5 : 68.8%、中学校は R4 : 100%⇒66.6%と前回調査を下回っていることから、

学級活動をはじめとした、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導の在り方を見直していく必要がある。

## ② 家庭学習について

児童生徒意識調査の「家で自分で計画を立てて勉強をする」について、小学校の肯定率は R4 : 60.7%⇒R5 : 64.2%で前回調査を上回り、県との差は R4 : -11.2%⇒R5 : -6.9%と縮小した。中学校の肯定率は R4 : 58.6%⇒R5 : 52.8%で前回調査を下回った。県との差は R4 : -6.1%⇒R5 : -8.6%と広がった。

「1時間以上勉強をする」について、小学校の肯定率は R4 : 49.6%⇒R5 : 50.5%で前回調査を上回り、県との差は R4 : -10.6%⇒R5 : -3.4%と縮小した。中学校の肯定率は R4 : 53.0%⇒R5 : 46.7%で前回調査を下回り、県との差も R4 : -4.1%⇒R5 : -5.5%と広がった。

家で自分で計画を立てて勉強する児童生徒の割合を増やしていくための取組を強化していくことで、家庭学習時間の増加も目指していく必要がある。

## ③ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況について

児童生徒意識調査の「授業では課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」について、小学校の肯定率は R4 : 65.5%⇒R5 : 66.6%と前回調査を上回り、県との差は R4 : -8.3%⇒R5 : -7.4%と縮小している。中学校の肯定率は R4 : 79.5%⇒R5 : 77.7%で前回調査を下回り、県との差も R4 : -1.8%⇒R5 : -3.6%と広がった。中学校においては学校の認識（学校質問紙における肯定率 R5 : 100%）と生徒の意識に差がある。また、中学校の学校質問紙における校内研修の実施や研究会等への参加に関する項目の肯定率は R5 : 44.4%⇒R5 : 22.2%と前回調査を大きく下回っている。学校として、積極的な研修会等への参加を促す。そして、その成果を共有していくこと通じて主体的な学習についての捉えを学校全体で再認識し、実践をしていく営みが必要である。

児童生徒意識調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできている」について、肯定率は小学校 R4 : 71.7%⇒R5 : 71.8%、中学校は R4 : 80.3%⇒R5 : 80.7%で前回調査を上回った。県との差は、小学校 R4 : -6.2%⇒R5 : -5.5%で縮小しているが、中学校は R4 : -0.1%⇒R5 : -1.7%と広がった。小学校においては、前回調査において課題のあった学校質問紙の同様な項目における肯定率 R4 : 56.3%⇒R5 : 87.5%と改善が認められている。対話的な学習指導を継続していく。

## ④ 教科の勉強が好きな児童生徒の割合について

国語についての肯定率は、小学校 R4 : 54.4%⇒R5 : 61.2%、中学校 R4 : 60.1%⇒R5 : 67.6%と前回調査を上回り、県との差も小学校 R4 : -4.6%⇒R5 : +1.3%、中学校 R4 : -1.4%⇒R5 : +7.1%と上回った。

算数についての肯定率は、小学校 R4 : 52.6%⇒R5 : 50.8%と前回調査を下回り、中学校は R4 : 53.9%⇒R5 : 57.4%で前回調査を上回った。県との差については、小学校 R4 : -5.2%⇒R5 : -3.6%、中学校 R4 : -4.4%⇒R5 : -0.9%で縮小している。

英語（中学校のみ）についての肯定率は、R1 : 55.5%⇒R5 : 50.4%で前回調査を下回ったが、県との差は R1 : -1.3%⇒R5 : +4.3%と上回っている。

特に、算数・数学好き、英語好きの児童生徒を育てていく必要がある。

## 4 今後の取組の方向性について

### (1) 「知識・技能」の確かな定着への取組の継続

1 単位時間の授業の中で習得した知識・技能を活用する時間をより多く設定し、知識・技能の定着を図るための授業改善を行う。

また、各学校が、基礎的学力育成のために行っている取組（基礎学力テスト、書き取り会、計算会、家庭学習の工夫、家庭学習の定着、プリント配信システム（タブレットドリル版）の活用、指導・支援が必要な児童生徒への指導の時間確保等）は、今後も継続して、基礎的・基本的な知識・技能の定着を確かなものとしていく。

## **(2) 授業改善、「思考力・判断力・表現力」の育成**

浜田市の児童生徒の課題として、「限られた時間で、多くの情報の中から課題解決に必要な情報を収集して考え、根拠を明確にして筋道を立てて表現（言葉や文章、式、図、音声言語など）する力」を挙げている。この課題解決に向かい、市教育委員会が授業改善のための方策として示している「子どもの声でつくる授業」を核としながら、各学校で進めている「主体的・対話的で深い学び」を実現していくための取組を継続していくとともに、授業構想段階から指導主事が関わるなどの授業づくりへの支援を充実させていく。

なお、課題であった算数・数学については、重点としてきた数学的活動の充実により改善傾向がみられ始めている。この取組を継続していくことで、算数・数学好きな児童生徒を育てていくとともに、数量や図形概念等の構築や思考力・判断力・表現力等を育成する。さらに、昨年度から取り組んでいる算数・数学アドバイザーによる指定校を中心とした指導を各学校へ広げていく。

協調学習として取り組んでいる知識構成型ジグソー法及び図書館活用教育の取組は思考力・判断力・表現力において浜田市の児童生徒の課題解決へ迫る手法としても適していると考えている。したがって、協調学習や図書館活用教育の研修を充実させるとともに指定校の取組を各小中学校に広げていく。

## **(3) 「夢や目標をもって取り組む指導（キャリア教育）」「学級経営」の充実**

「子どもの声でつくる授業」を実現していくには、「落ち着いて安心して学習に向かえる環境・学級づくり」や「夢や目標をもって取り組む指導」等の確実な積み重ねが重要となる。安心して学習に向かえる環境・学級づくりについては、「なすことによって学ぶ」を方法原理とする特別活動、なかでも学級活動の取組が大切となる。生徒指導担当指導主事とも連携を図り、各学校の取組を支援していく。また、県教育委員会の指定で実践を積み重ねてきたキャリア・パスポートの研究実践を基盤としながら、キャリア教育が組織的に展開されるように小中連携教育とも関連させながら取り組んでいく。

この小中連携教育では、家庭学習に対する課題を解決していくために、自分で計画を立てて実践し振り返る営みを重点として取り組んでいる。この取組を更に充実させていく。

令和5年8月22日  
教育委員会定例会資料  
学力向上推進室

# 令和5年度 全国学力・学習状況調査

## 浜田市結果概要及び今後の対応

浜田市教育委員会 学力向上推進室

# 本年度調査を踏まえた概観

## 1 教科の平均正答率

- 小学校は、前回調査より県及び全国との差が縮小。経年比較では年度による違いはあるが改善傾向。当該学年の県との差の経年比較も改善。
- 中学校は、前回調査より数学、英語は県との差が縮小。数学は全国との差も縮小。経年比較では改善傾向。当該学年の県との差も改善。

※ 授業改善の取組成果は表れてきている。

## 2 授業改善状況（児童生徒質問紙、学校質問紙から）

- 「課題解決に向かい、自分で考え、自分から取り組む」は、児童生徒肯定率は下降し、学校の認識とに差があり課題。
- 「話し合う活動を通じて、自分の考えを深め広げる」は、児童生徒意識調査は小学校が若干下降、中学校は伸びている。
- 児童生徒肯定率の最も低い項目は「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発言や発表」であった。
- 校内研修は行われているが、専門性を高めるための校外の研究会等への参加に課題。

## 3 家庭学習は依然課題

# 本年度調査を踏まえた概観②

## 今後の方向性として

### (1) 知識・技能の確かな定着

- 1単位時間の授業の中で習得した知識を活用する時間をより多く設定する
- 各学校が実施している基礎的学力育成のための取組を継続する

### (2) 授業改善、「思考力、判断力、表現力等」の育成

- 「限られた時間で、多くの情報の中から課題解決に必要な情報を収集して考え、根拠を明確にして筋道を立てて表現する力」については、依然課題。
- 授業改善プランの「子どもの声でつくる授業」を核としながら、特に個人思考時間の在り方の再考、出された考え（情報）を子ども自らが比較検討する話合いを充実する。

### (3) 夢や目標をもって取り組む指導（キャリア教育）、学級経営の充実

- 「キャリア・パスポート」や「なすことによって学ぶ」を方法原理とする特別活動（特に学級活動(1)）の取組充実を図る。

### (4) 計画を立てて取り組む家庭学習

- 小中連携教育における各中学校校区の方針を各学校で確実に実施する。

# 教科の平均正答率

## (1) 小学校

※〈 〉内の数値は、前回調査における数値を表す

	平均正答率 (%)					
	浜田市	島根県	全国	差 (市-県) 〈昨年〉	差 (市-国) 〈昨年〉	差 (県-国) 〈昨年〉
国語	64.0	65.0	67.2	-1.0 〈-4.0〉	-3.2 〈-5.6〉	-2.2 〈-1.6〉
算数	58.0	59.0	62.5	-1.0 〈-4.0〉	-4.5 〈-6.2〉	-3.5 〈-2.2〉

県との差：前回調査より【国語+3.0】【算数+3.0】ポイント

国との差：前回調査より【国語+2.4】【算数+1.7】ポイント

# 教科の平均正答率

## (2) 中学校

※〈 〉内の数値は、前回調査における数値を表す

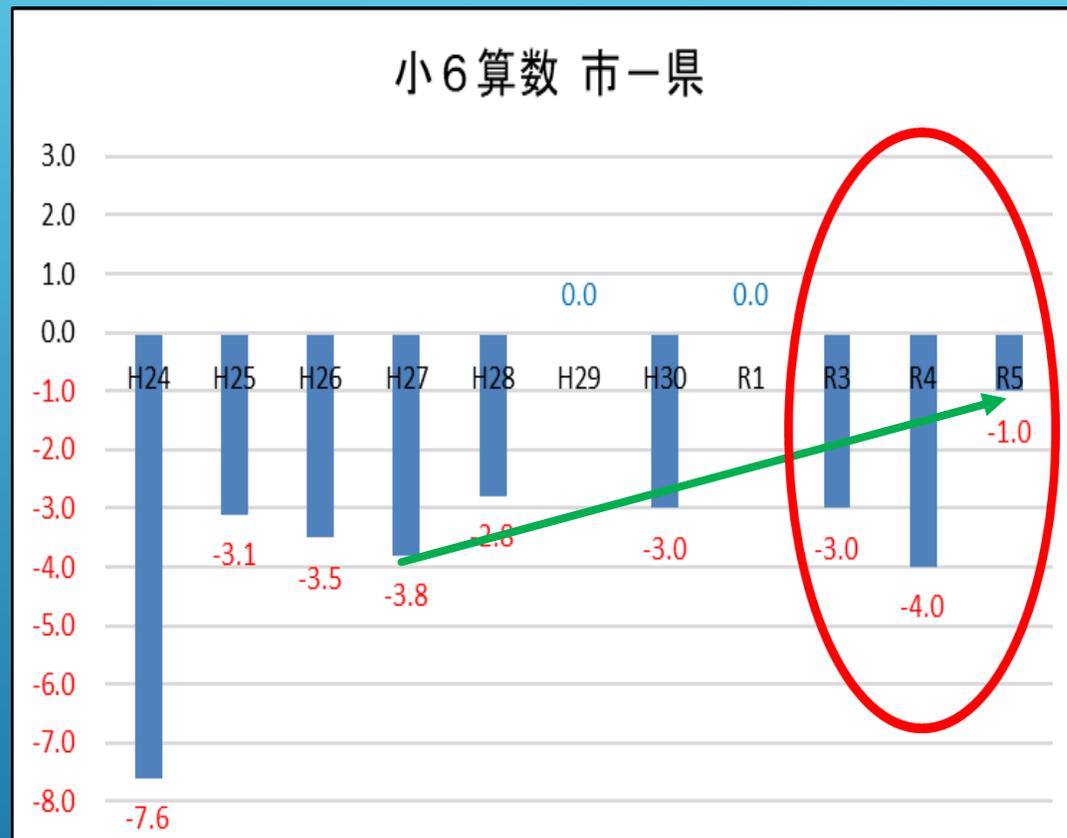
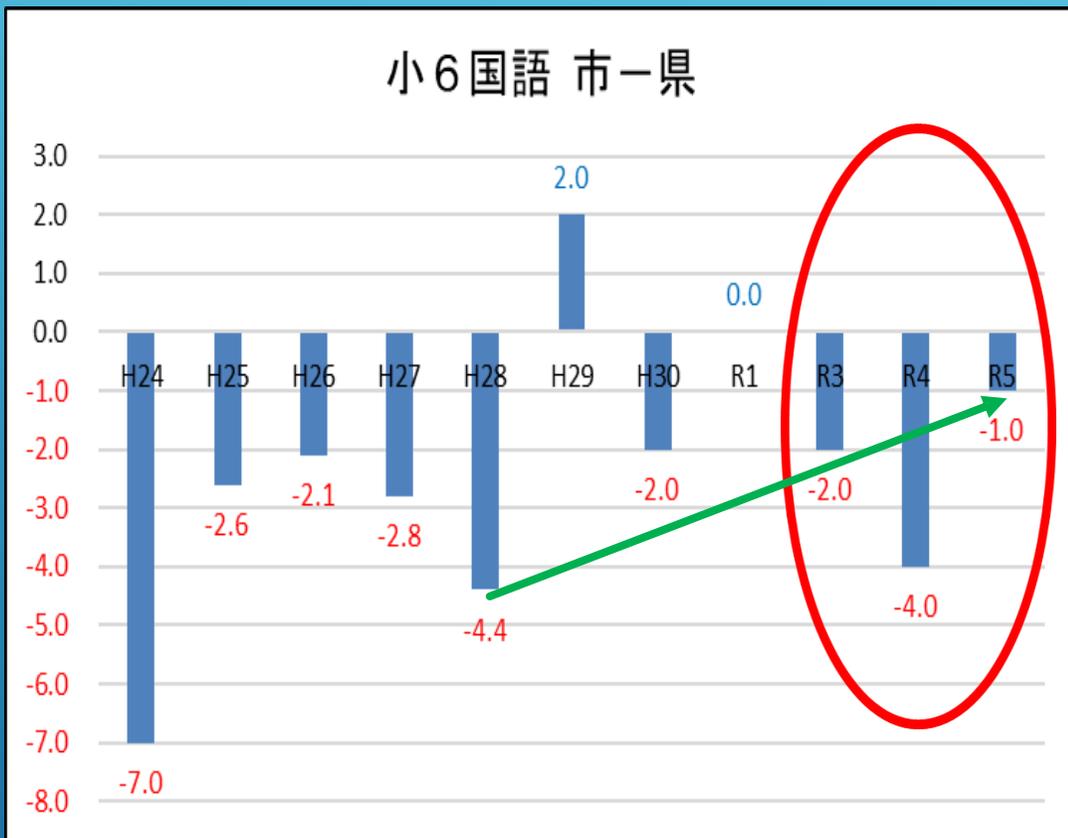
	平均正答率 (%)					
	浜田市	島根県	全国	差 (市-県) 〈昨年〉	差 (市-国) 〈昨年〉	差 (県-国) 〈昨年〉
国語	68.0	70.0	69.8	-2.0 〈±0〉	-1.8 〈±0〉	+0.2 〈±0〉
数学	47.0	48.0	51.0	-1.0 〈-3.0〉	-4.0 〈-5.4〉	-3.0 〈-2.4〉
英語	38.0	40.0	45.6	-2.0 〈-4.0〉	-7.6 〈-7.0〉	-5.6 〈-3.0〉

県との差：前回調査より【国語-2.0】【数学+2.0】【英語+2.0】ポイント

国との差：前回調査より【国語-1.8】【数学+1.4】【英語-0.6】ポイント

# 平均正答率 県との差の推移

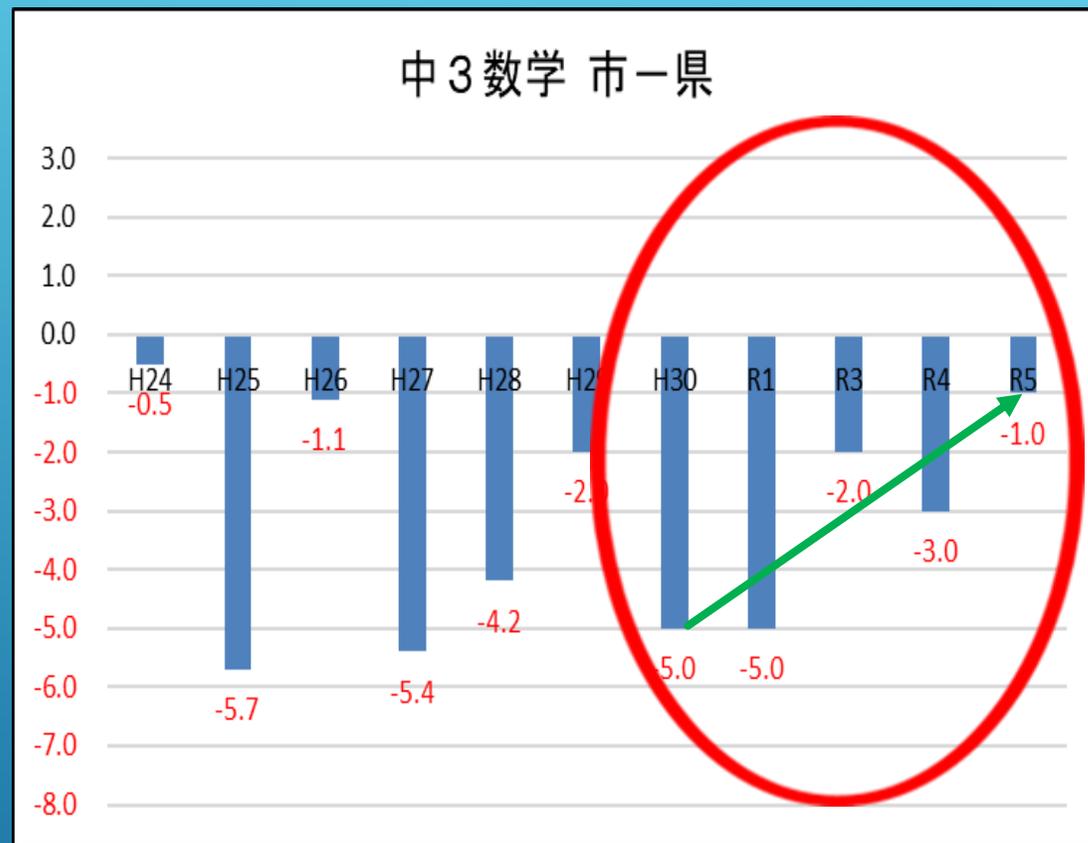
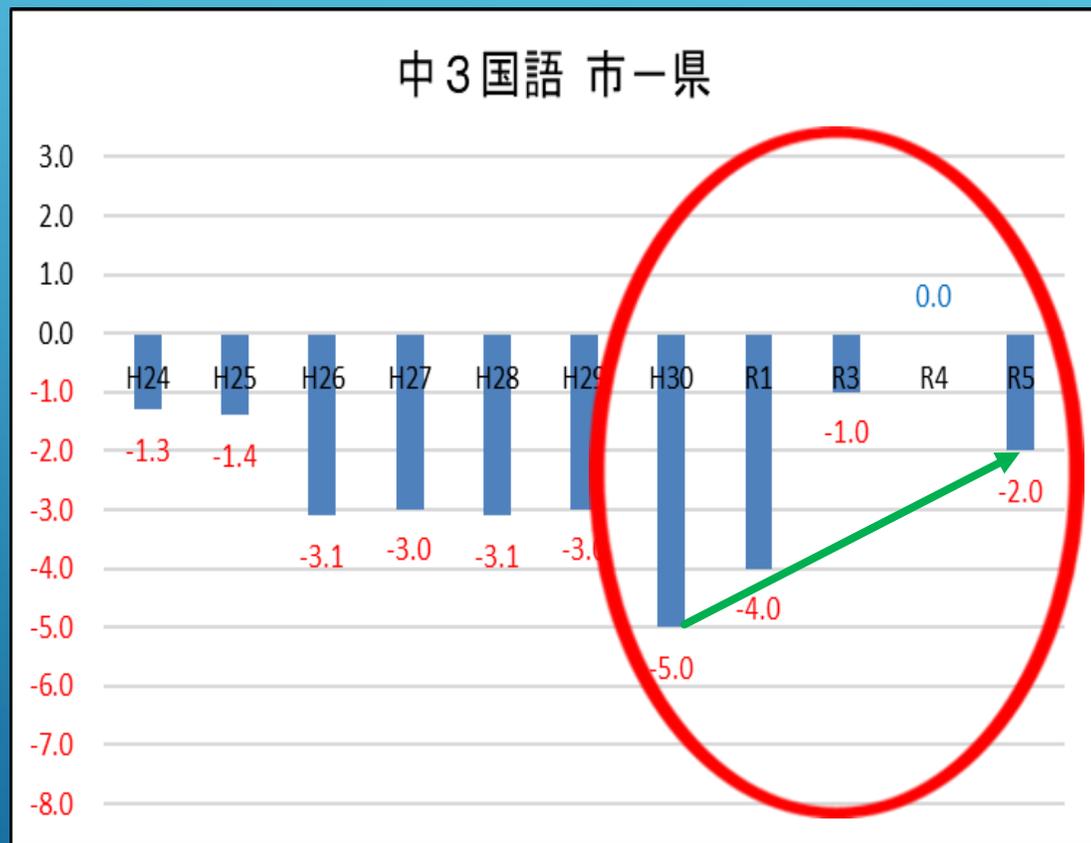
## (1) 小学校



国語、算数ともに令和4年度は県との差が拡大しているが、その年度を除けば、改善傾向は認められる

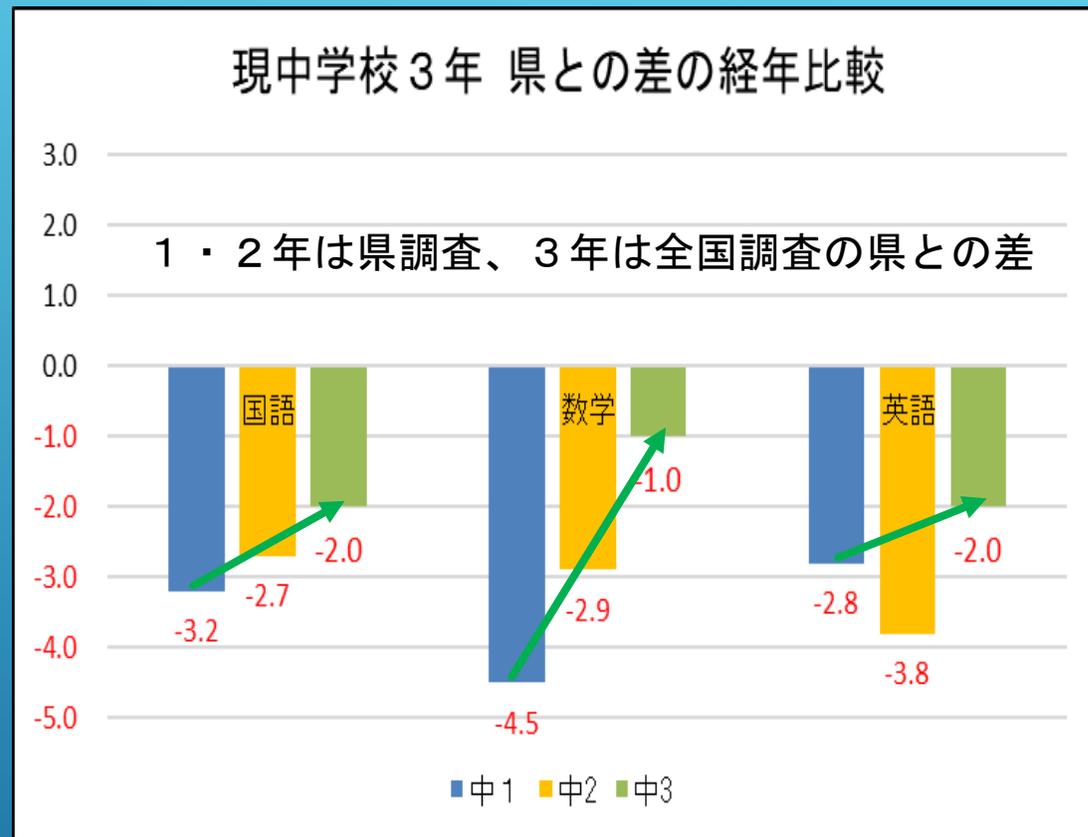
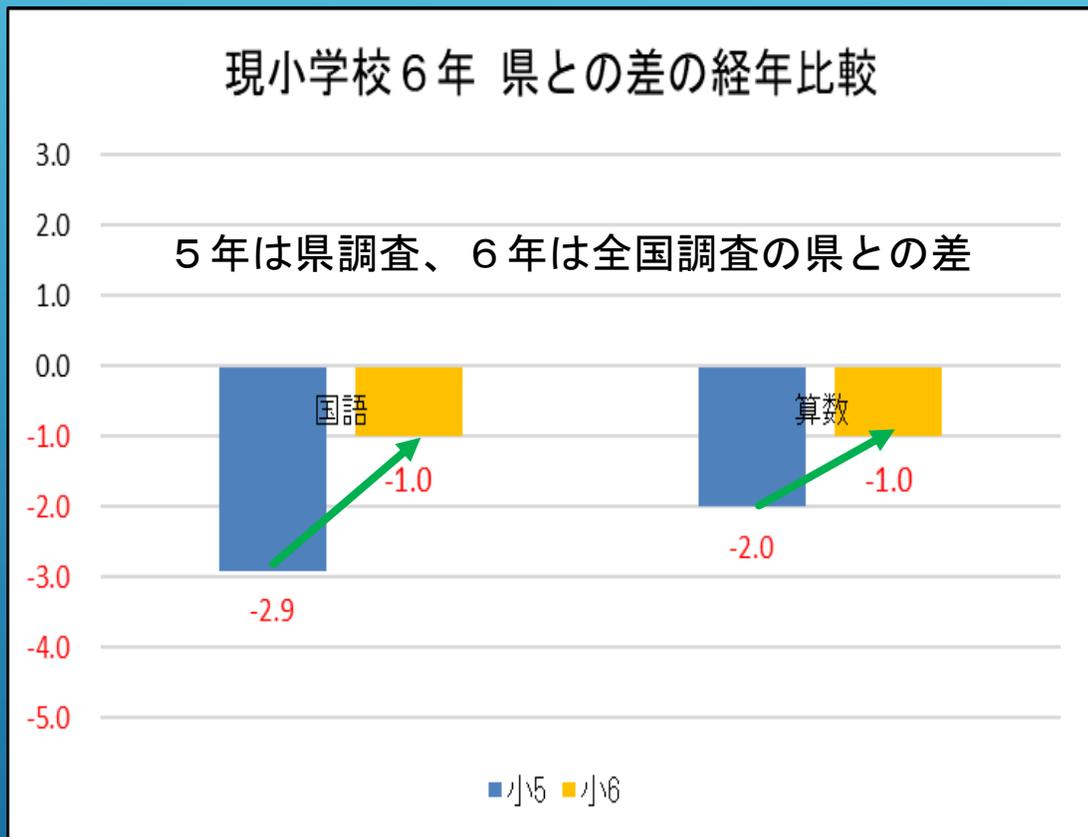
# 平均正答率 県との差の推移

## (2) 中学校



国語、数学ともにH30年度から**改善傾向**  
英語も前回調査より改善 (-4.0⇒-2.0)

# 該当学年の 県との差の経年比較



小5⇒小6、中1⇒中3と県との差は縮小している  
授業改善の取組成果は表れている

# 平均正答率 問題形式別の県との差

※〈 〉内の数値は、前回調査における数値を表す

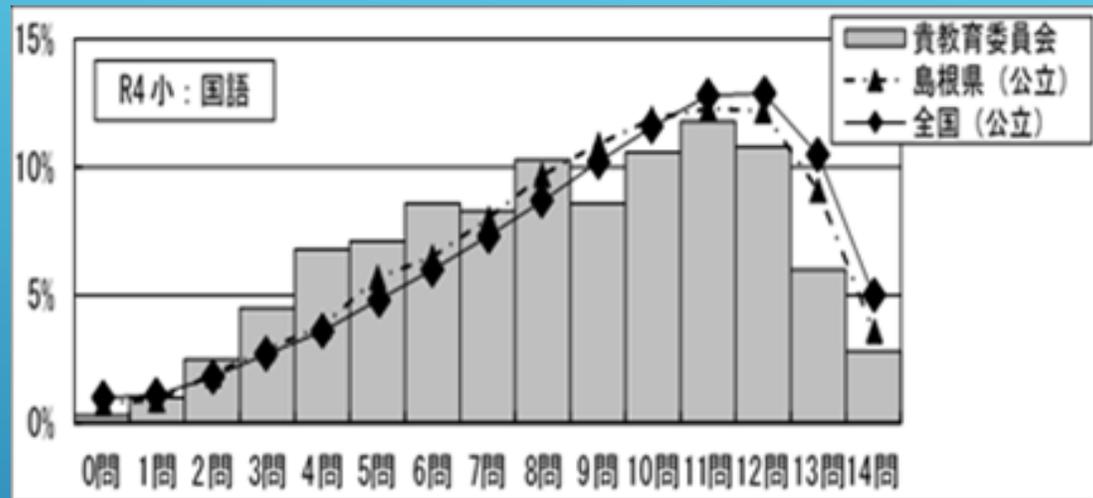
	小学校6年		中学校3年		
	国語	算数	国語	数学	英語
選択式	-1.0 〈-4.6〉	-0.7 〈-4.7〉	-0.8 〈-0.4〉	-2.6 〈-2.2〉	-1.2 〈-1.3〉
短答式	-4.7 〈-5.8〉	-0.8 〈-3.3〉	-1.9 〈+0.3〉	+1.5 〈-3.2〉	-3.2 〈-3.3〉
記述式	-1.3 〈-2.4〉	-1.3 〈-3.8〉	-3.4 〈-0.2〉	-3.7 〈-2.3〉	-2.0 〈±0〉

【小学校】 全ての問題形式で県との差は縮小。課題であった「記述式」は改善傾向。ただし、国語の「短答式」は課題あり。

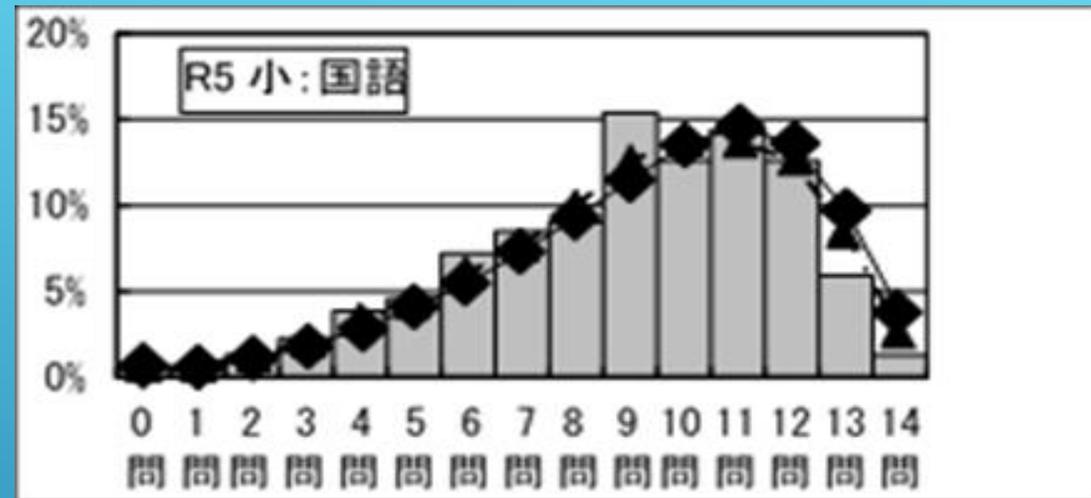
【中学校】 特に「記述式」課題あり。

# 小学校 正答率分布

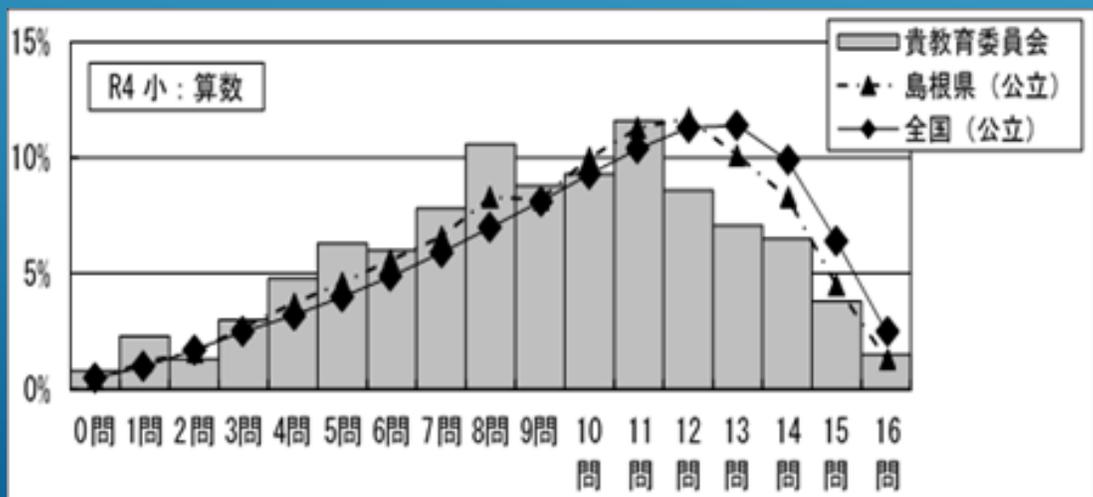
小学校令和4年度 国語



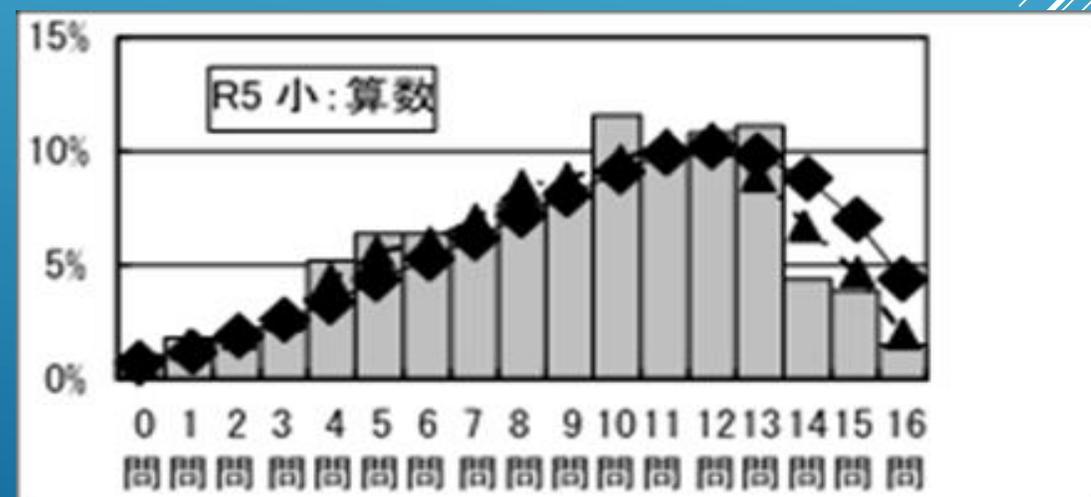
小学校令和5年度 国語



小学校令和4年度 算数



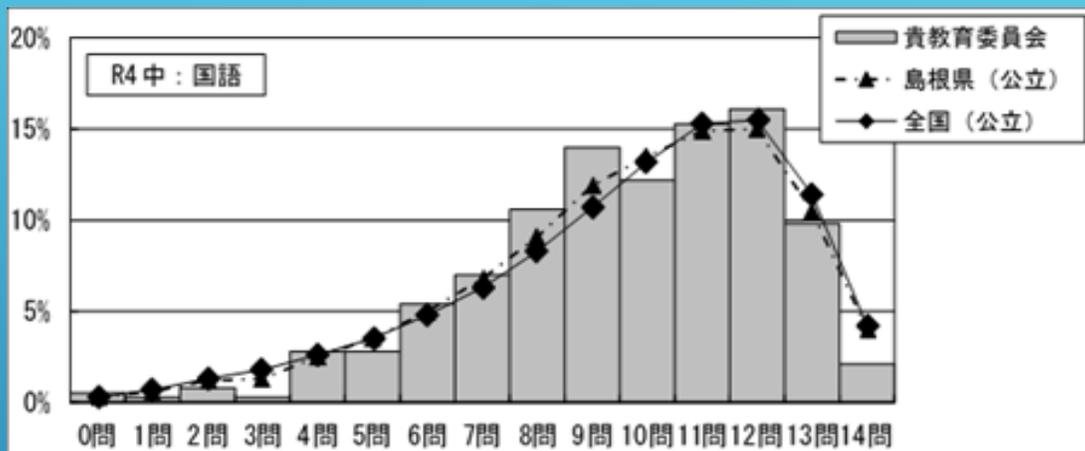
小学校令和5年度 算数



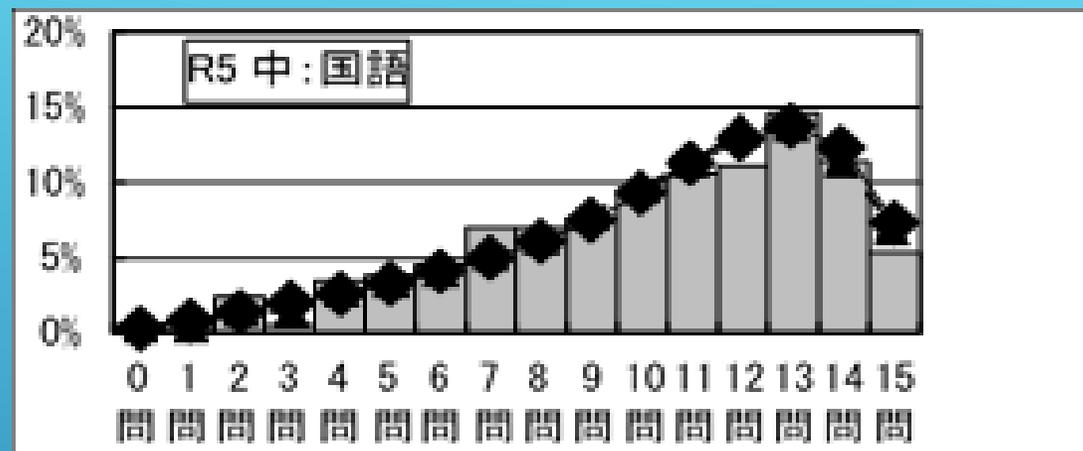
高正答率層が少ないのは依然課題。しかし、国語、算数ともに全国や県の分布に近づきつつある。

# 中学校 正答率分布①

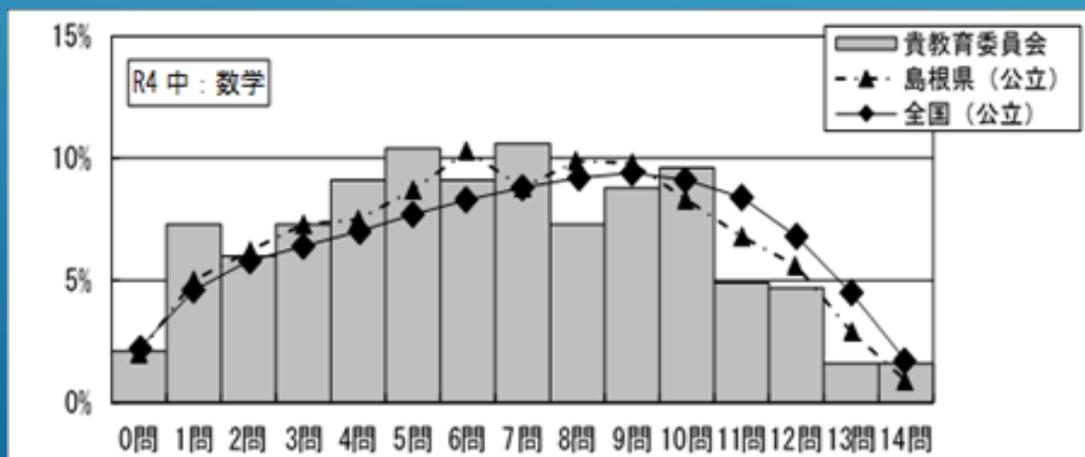
中学校令和4年度 国語



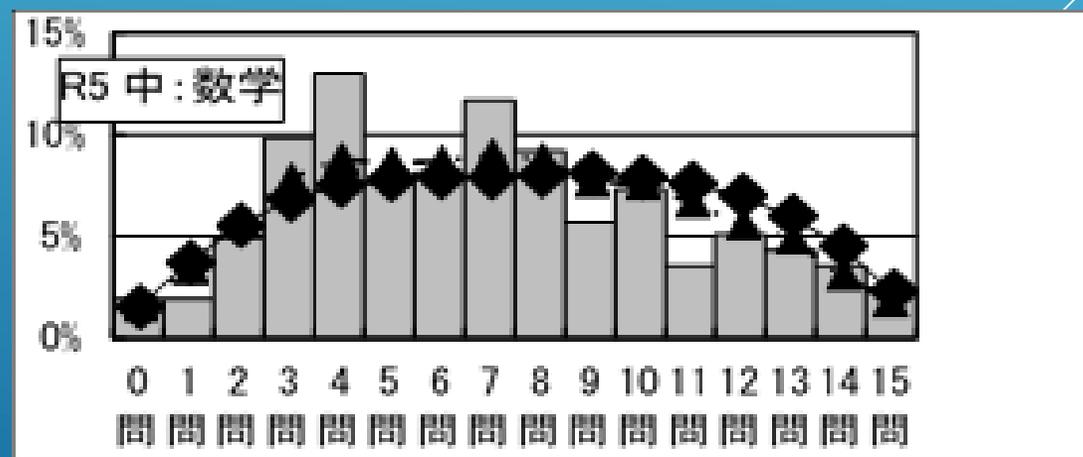
中学校令和5年度 国語



中学校令和4年度 数学



中学校令和5年度 数学



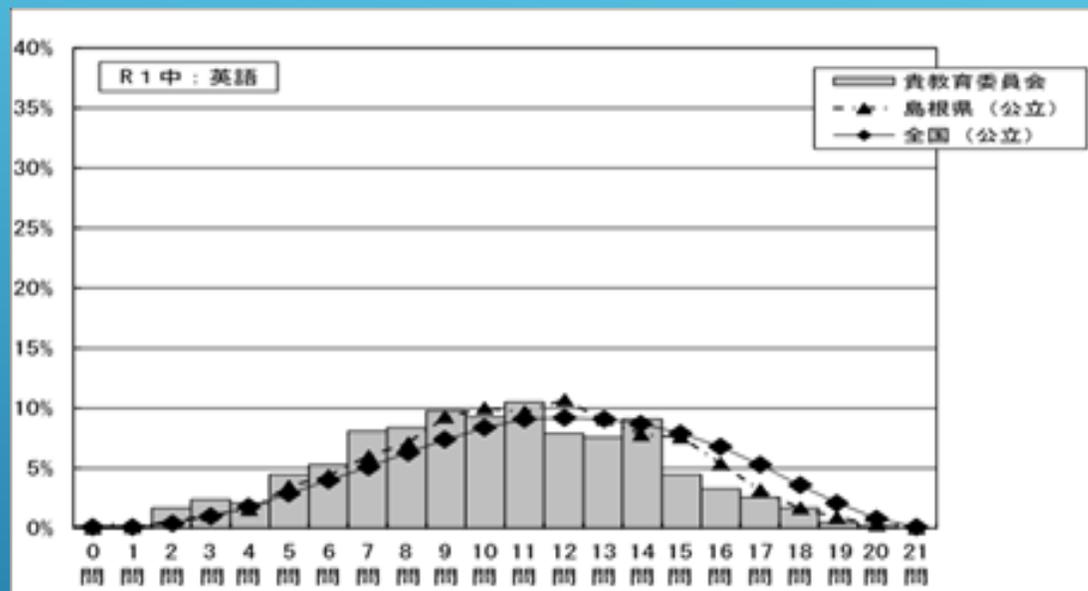
高正答率層が少ないのは依然課題。

【国語】は全国や県の分布に近づきつつある。

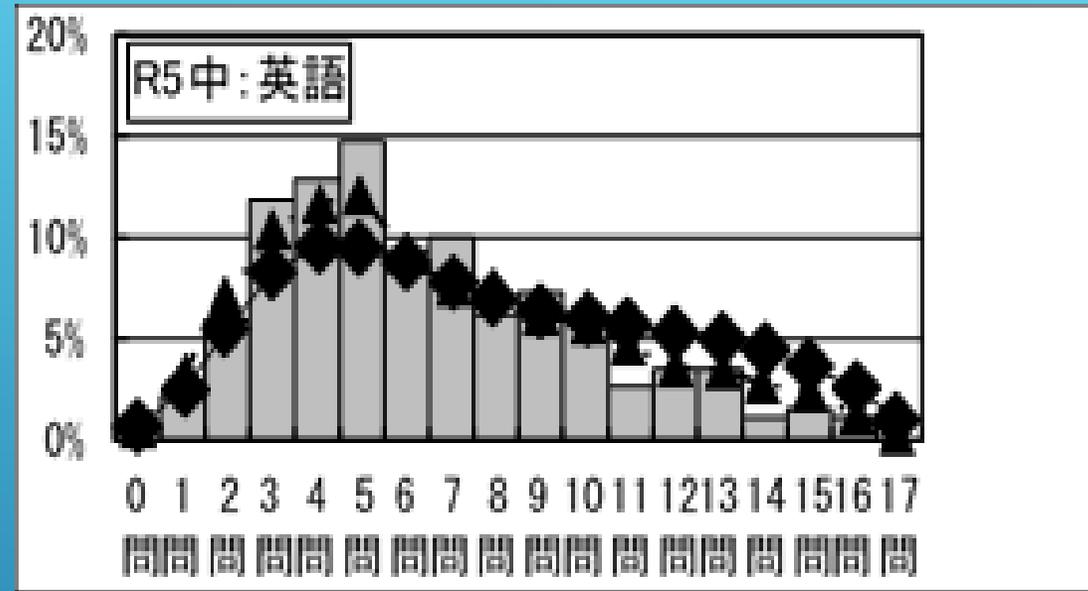
【数学】は特に低正答率者を中正答率層へ、そして、中正答率者を高正答率層へ移行させることが必要。

# 中学校 正答率分布③

中学校令和1年度 英語



中学校令和5年度 英語

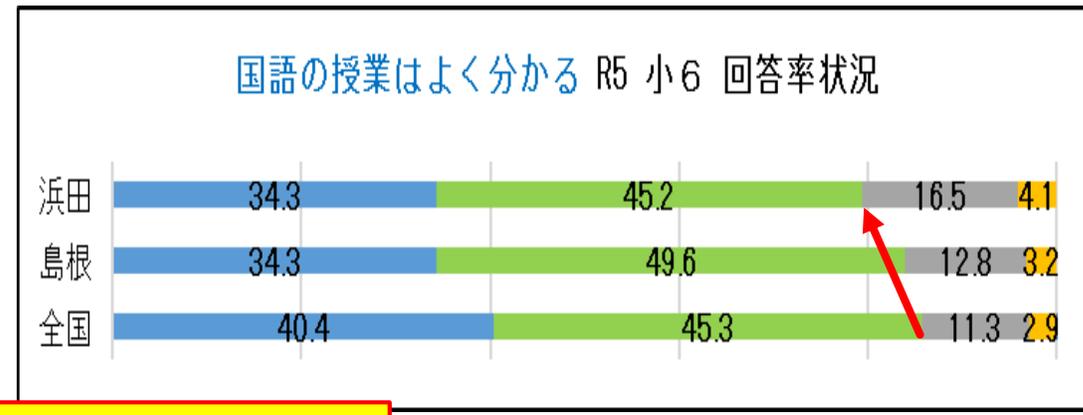
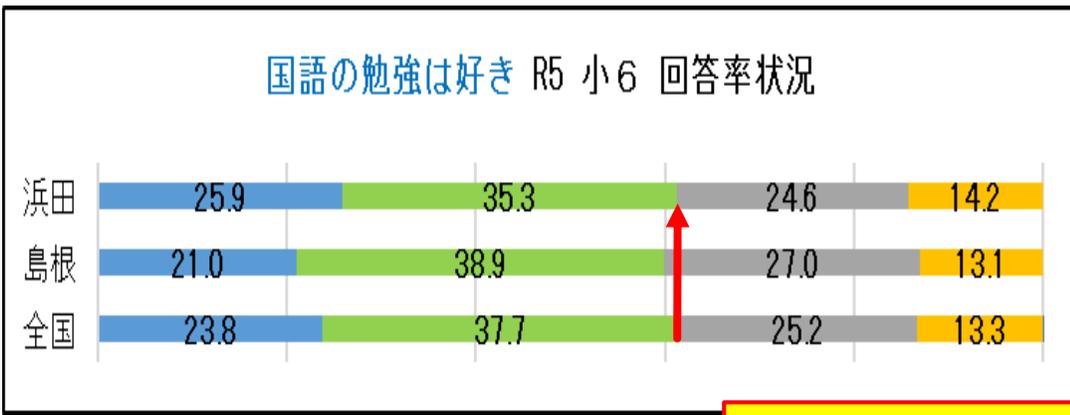


【英語】は高正答率層が少ないのは依然課題。令和1年度と比較して、低正答率層が増加している。国語、数学よりも、さらに低正答率者を中正答率層へ移行させていく取組が必要。

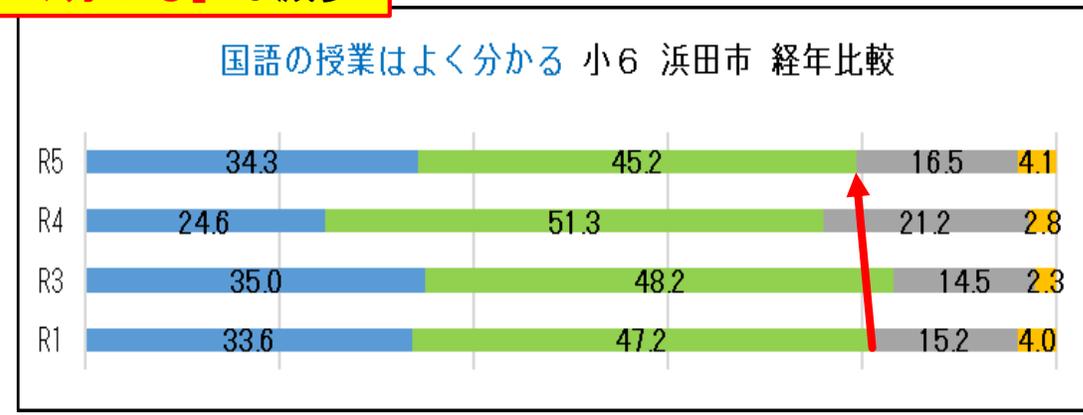
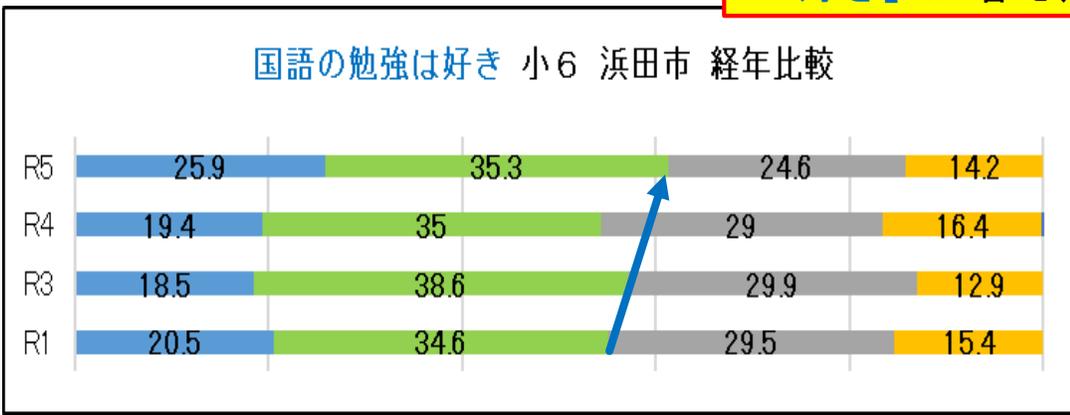
各学校の正答率分布の状況を踏まえ、対応を考えていく必要がある。  
習熟度別授業を実施している学校もある。  
その教科が「好き」「分かる」な児童生徒を増やすためにも検討が必要。  
※次のスライド以降の「好き」「分かる」の肯定率参照

# 国語意識調査 浜田市の状況【小学校】

## 【児童生徒質問紙】 小学校 「国語の勉強は好き」「国語の授業はよく分かる」の肯定率

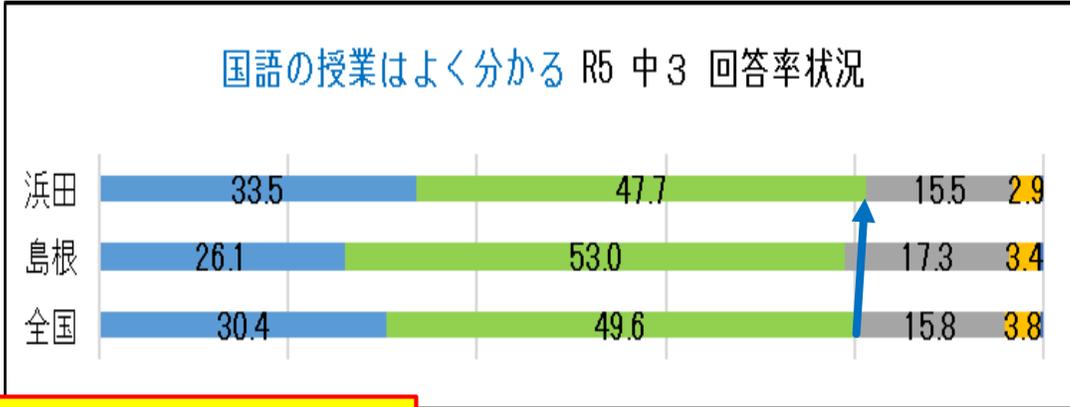
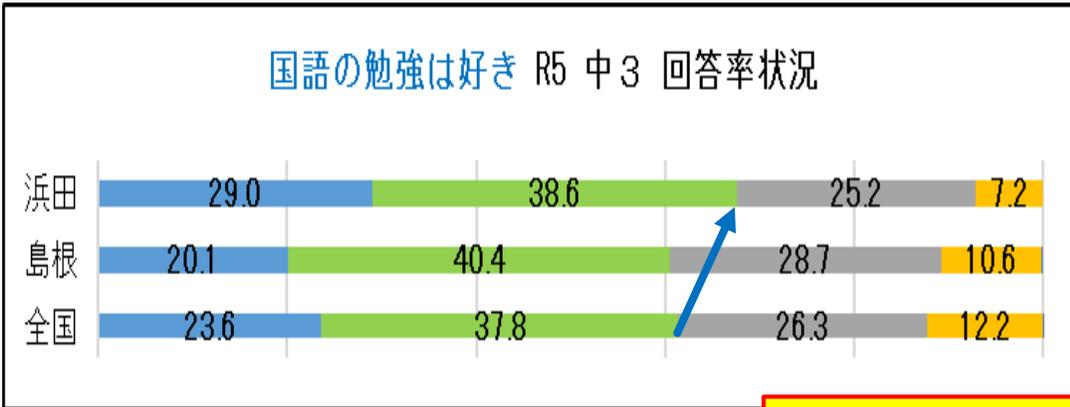


「好き」が増え、「よく分かる」は減少

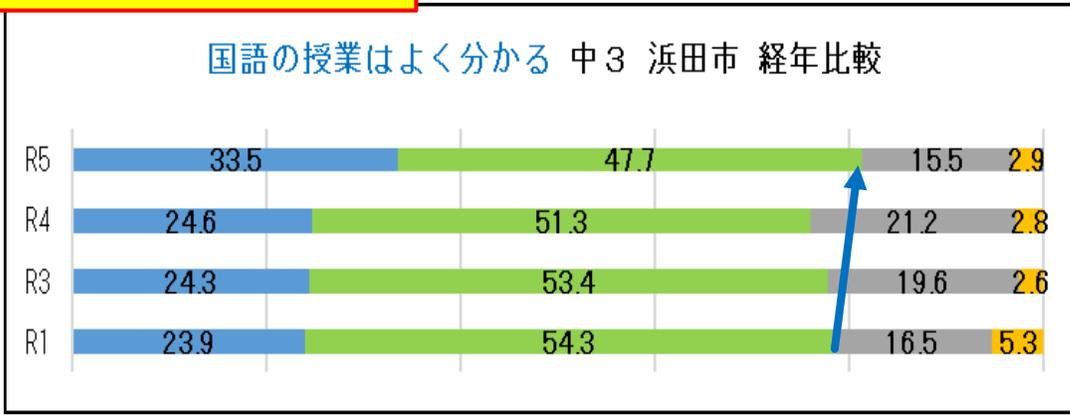
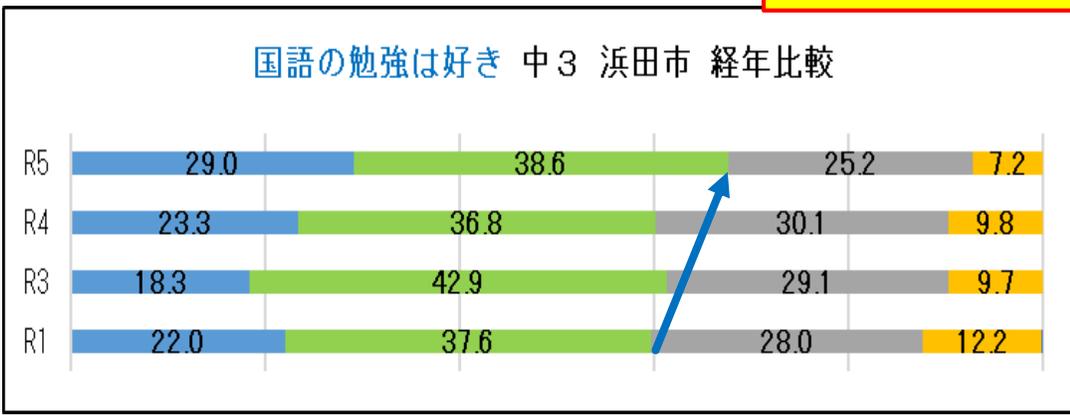


# 国語意識調査 浜田市の状況【中学校】

## 【児童生徒質問紙】 中学校 「国語の勉強は好き」「国語の授業はよく分かる」の肯定率

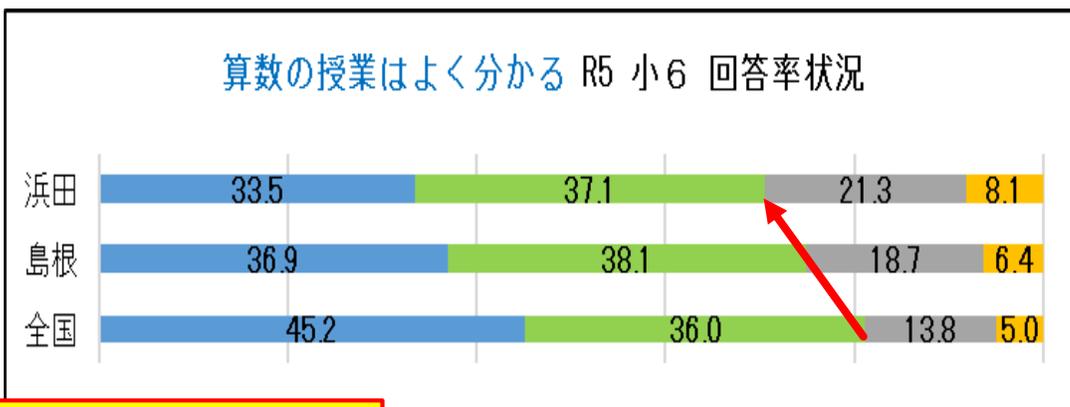
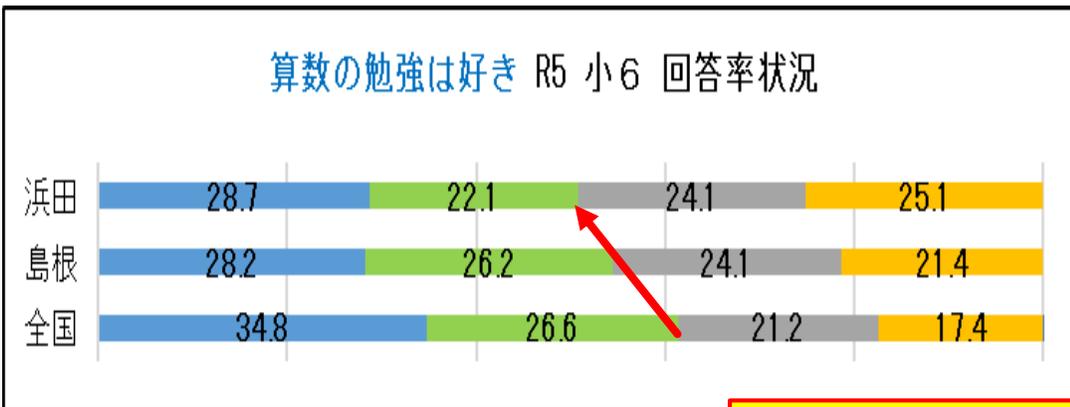


「好き」「よく分かる」とも増加

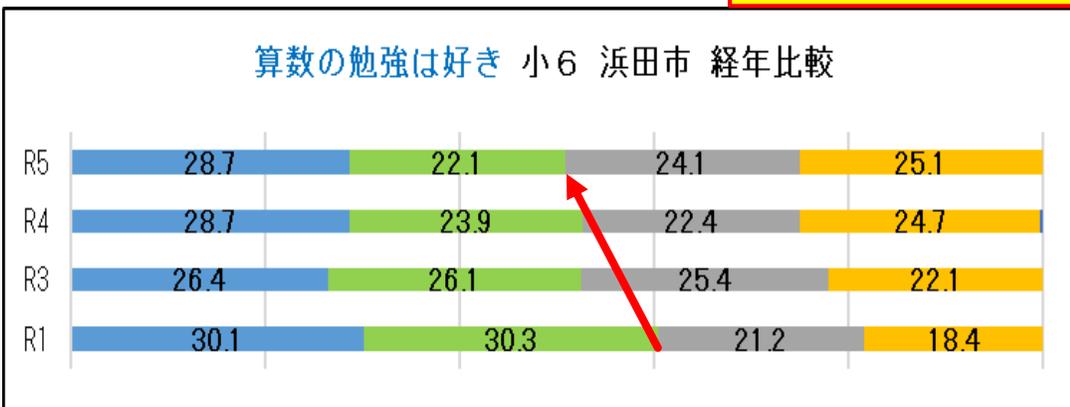


# 算数意識調査 浜田市の状況【小学校】

【児童生徒質問紙】  
 小学校 「算数の勉強は好き」「算数の授業はよく分かる」の肯定率

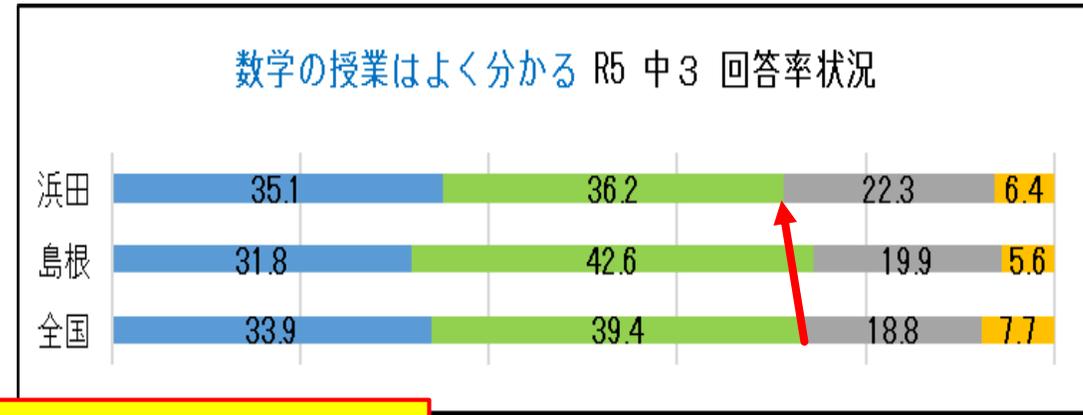
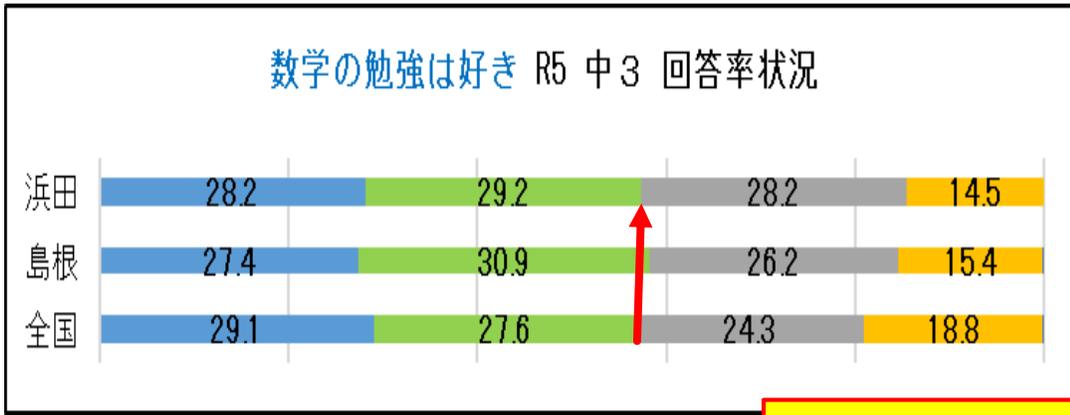


「好き」「よく分かる」ともに減少

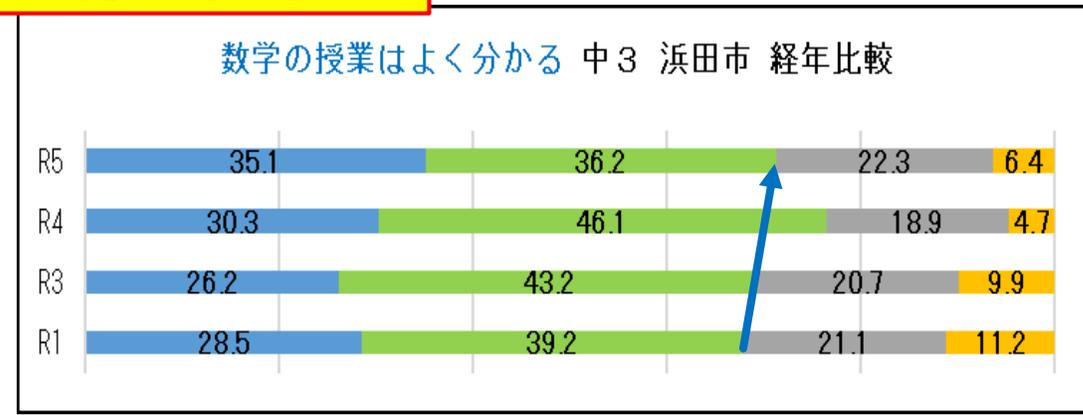
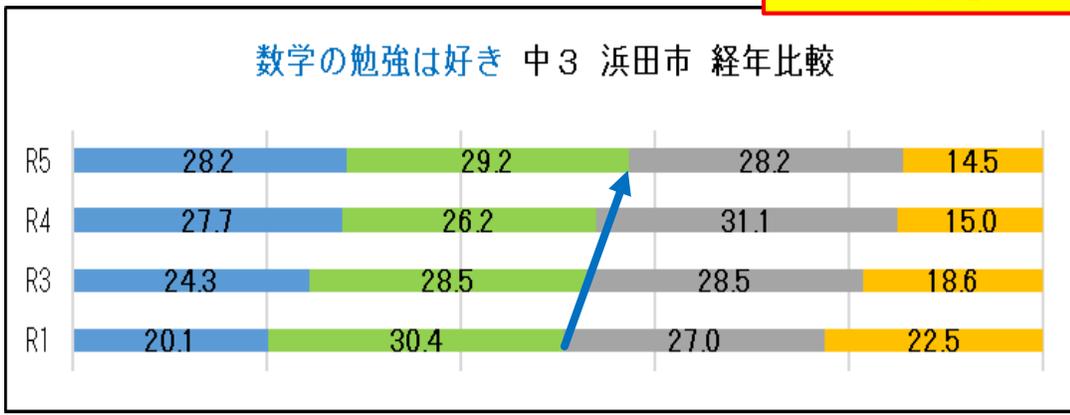


# 数学意識調査 浜田市の状況【中学校】

【児童生徒質問紙】  
 中学校 「数学の勉強は好き」「数学の授業はよく分かる」の肯定率

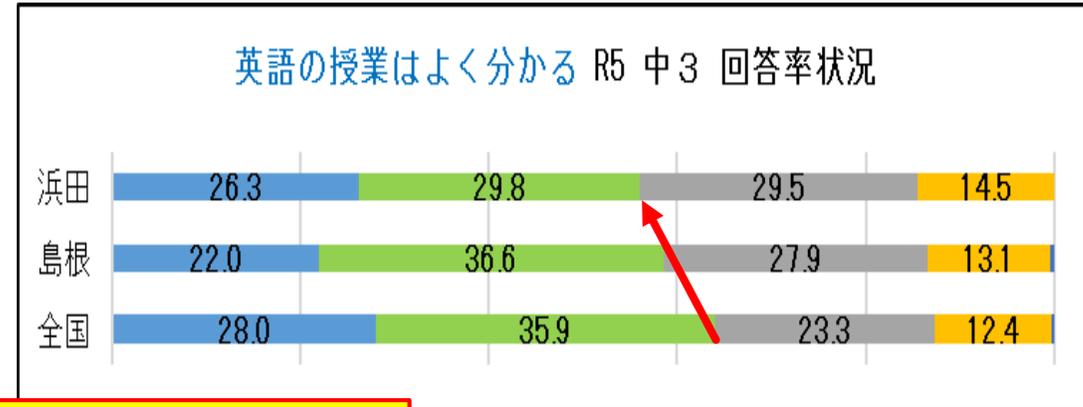


「好き」「よく分かる」ともに増加

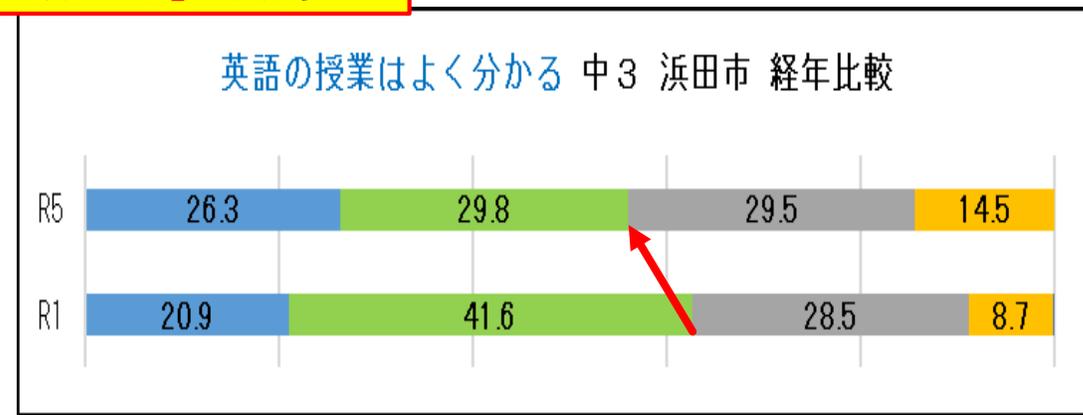


# 数学意識調査 浜田市の状況【中学校】

## 【児童生徒質問紙】 中学校 「英語の勉強は好き」「英語の授業はよく分かる」の肯定率



「好き」は増え「よく分かる」は減少



# 正答率上位3設問（小学校国語）

※（ ）内の数値は県平均正答率との差、問題形式欄の〈 〉内の数値は全国平均正答率との差を表す  
 ※青字での記載は、(1)と同様な問題が(2)にも記載されていることを表す

## (1) 県平均正答率との比較

問題番号	正答率	問題形式	出題の趣旨	評価の観点
2ー	90.0% (+2.4)	選択式 〈±0〉	目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる【読む】	思考・判断・表現
1 三(2)イ	92.8% (+1.9)	選択式 〈-0.3〉	送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができる【言葉】	知識・技能
3ー(1)	71.7% (+0.9)	記述式 〈-1.9〉	必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えることができる【話す・聞く】	思考・判断・表現

## (2) 浜田市正答率上位3設問

問題番号	正答率	問題形式	出題の趣旨	評価の観点
1 三(2)イ	92.8% (+1.9)	選択式 〈-0.3〉	送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができる【言葉】	知識・技能
2ー	90.0% (+2.4)	選択式 〈±0〉	目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる【読む】	思考・判断・表現
1 三(1)ウ	74.3% (-0.5)	短答式 〈+1.7〉	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる【言葉】	知識・技能

「思考力、判断力、表現力」が育成されてきたことにより、話や文章の中心となる語や文を捉えることができる。 「知識・技能」としての漢字の習得も強み。 **しかしながら・・・**

# 正答率下位3設問（小学校国語）

※（ ）内の数値は県平均正答率との差、問題形式欄の〈 〉内の数値は全国平均正答率との差を表す  
 ※青字での記載は、(1)と同様な問題が(2)にも記載されていることを表す

## (1) 県平均正答率との比較

問題番号	正答率	問題形式	出題の趣旨	評価の観点
1 三(1)ア	42.7% (-8.9)	短答式 〈-10.1〉	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる【言葉】	知識・技能
2 二	55.3% (-5.9)	選択式 〈-12.1〉	目的に応じて文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができる【読む】	思考・判断・表現
3 三	55.3% (-4.6)	選択式 〈-2.3〉	日常よく使われる敬語を理解している【言葉】	知識・技能

## (2) 浜田市正答率下位3設問

問題番号	正答率	問題形式	出題の趣旨	評価の観点
1 二	22.9% (+0.3)	記述式 〈-3.8〉	図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる【書く】	思考・判断・表現
1 三(1)ア	42.7% (-8.9)	短答式 〈-10.1〉	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる【言葉】	知識・技能
2 四	54.8% (-0.6)	記述式 〈-1.4〉	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる【読む】	思考・判断・表現

漢字を文脈の中で使うこと、敬語の理解について課題。複数の情報を整理して自分の考えをまとめたり書き表し方を工夫したりすることも課題。このことは記述式に課題があることにつながっている。

# 正答率上位3設問（中学校国語）

※（ ）内の数値は県平均正答率との差、問題形式欄の〈 〉内の数値は全国平均正答率との差を表す  
 ※青字での記載は、(1)と同様な問題が(2)にも記載されていることを表す

## (1) 県平均正答率との比較

問題番号	正答率	問題形式	出題の趣旨	評価の観点
3二	54.2 (+4.7)	短答式 〈+10.3〉	文脈に即して漢字を正しく書くことができる【言葉】	知識・技能
2二	64.2 (+2.1)	選択式 〈+1.2〉	観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考えることができる【読む】	思考・判断・表現
1四	83.7 (+1.1)	記述式 〈+1.2〉	聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることができる【聞く・話す】	思考・判断・表現

## (2) 浜田市正答率上位3設問

問題番号	正答率	問題形式	出題の趣旨	評価の観点
2一	90.8 (+0.1)	選択式 〈-0.3〉	事象や行為、心情を表す語句について理解している【言葉】	知識・技能
1一	85.9 (+0.2)	選択式 〈-1.6〉	目的や場面に応じて質問をする内容を検討することができる【話す・聞く】	思考・判断・表現
1四	83.7 (+1.1)	記述式 〈+1.2〉	聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることができる【話す・聞く】	思考・判断・表現

「知識・技能」としての漢字の習得は強み。目的をもって自分の考えをまとめること（「思考、判断、表現」「記述」）はできている。表現の効果について考えることもできている。

# 正答率下位3設問（中学校国語）

※（ ）内の数値は県平均正答率との差、問題形式欄の〈 〉内の数値は全国平均正答率との差を表す  
 ※青字での記載は、(1)と同様な問題が(2)にも記載されていることを表す

## (1) 県平均正答率との比較

問題番号	正答率	問題形式	出題の趣旨	評価の観点
4一	77.0 (-7.9)	短答式 〈-5.5〉	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができる【言語文化】※古典	知識・技能
2四	61.5 (-6.1)	記述式 〈-5.9〉	文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる【言語文化】【読む】	知識・技能 思考・判断・表現
2三	68.3 (-6.1)	選択式 〈-5.9〉	文章の中心的な部分と付加的な部分について記述を基に捉え、要旨を把握することができる【読むこと】	思考・判断・表現

## (2) 浜田市正答率下位3設問

問題番号	正答率	問題形式	出題の趣旨	評価の観点
4三	43.9 (-4.2)	記述式 (-6.1)	文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる【読む】※古典	思考・判断・表現
3一	46.9 (-3.8)	選択式 〈-7.4〉	読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができる【書く】	思考・判断・表現
3二	54.2 (+4.7)	短答式 〈+10.3〉	文脈に即して漢字を正しく書くことができる【言葉】 ※県平均正答率との比較では最も上回った問題（おし量って）	知識・技能

「読むこと」「書くこと」に関わる、文章を読んで理解したことに知識や経験を結び付けて考えたり表現の効果を考え、自分の考えを書くことに課題。古典も課題。

## 【国語】 今後の指導のポイント

### 今後の方向性として

#### 【小学校】

- 普段の生活の中で漢字や敬語を使うようにするとともに、習得のための手立てを考える。
- 読解力の育成を目指した指定校及び図書館活用教育の指定校の取組を参考に  
する。市教委も随時情報提供をしていく。

#### 【中学校】

- 文章を読んで理解したことに知識や経験を結び付けて考えたり、表現の効果を考えたりする場を授業の中に意識的に取り入れて、自己の考えを書く活動を重視する。
- 学校図書館活用教育、調べる学習等の取組を継続するとともに、古典に親しませる工夫をしていく。

# 正答率上位3設問（小学校算数）

※（ ）内の数値は県平均正答率との差、問題形式欄の〈 〉内の数値は全国平均正答率との差を表す  
 ※青字での記載は、(1)と同様な問題が(2)にも記載されていることを表す

## (1) 県平均正答率との比較

問題番号	正答率	問題形式	出題の趣旨	評価の観点
3(4)	46.4 (+3.1)	選択式 〈-1.2〉	(2位数) ÷ (1位数) の筆算について、図を基に各段階の商の意味を考察することができる【数と計算】	思考・判断・表現
2(1)	58.0 (+1.6)	選択式 〈-1.8〉	台形の意味や性質について理解している【図形】	知識・技能
3(3)	67.3 (+0.8)	短答式 〈-5.1〉	加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることができる【数と計算】	知識・技能

## (2) 浜田市正答率上位3設問

問題番号	正答率	問題形式	出題の趣旨	評価の観点
1(1)	88.9 (-2.8)	短答式 〈-4.6〉	伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができる【変化と関係】	知識・技能
1(2)	85.6 (+0.2)	短答式 〈-2.9〉	伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることができる【変化】	思考・判断・表現
2(2)	85.1 (+0.1)	短答式 〈-2.1〉	正方形の意味や性質について理解している【図形】	知識・技能

基礎的・基本的な知識・技能は身に付いている。特に、計算技能や図形の意味や性質、比例については強み。  
 しかしながら・・・

# 正答率下位3設問（小学校算数）

※（ ）内の数値は県平均正答率との差、問題形式欄の〈 〉内の数値は全国平均正答率との差を表す  
 ※青字での記載は、(1)と同様な問題が(2)にも記載されていることを表す

## (1) 県平均正答率との比較

問題番号	正答率	問題形式	出題の趣旨	評価の観点
4(1)	37.4 (-3.2)	選択式 〈-8.6〉	百分率で表された割合について理解している【変化と関係】	知識・技能
1(3)	45.6 (-3.1)	記述式 〈-9.9〉	伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述できる【変化】	思考・判断・表現
3(1)	63.9 (-2.9)	選択式 〈-6.4〉	( )を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができる【数と計算】	思考・判断・表現

## (2) 浜田市正答率下位3設問

問題番号	正答率	問題形式	出題の趣旨	評価の観点
2(4)	10.8 (-2.0)	記述式 〈-10.0〉	高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる【図形】	思考・判断・表現
2(3)	17.0 (-2.2)	短答式 〈-7.9〉	正三角形の意味や性質について理解している【図形】	知識・技能
4(1)	37.4 (-3.2)	選択式 〈-8.6〉	百分率で表された割合について理解している【変化と関係】	知識・技能

図形や比例においても基礎的・基本的な知識・技能を活用して考えることに課題。  
 つまり、問われていることに対し、必要な情報を見いだして考えたり、その理由を記述したりすることに課題。

# 正答率上位3設問（中学校数学）

※（ ）内の数値は県平均正答率との差、問題形式欄の〈 〉内の数値は全国平均正答率との差を表す  
 ※青字での記載は、(1)と同様な問題が(2)にも記載されていることを表す

## (1) 県平均正答率との比較

問題番号	正答率	問題形式	出題の趣旨	評価の観点
5	53.1 (+8.8)	短答式 〈+7.0〉	累積度数の意味を理解している【データの活用】	知識・技能
7(1)	63.8 (+3.2)	短答式 〈+2.6〉	四分位範囲の意味を理解している【データの活用】	知識・技能
6(1)	90.2 (+1.3)	短答式 〈+1.3〉	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる【数と式】	知識・技能

## (2) 浜田市正答率上位3設問

問題番号	正答率	問題形式	出題の趣旨	評価の観点
6(1)	90.2 (+1.3)	短答式 〈+1.3〉	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる【数と式】	知識・技能
2	78.3 (-0.8)	短答式 〈-2.2〉	数と整式の計算ができる【数と式】	知識・技能
7(1)	63.8 (+3.2)	短答式 〈+2.6〉	四分位範囲の意味を理解している【データの活用】	知識・技能

基礎的・基本的な知識・技能は身に付いている。領域別では「データ活用」は県及び全国平均正答率を上回っている。

# 正答率下位3設問（中学校数学）

※（ ）内の数値は県平均正答率との差、問題形式欄の〈 〉内の数値は全国平均正答率との差を表す  
 ※青字での記載は、(1)と同様な問題が(2)にも記載されていることを表す

## (1) 県平均正答率との比較

問題番号	正答率	問題形式	出題の趣旨	評価の観点
8(3)	36.0 (-6.0)	記述式 〈-6.8〉	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる【関数】	思考・判断・表現
6(3)	33.3 (-3.8)	記述式 〈-7.6〉	結論が成り立つための前提を問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見いだし、説明することができる【数と式】	思考・判断・表現
8(2)	55.0 (-3.7)	選択式 〈-6.7〉	事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを事象に即して解釈することができる【関数】	知識・技能

## (2) 浜田市正答率下位3設問

問題番号	正答率	問題形式	出題の趣旨	評価の観点
3	23.8 (-2.6)	選択式 〈-6.6〉	空間における平面が同一直線状にない3点で決定されることを理解している【図形】	知識・技能
9(1)	26.3 (-2.0)	記述式 〈-5.8〉	ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができる【図形】	思考・判断・表現
9(2)	32.2 (-1.2)	短答式 〈-4.8〉	条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を証明を振り返って読み取ることができる【図形】	知識・技能

問題解決の方法や成り立つ事柄を見いだして数学的に説明することに課題。このことと関連して、依然「記述式」に課題。

# 【算数・数学】今後の指導のポイント

## 今後の方向性として（小中学校共通）

- ◎ 算数・数学の授業改善の重点としている「数学的活動」による授業づくり
  - 児童生徒の活動場面を保障する授業
  - 具体的な問題場面を数学的な表現で捉え直すことや、「図と式」「式とことば」を関連づけて表現する活動の重視
  - 指定校に対する算数アドバイザーの前田教授の指導を各学校で実践していく。特に、導入段階や適応題における「たくさんする」ことを実践する。

# 正答率上位3設問（中学校英語）

※（ ）内の数値は県平均正答率との差、問題形式欄の〈 〉内の数値は全国平均正答率との差を表す  
 ※青字での記載は、(1)と同様な問題が(2)にも記載されていることを表す

## (1) 県平均正答率との比較

問題番号	正答率	問題形式	出題の趣旨	評価の観点
1(1)	77.9 (+3.7)	選択式 〈-1.1〉	情報を正確に聞き取ることができる【聞く】	知識・技能
3	36.9 (+1.8)	選択式 〈-4.3〉	日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができる【聞く】	思考・判断・表現
7(1)	53.9 (+1.8)	選択式 〈-5.9〉	文と文の関係を正確に読み取ることができる【読む】	知識・技能

## (2) 浜田市正答率上位3設問

問題番号	正答率	問題形式	出題の趣旨	評価の観点
1(1)	77.9 (+3.7)	選択式 〈-1.1〉	情報を正確に聞き取ることができる【聞く】	知識・技能
1(2)	61.5 (-0.5)	選択式 〈-2.9〉	情報を正確に聞き取ることができる【聞く】	知識・技能
5(2)	58.2 (-1.8)	選択式 〈-6.3〉	「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができる【読む】	知識・技能

領域別では「聞くこと」「読むこと」の知識・技能に強み。日常的な話題について、短い情報を正確に聞き取ったり、事実と考えを区別して読んだりすることはできている。しかし、「読むこと」では・・・

# 正答率下位3設問（中学校英語）

※（ ）内の数値は県平均正答率との差、問題形式欄の〈 〉内の数値は全国平均正答率との差を表す  
 ※青字での記載は、(1)と同様な問題が(2)にも記載されていることを表す

## (1) 県平均正答率との比較

問題番号	正答率	問題形式	出題の趣旨	評価の観点
6	24.0 (-4.4)	選択式 〈-11.9〉	日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができる【読む】	思考・判断・表現
7(2)	27.5 (-3.8)	選択式 〈-7.2〉	日常的な話題について、短い文章の概要を捉えることができる【読む】	思考・判断・表現
9(1)①	27.8 (-3.6)	短答式 〈-12.6〉	未来表現 (be going to) の肯定文を正確に書くことができる【書く】	知識・技能

## (2) 浜田市正答率下位3設問

問題番号	正答率	問題形式	出題の趣旨	評価の観点
10	2.2 (-2.3)	記述式 〈-5.2〉	日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができる【書く】	思考・判断・表現
9(1)②	11.6 (-2.8)	短答式 〈-9.3〉	疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができる【書く】	知識・技能
8(2)	12.1 (-1.5)	記述式 〈-7.4〉	社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができる【書く】	思考・判断・表現

「読むこと」においては、状況を判断して必要な情報を読み取ったり、文章の概要を捉えたりすることに課題。  
 「書くこと」については、知識・技能も含めて課題。

## 【英語】今後の指導のポイント

### 今後の方向性として（中学校のみ）

- 目的、場面、状況を設定し、生徒が英語を使って気持ちや考えを「伝え合う」などの言語活動を充実させていく。
- 教科書を読む際は、1文ずつ理解するのではなく、初見のまとまった英文から必要な情報を取り出すために「目的をもって読む」などの活動を繰り返していく。
- 領域統合の活動を充実させていく。  
(例：聞いたり読んだりした内容について、感想や意見のやり取りをする。また、その内容についてまとまった英文を書く)

## 問題形式別の県との差

※ ( ) 内の数値は令和4年度の数値（英語については令和1年度）  
 ※ 令和4年度と比較して改善のあった数値は青字にしている

	小6国語	小6算数	中3国語	中3数学	中3英語
選択式	-1.0 (-4.6)	-0.7 (-4.7)	-0.8 (-0.4)	-2.6 (-2.2)	-1.2 (-1.3)
短答式	-4.7 (-5.8)	-0.8 (-3.3)	-1.9 (+0.3)	+1.5 (-3.2)	-3.2 (-3.3)
記述式	-1.3 (-2.4)	-1.3 (-3.8)	-3.4 (-0.2)	-3.7 (-2.3)	-2.0 (±0)

【小学校】 全ての問題形式で県との差は縮小している。課題であった記述式も改善傾向

【中学校】 記述式に課題

# 文部科学省報告書から

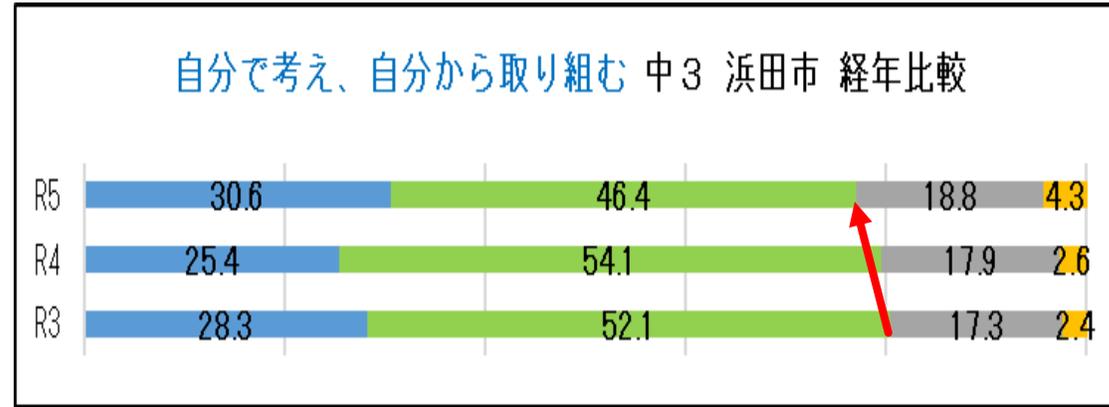
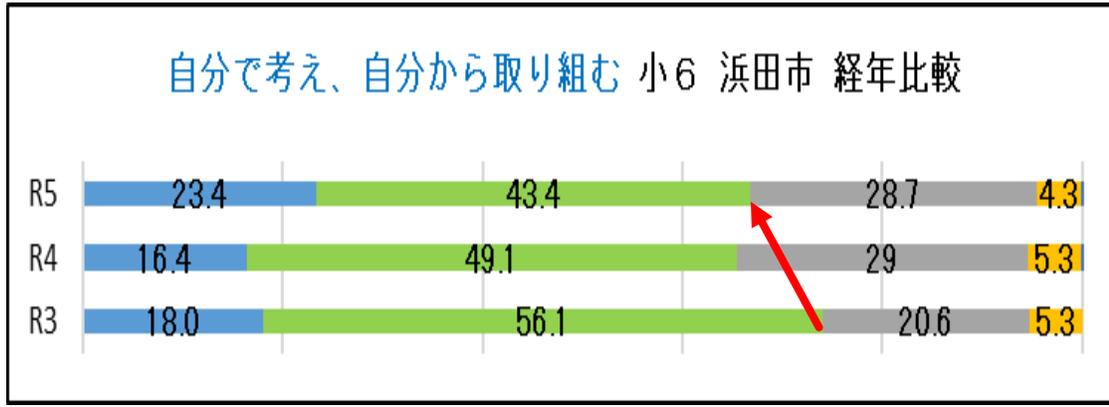
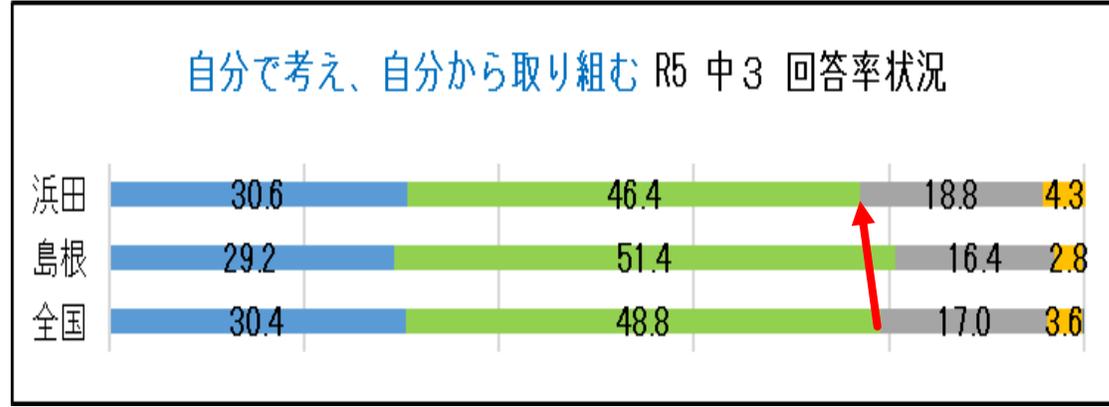
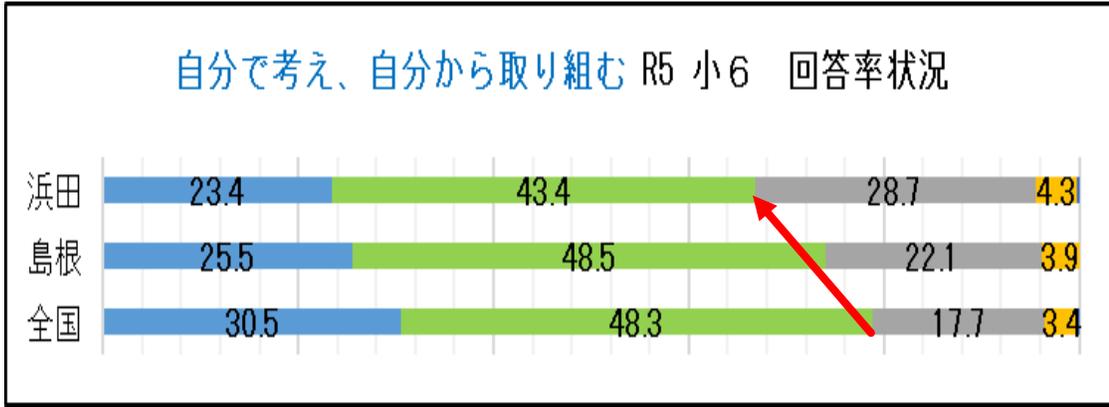
「学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の取組状況」として、文部科学省は以下のように分析結果ポイントを示している。

- 1 昨年度までと同様、各学校において、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の取組が実施されている。
- 2 昨年度までと同様、個別最適な学び（個に応じた指導）・協働的な学びに関する取組が実施されている。
- 3 授業の中で、主体的・対話的で深い学びに取り組んだ児童生徒は、家庭の社会的経済的状況（SES）が低い状況にあっても、各教科の正答率が高い傾向が見られる。  
※「家にある本の冊数」×「授業で工夫して発表していたか」×「各教科の平均正答率」による。

以下、1と2について文部科学省が分析に活用した児童生徒質問紙及び学校質問紙の項目にしたがって、浜田市の状況を示します。

# 1 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善①

【児童生徒質問紙】  
 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

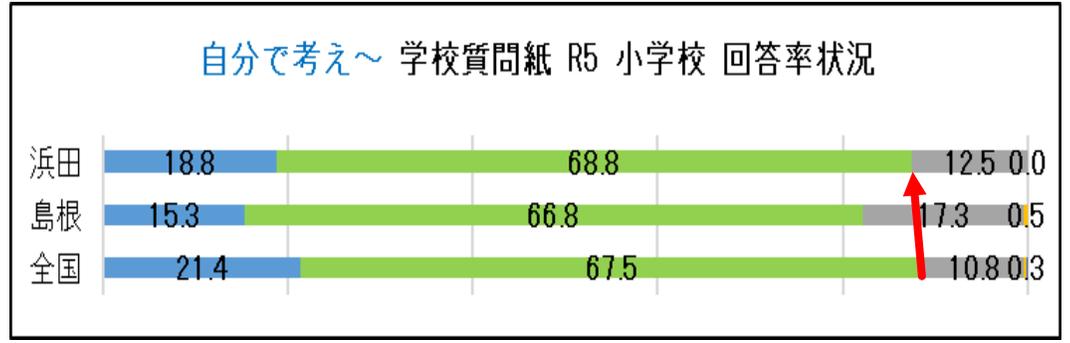


# 1 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善①

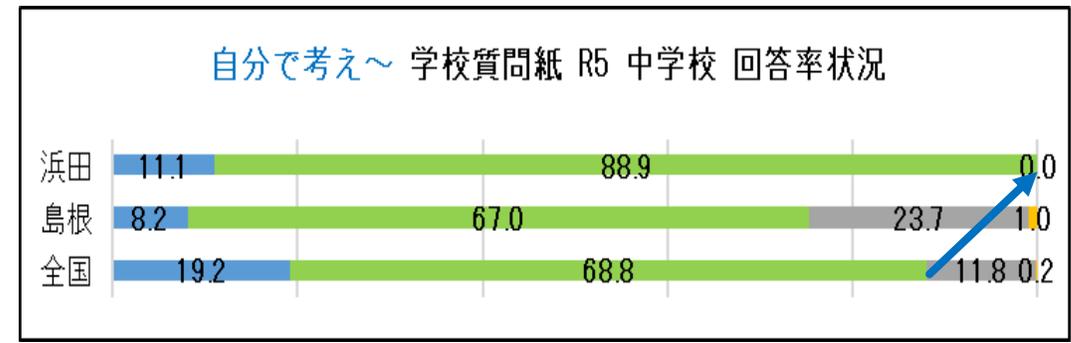
## 【学校質問紙】

授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

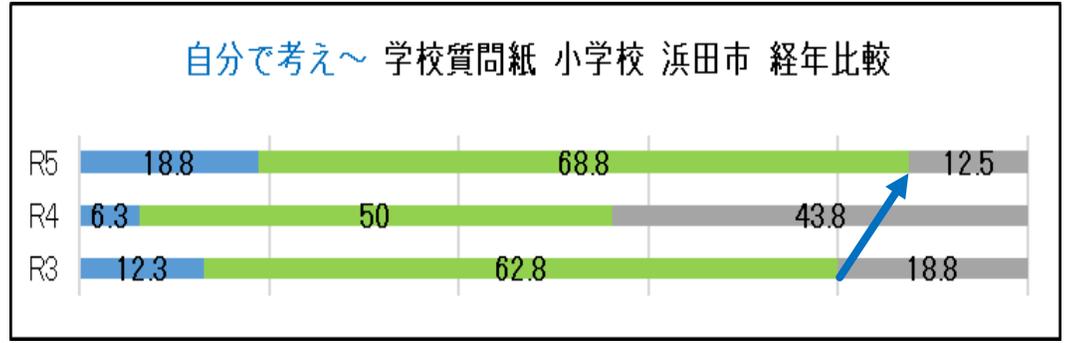
自分で考え～ 学校質問紙 R5 小学校 回答率状況



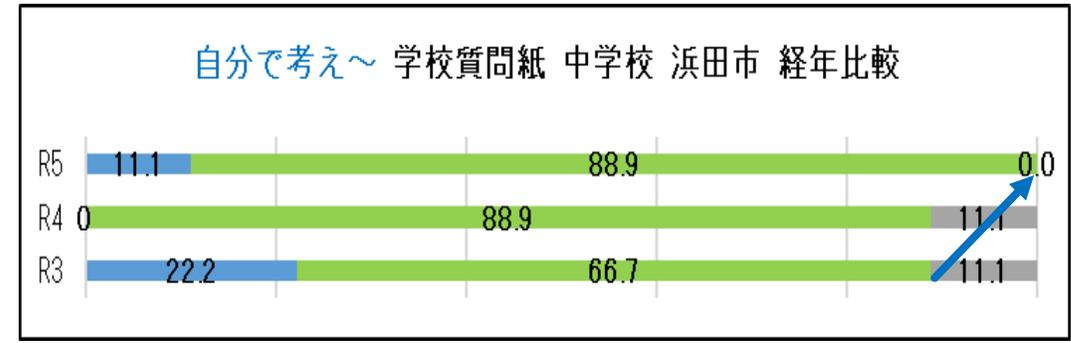
自分で考え～ 学校質問紙 R5 中学校 回答率状況



自分で考え～ 学校質問紙 小学校 浜田市 経年比較



自分で考え～ 学校質問紙 中学校 浜田市 経年比較



【小学校】では、児童質問紙、学校質問紙ともに全国・県を下回っている。昨年度は市の経年比較において、児童質問紙、学校質問紙共に下降傾向にあったが、本年度は改善傾向が認められる。

【中学校】では、生徒質問紙では全国・県を若干下回っており、市の経年比較においても下降傾向にある。

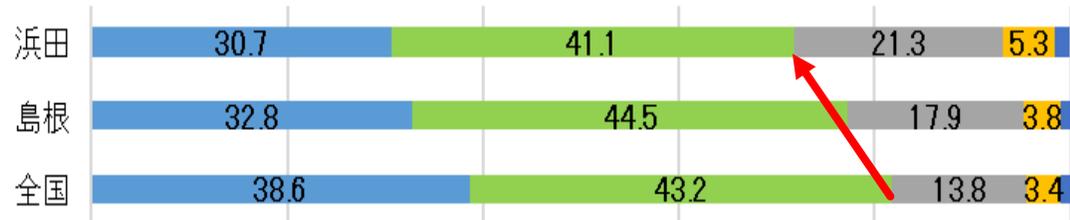
小中学校ともに、児童生徒意識調査の市の経年比較で「はい」とした割合は増加している。

児童生徒の意識と学校の意識にズレがある。「自分で考え、自分から取り組む」ことへの学校としての考え方を見直していく必要がある。

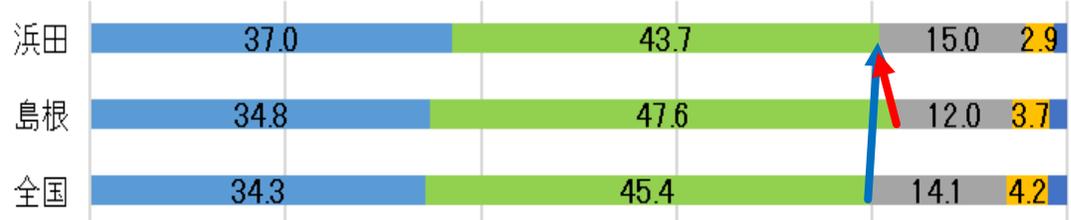
# 1 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善②

【児童生徒質問紙】今年度の文科省調査では分析なしですが、浜田市の重点であるため挙げています  
 学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、  
 自分の考えを深めたり広げたりすることができていますか

深め、広げる 小6 R5 小学校 回答率状況



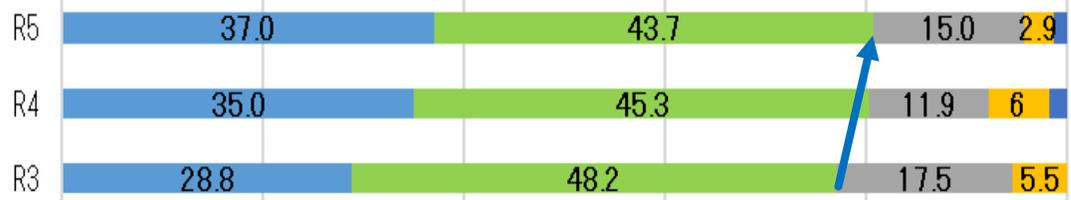
深め、広げる 中3 R5 中学校 回答率状況



深め、広げる 小6 浜田市 経年比較

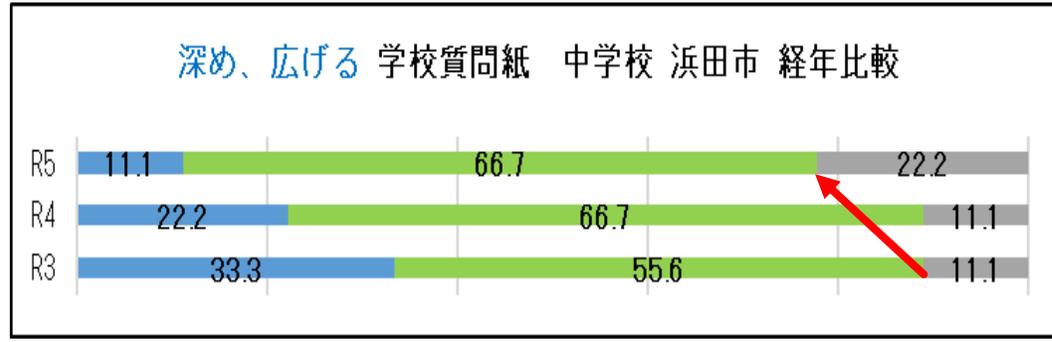
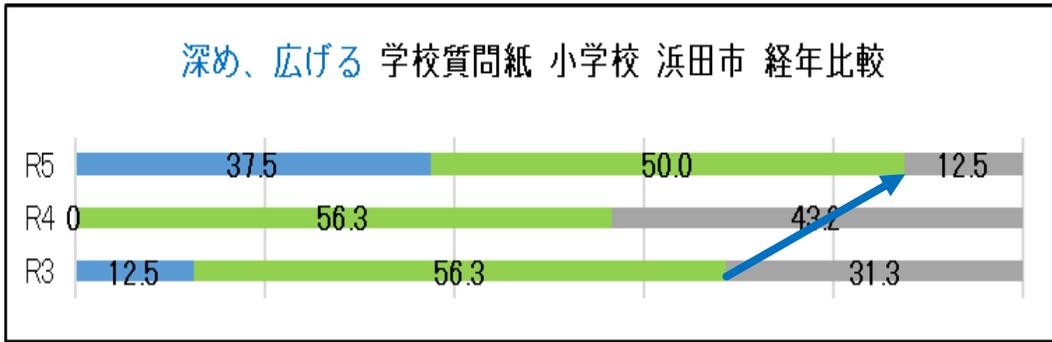
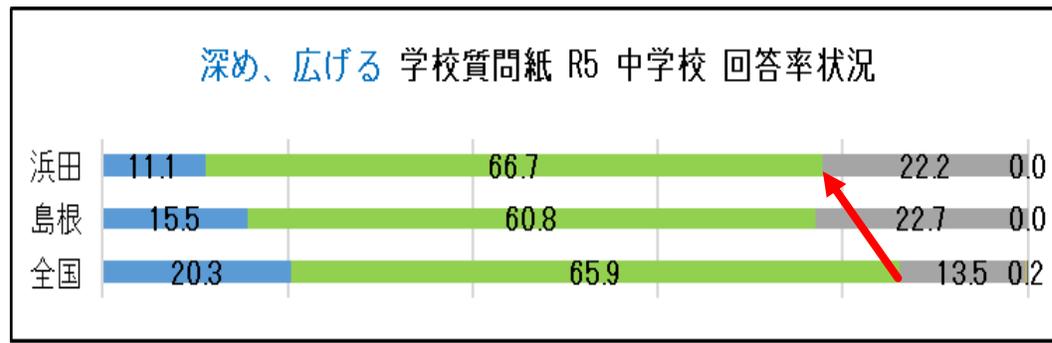
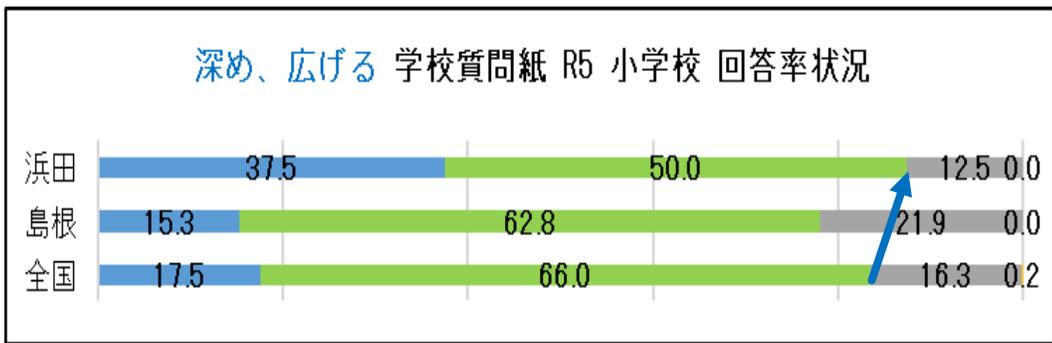


深め、広げる 中3 浜田市 経年比較



# 1 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善②

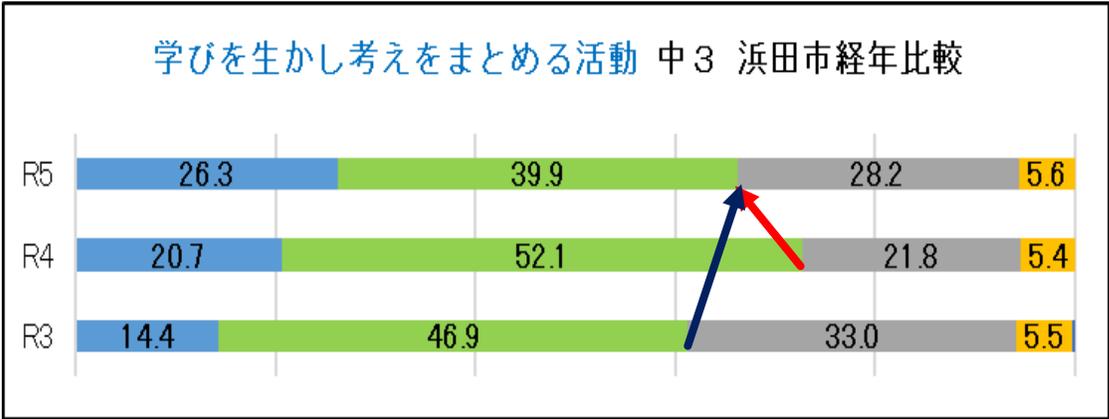
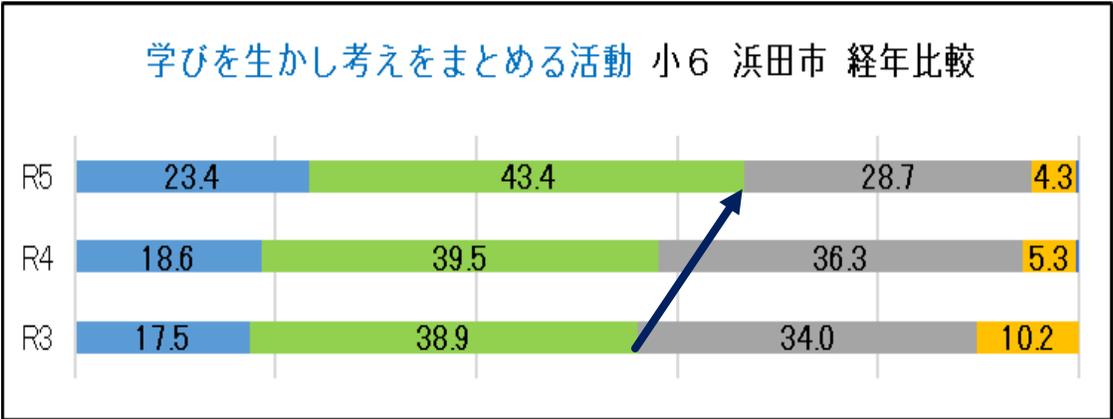
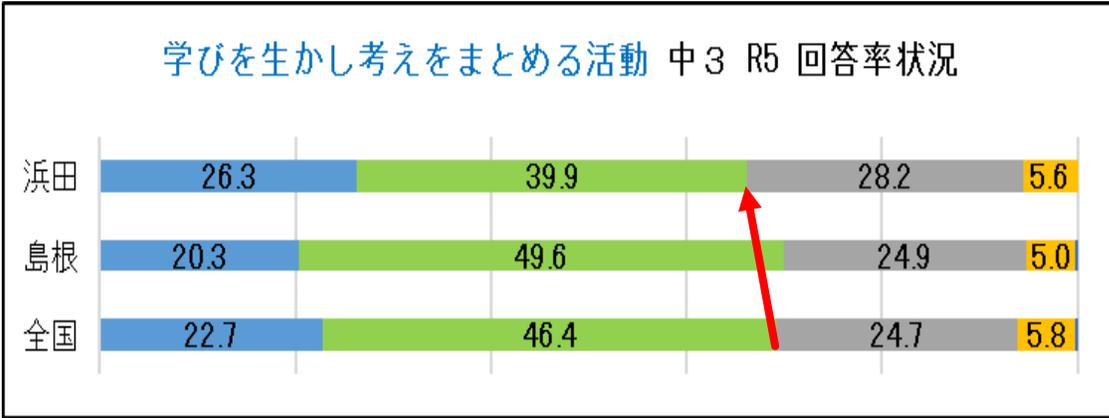
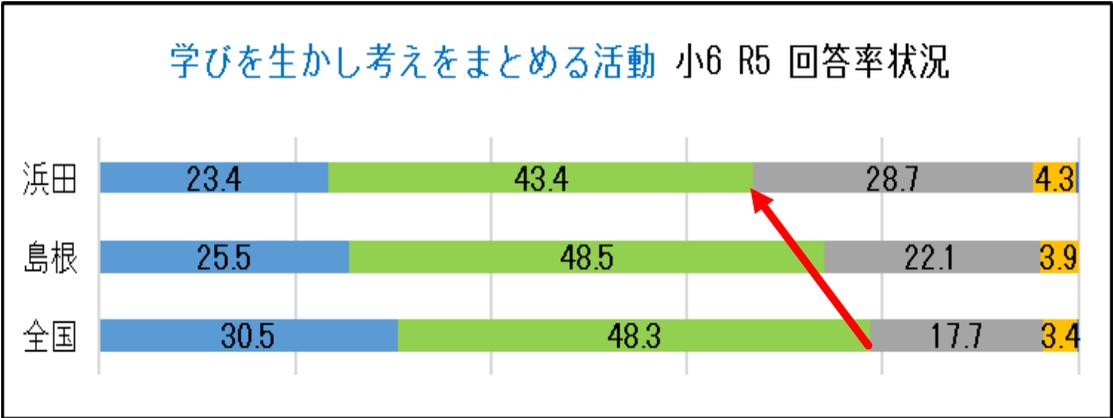
【学校質問紙】今年度の文科省調査では分析なしですが、浜田市の重点として挙げています  
 児童（生徒）は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、  
自分の考えを深めたり広げたりすることができていると思いますか



【小学校】では、児童質問紙では全国・県の回答率を下回り、市の経年比較も下降傾向にある。学校質問紙では全国・県を上回り経年比較においても改善が認められる。  
 【中学校】では、生徒質問紙で県の回答率を若干下回ってはいるが、全国を上回っている。市の経年比較においても改善傾向である。学校質問紙は全国・県を下回り、経年比較においても下降傾向にある。  
 小中学校ともに、話し合いは行われている。出された考えを比較検討しながら深めていく学習を充実していく必要がある。

# 1 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善③

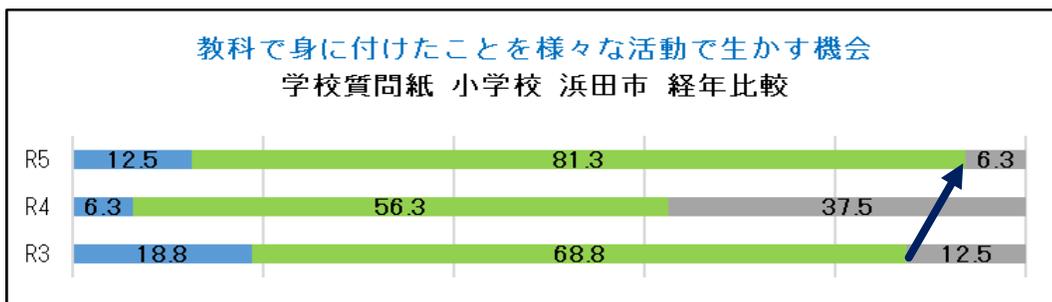
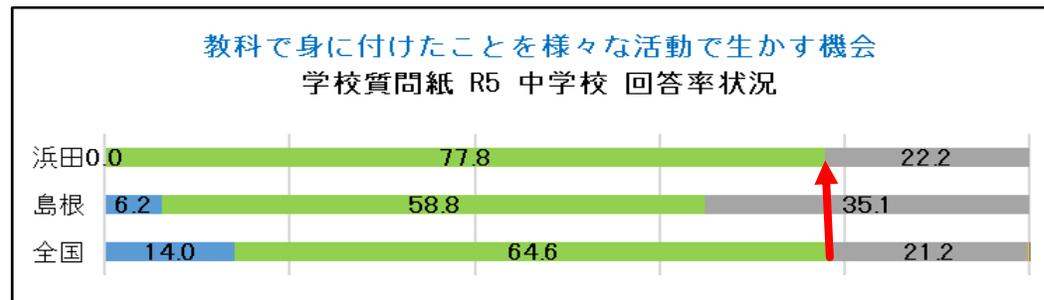
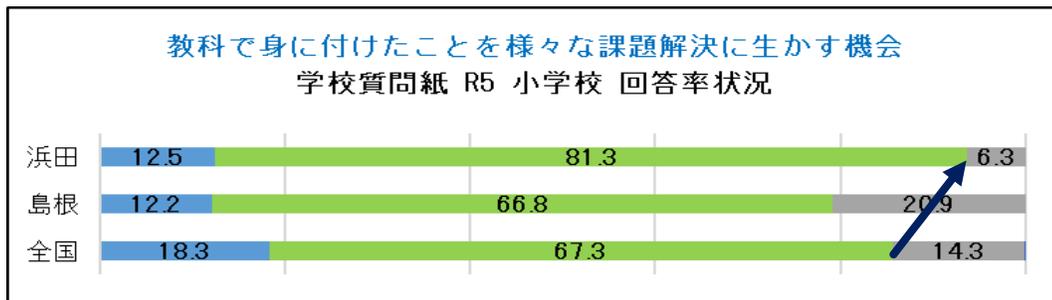
【児童生徒質問紙】  
各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。



# 1 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善③

## 【学校質問紙】

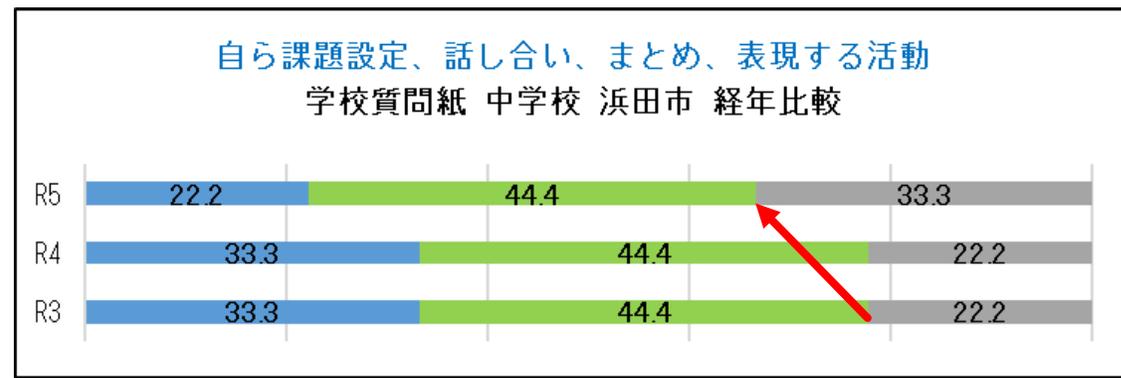
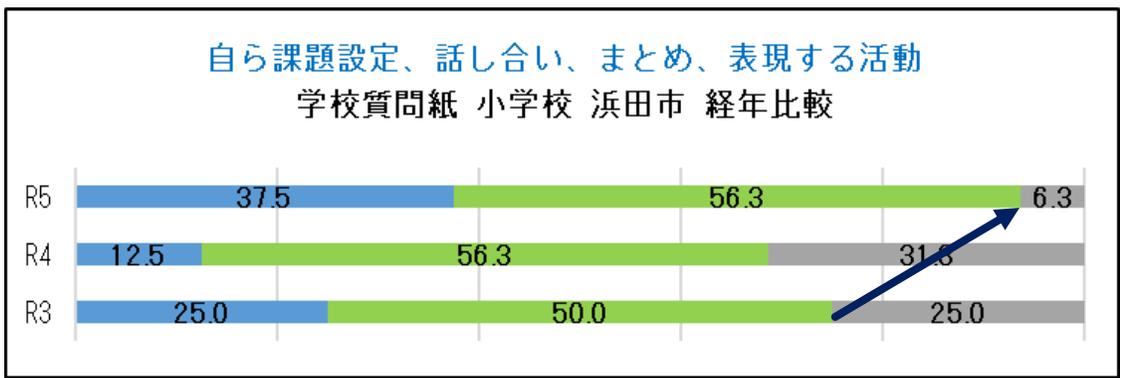
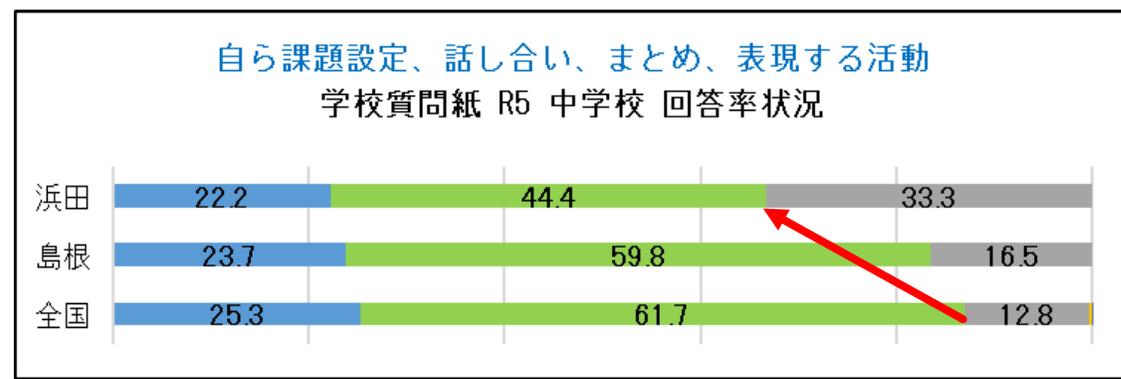
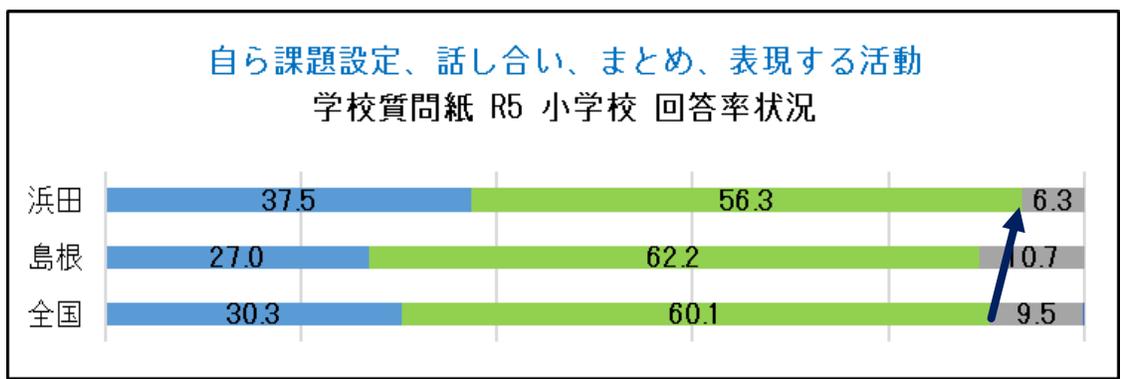
各教科で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか。



【児童生徒質問紙】では、小中学校ともに**全国・県を下回って**はいるが、**経年比較では令和3年度と比較して伸びている**。  
 【学校質問紙】では小学校は**全国・県を上回り**、**経年比較も伸びている**。中学校は**県を上回り**、**全国とほぼ同率**となっており、**経年比較においては、令和3年度以降、肯定率77.8%が続いている**。  
 「各教科で身に付けたことを様々な課題解決に生かす機会」を意識した授業を行うことで、児童生徒が「学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動」を行っていると感じている。今後も**自分の考えをまとめる学習を大切に**してほしい。

# 1 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善③

**【学校質問紙】**  
**授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、  
 その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか**



「主体的・対話的で深い学び」に直接かかわる学校の取組を問う質問項目である。  
 【小学校】では、**全国・県を上回り、経年比較においても伸び**てきている。【中学校】は、**その逆**の結果となっている。先に分析したとおり「課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいる」について児童生徒の意識と学校に意識とにズレがあったことから、特に**自ら課題設定をする取組を中学校を中心に行っていく必要がある**。

# 1 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善④

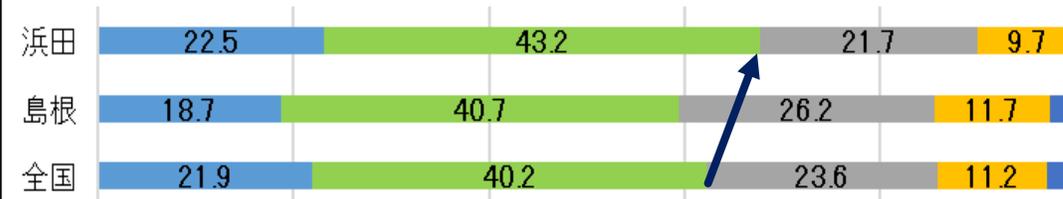
【児童生徒質問紙】

授業で、自分の考えを発表する機会では、  
自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。

自分の考えが伝わるよう工夫して発表  
小6 R5 回答率状況



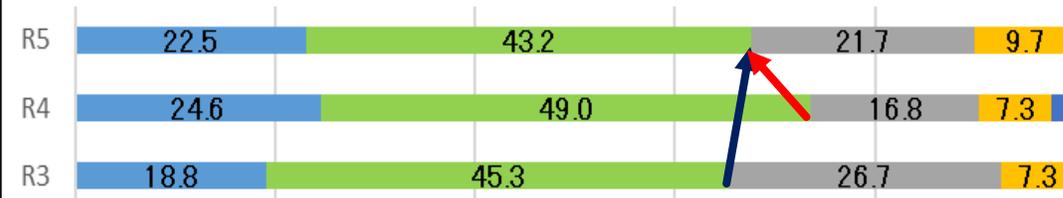
自分の考えが伝わるよう工夫して発表  
中3 R5 回答率状況



自分の考えが伝わるよう工夫して発表  
小6 浜田市 経年比較

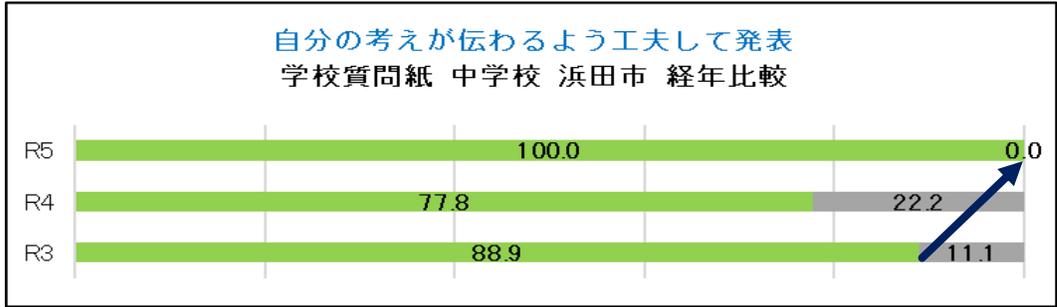
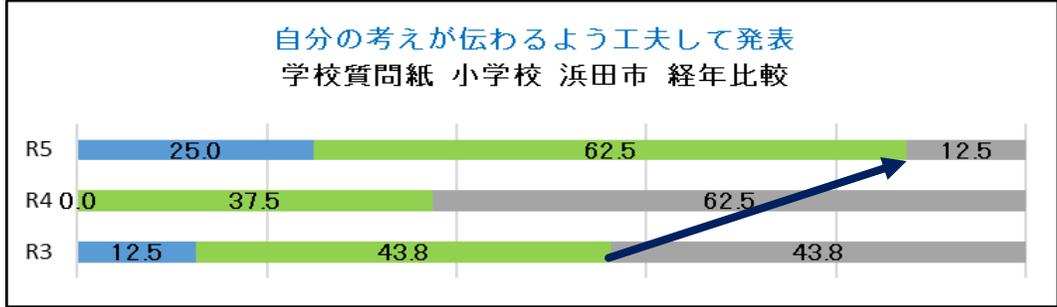
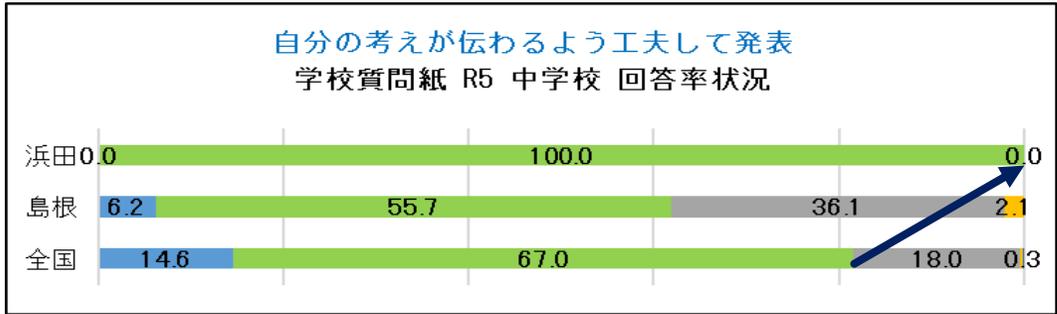
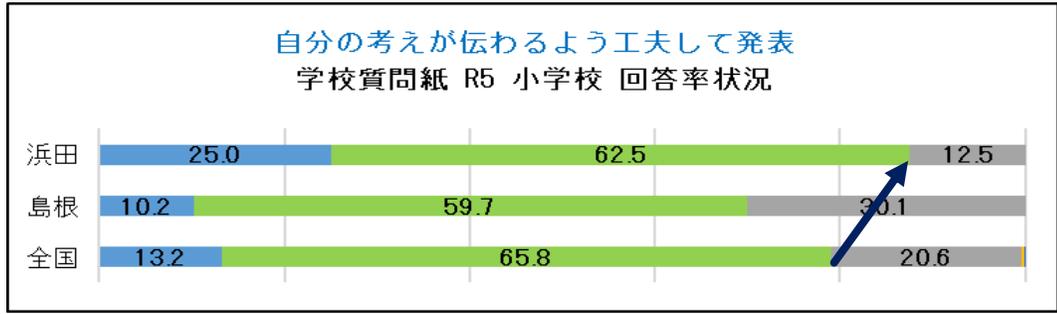


自分の考えが伝わるよう工夫して発表  
中3 浜田市 経年比較



# 1 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善④

【学校質問紙】  
 児童生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、  
 資料や文章、話の組立てなどを工夫して発言や発表を行うことができていると思いますか



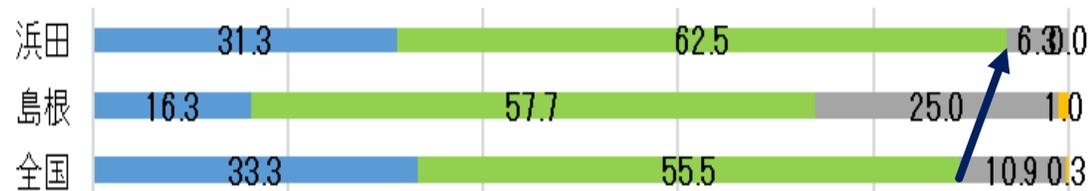
今回取り上げている「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」に関わる児童生徒意識調査項目の中で最も肯定率の低い項目。昨年度、文科省は「75%を超える」としているが、この肯定率にも届いていない。児童生徒質問紙について【小学校】は全国・県を下回り、経年比較においても下降している。【中学校】は全国・県を上回り、経年比較でも令和3年度より伸びている。学校質問紙は小中学校ともに全国・県を上回り、経年比較でも伸びている。小学校では児童の意識と学校の意識にズレがある。小中学校ともに話し合いの活動は充実してきている。特に文章や資料を示しながら自己の考えの根拠を示しながら筋道を立てて説明していくことを重視した学習に取り組む必要がある。

# 参考：研修についての取組状況

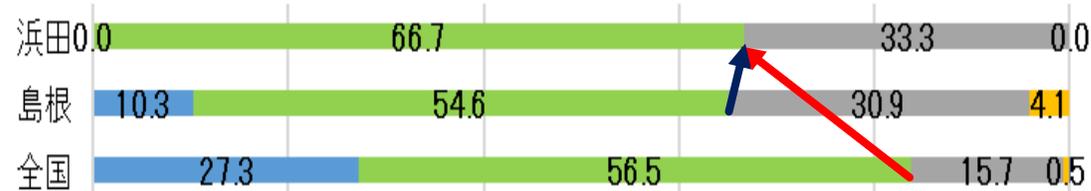
## 【学校質問紙】

児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っている

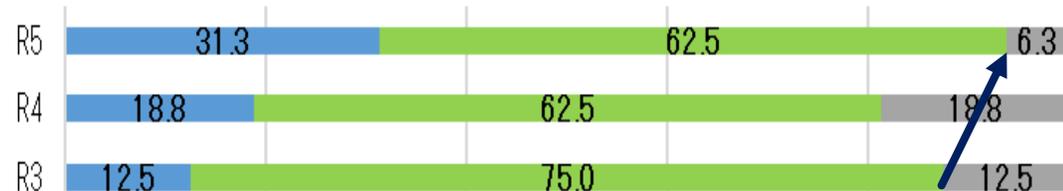
授業づくり職員研修 学校質問紙 R5 小学校 回答率状況



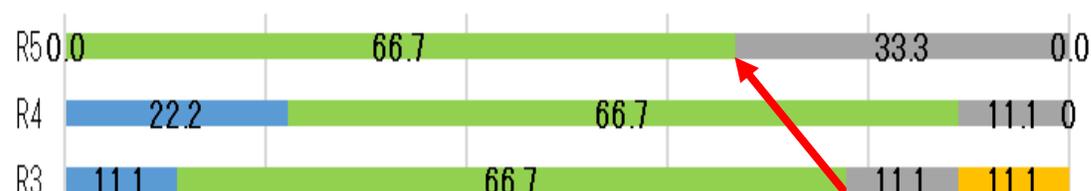
授業づくり職員研修 学校質問紙 R5 中学校 回答率状況



授業づくり職員研修 学校質問紙 小学校 浜田市 経年比較



授業づくり職員研修 学校質問紙 中学校 浜田市 経年比較



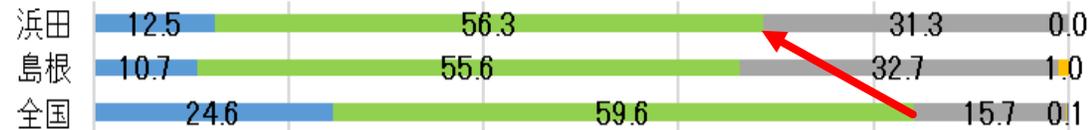
主体的・対話的で深い学びに向けた職員研修について、小学校は全国・県を上回り経年比較も伸びている。中学校は県を上回ったが全国を下回り、経年比較も下降している。校内における研修は行われている。しかしながら・・・

# 参考：研修についての取組状況

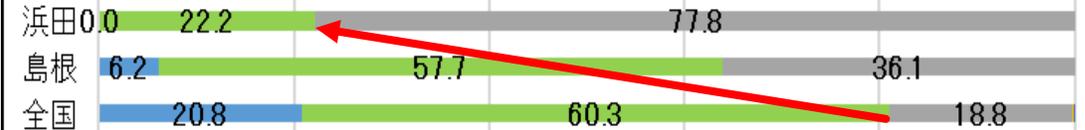
## 【学校質問紙】

個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか（オンラインを含む）

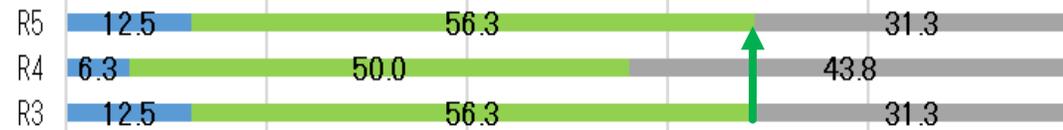
専門性を高める校外の研修会への定期的・継続的参加  
学校質問紙 R5 小学校 回答率状況



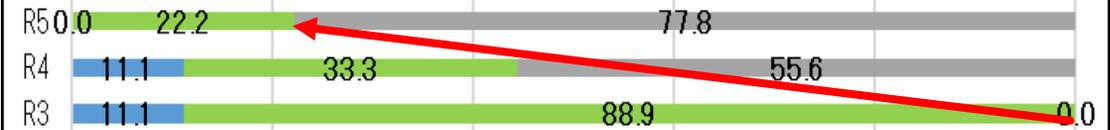
専門性を高める校外の研修会への定期的・継続的参加  
学校質問紙 R5 中学校 回答率状況



専門性を高める校外の研修会への定期的・継続的参加  
学校質問紙 小学校 浜田市 経年比較



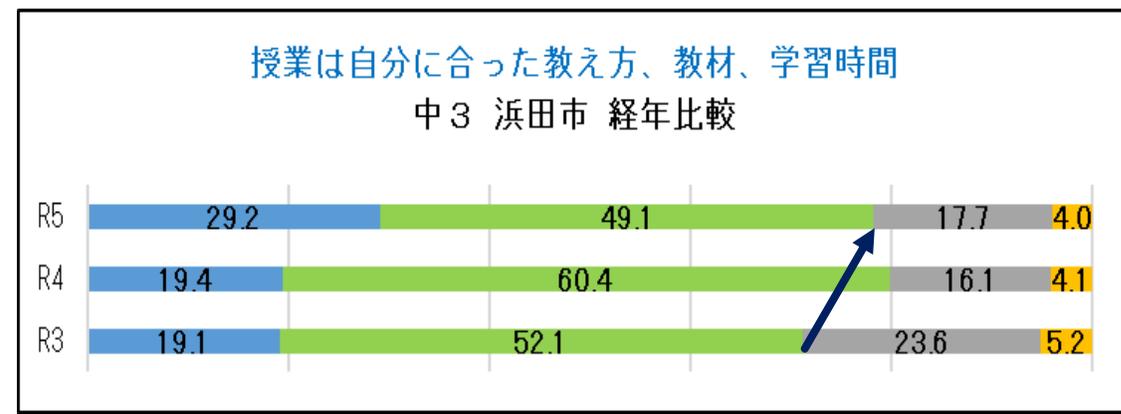
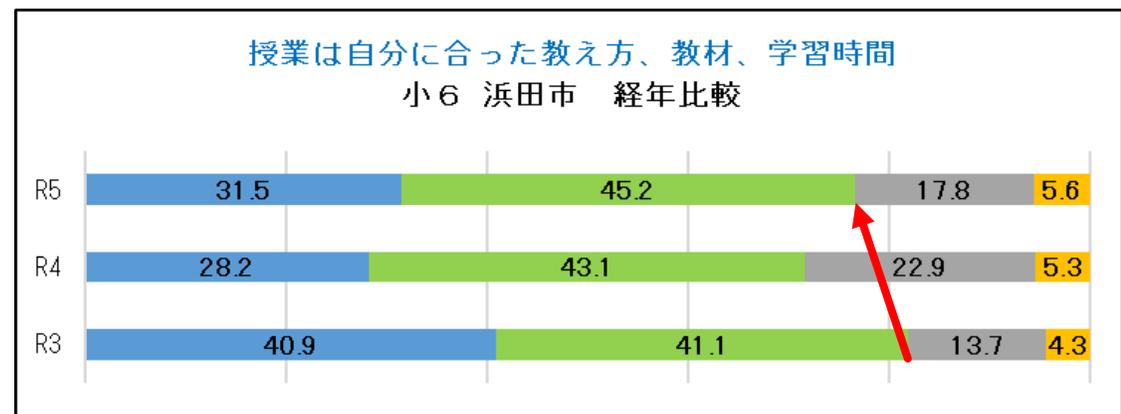
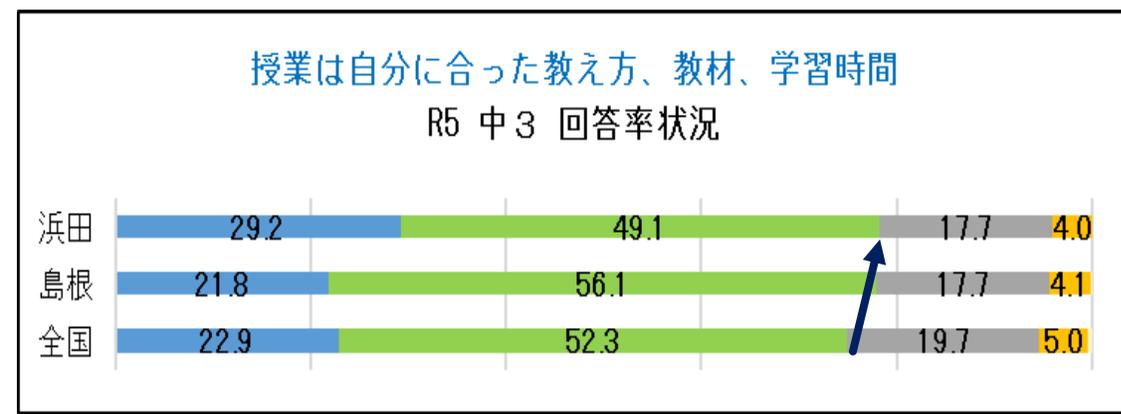
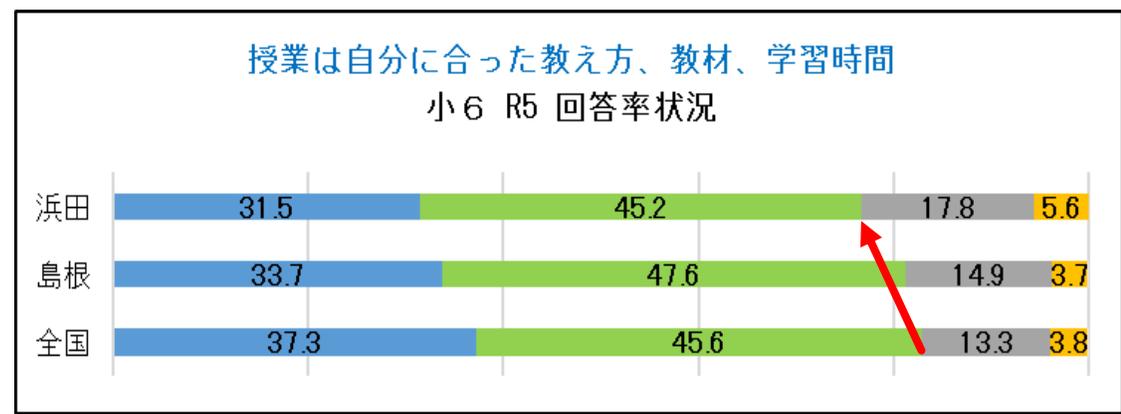
専門性を高める校外の研修会への定期的・継続的参加  
学校質問紙 中学校 浜田市 経年比較



個々の専門性を高める校外での研修については、小学校は全国・県を下回り経年比較も伸びていない。中学校は全国・県を大きく下回り、経年比較も下降している。県の人材育成基本方針にあるように「学び続ける教職員」を目指して、悉皆研修以外に、自ら求めて研修に参加していただきたい。

## 2 個別最適な学び、協働的な学びに関する状況

【児童生徒質問紙】  
 授業は、自分に合った教え方、教材、学習時間などになっていましたか

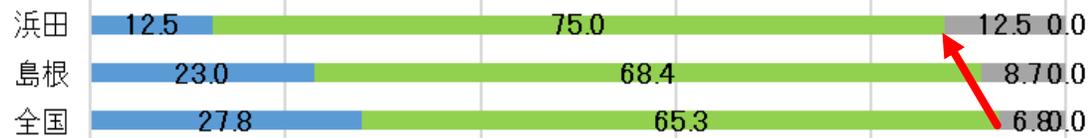


# 授業改善取組状況② 2 個別最適な学び、協働的な学びに関する状況

## 【学校質問紙】

学習指導において、児童生徒一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか（新規項目）

一人一人に応じて学習課題、活動を工夫  
学校質問紙 R5 小学校 回答率状況



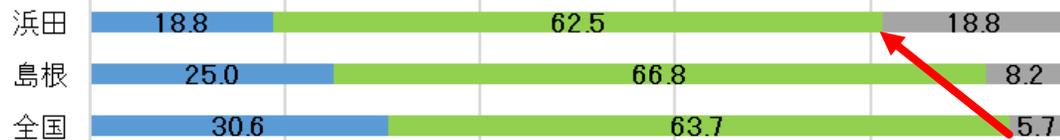
一人一人に応じて学習課題、活動を工夫  
学校質問紙 R5 中学校 回答率状況



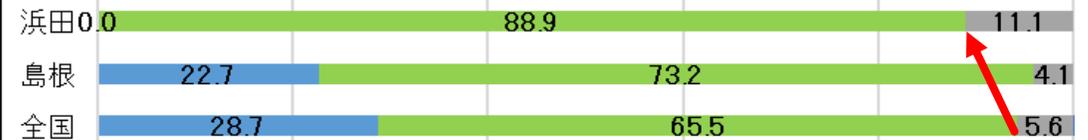
## 【学校質問紙】

児童生徒が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なった視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか（新規項目）

個のよさを生かしながら取り組める学習課題や活動  
学校質問紙 R5 小学校 回答率状況



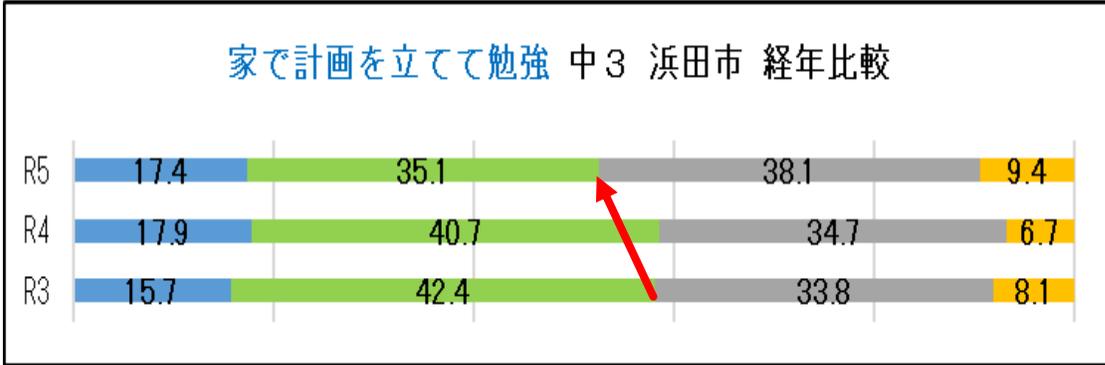
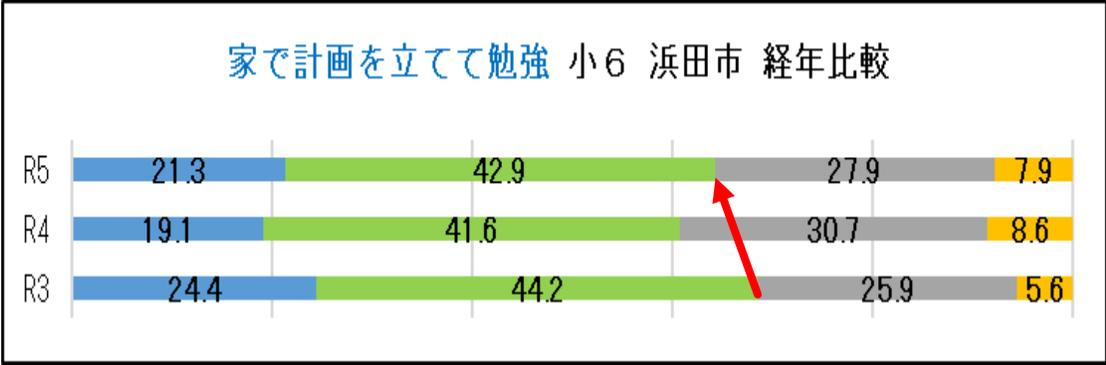
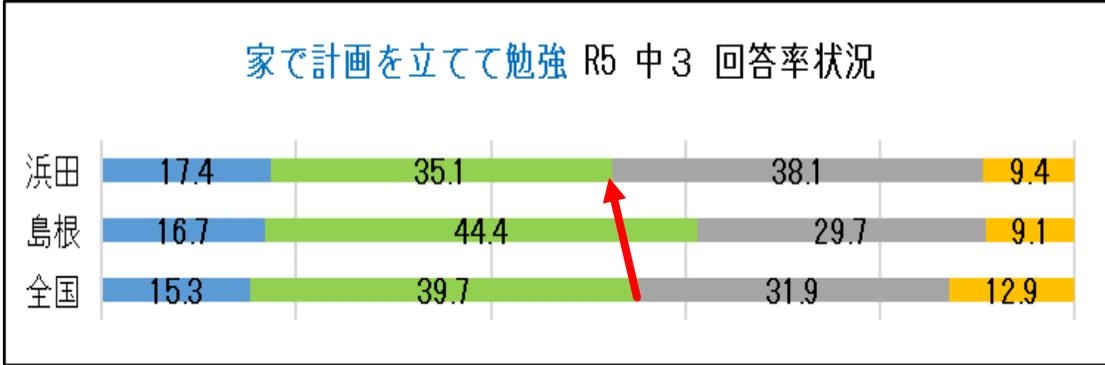
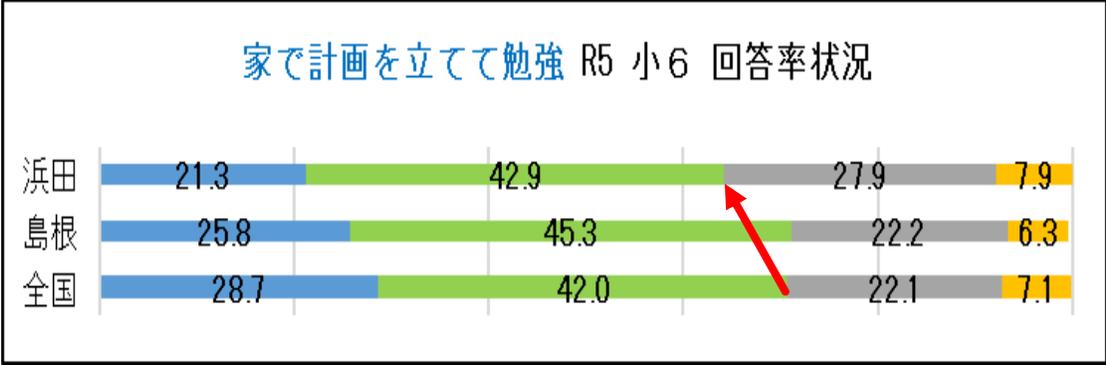
個のよさを生かしながら取り組める学習課題や活動  
学校質問紙 R5 中学校 回答率状況



【小学校】の児童質問紙は全国・県を下回り、経年比較も下降している。【中学校】の生徒質問紙は全国・県を上回り、令和3年度より伸びている。小中学校ともに学校質問紙においては全国、県を下回っていることから、特に「児童生徒がそれぞれのよさを生かしながら・・・」に関する取組をさらに推進する必要がある。このことは、授業における個別最適な学びに向けたタブレット端末活用の工夫にもかかわる。

# 家庭学習の浜田市の状況

【児童生徒質問紙】  
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか



昨年度から小中連携教育の重点としている取組。小中学校ともに**全国、県を下回り、経年比較においても令和3年度より下降しており、取組が成果として表れていない。**自分で計画を立てて学ぶ力は将来にわたって生きた働く力となることを念頭に、**各中学校区での取組を充実させていく必要がある。**このことは、家庭学習時間を延ばしていく取組にもなる。

# 「授業時間以外の学習」の浜田市の状況

【児童生徒質問紙】

学校の授業時間以外に、普段、1日当たり1時間以上、勉強をしていますか

家庭学習1時間以上 R5 小6 回答率状況



家庭学習1時間以上 R5 中3 回答率状況



家庭学習1時間以上 小6 浜田市 経年比較



家庭学習1時間以上 中3 浜田市 経年比較



小中学校ともに全国・県を下回っている。経年比較では、小学校は昨年度より若干改善は認められるが、小中学校ともに令和1年度以降下降している。約半数の児童生徒しか1時間以上の授業時間以外の学習をしていないのは問題である。本年度の調査からメディア接触に関する質問項目が削除された。メディアへの関わり方の指導は学校がすべきことではあるが、実践は家庭がすべきこととの判断と考えている。計画を立てて家庭学習に取り組む力を育てることは学校がすべきことである。

# 具体的な方策を定め、実施

「令和5年度全国学力・学修状況調査結果（概要）について」では、意識調査に関して市教育委員会が注目をしている項目についても挙げている。このことも含め、今回示した分析項目等を参考に

## 各学校での分析結果を踏まえた

- 具体的な方策による
- 組織的な実践を行い
- 進捗状況を確認しながら
- みんなで、やりきる

未来を担う子どもたちのために

## 市内小中学生における全国大会出場について

市内小中学生スポーツ活動における全国大会出場について、以下のとおり報告いたします。

- 件数 4件
- 選手人数 15名

(令和5年8月4日現在)

種目	出場大会	出場者
陸上	日清食品カップ 全国小学生 陸上競技交流大会 開催地：神奈川県 開催日：9/16～9/17	浜田ジュニア 陸上競技教室 (2名) 藤田 愛奈華 さん 三明 美咲 さん
	全農杯 全日本卓球選手権大会 ロート製薬杯 全国ホープス卓球大会 開催地：東京都・兵庫県 開催日：8/11～8/13・7/28～7/30	OTS ジュニア (2名) 杉本 奏依 さん 石倉 実月 さん
ソフトテニス	全日本小学生 ソフトテニス選手権大会 開催地：兵庫県 開催日：8/3～8/6	浜田ジュニア ソフトテニスクラブ (3名)
	全国中学生空手道選手権大会 全日本少年少女空手道選手権大会 開催地：東京都 開催日：8/3～8/4・8/7～8/9	島根県空手道連盟 (8名)

※各競技団体からの報告を基に作成しています。

※出場者欄について、2名以内の項目のみ、個人名を記載しています。

全国大会出場について、市長及び教育長表敬を行いました。

